

工 事 設 計 書 等

工事設計書等のダウンロードにあたって

知り得た情報は、関東地方整備局以外の者の権利を含む場合があるため、ダウンロードを行った個人又は法人における1次利用に限るものとし、有償無償に関わらず「第三者への提供行為※」を行わないでください。

※「他の第三者への提供行為」・・・PDFデータのまま、あるいは、紙に出力して等の手段に関わらず、ダウンロードを行った個人又は法人以外の他者による2次利用につながる一切の行為を指します。

国土交通省 関東地方整備局
北首都国道事務所

鏡

1. 工事名

工事名	R 7 圏央道環境整備他その5 工事
工事地名	茨城県常総市花島町地先 外1 箇所

2. 工事内容

1) 発注年月	令和 7年12月	1 2) 設 計 年 月	令和 8年 2月
2) 事務所名	北首都国道事務所 工務課	1 3) 機械損料一括補正	0 労務費一括割増 0%
3) 工事番号		1 4) 単価適用年月	2026年 2月
4) 契約区分	単年度（繰越を含む）の分任官	1 5) 歩掛適用年月	2026年 2月
5) 変更回数	0回	1 6) 前請負工事費	0
6) 主 工 種	道路改良工事	1 7) 前請負代金額	0
7) 工 事 量	一式	1 8) 調 整 区 分	0
8) 工 期	344日間 自 令和 8年 4月 1日 (当初) 至 令和 9年 3月10日 (0回変更) 至 年 月 日	1 9) 共通仮設費対象額	
9) 施 工 県	茨城県	2 0) 現場管理費対象額	
1 0) 地 区	筑西地区	2 1) 一般管理費等対象額	
1 1) 河川・路線	一般国道4 6 8 号	2 2) 処 分 費 等	10,966,694
		2 3) 公 告 日	令和 7年12月24日
		2 4) 入 札 締 切 日	年 月 日

3. 予算科目

1) 予算科目:	2) 目:	3) 目の細分:	4) 事業名:
----------	-------	----------	---------

設計内訳書

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
道路改良 (花島地区)		式	1		67,781,232				
舗装工		式	1		2,076,560				
舗装準備工		式	1		176,750				
不陸整正	補足材無し	m2	1,010	175	176,750			単-1号	
アスファルト舗装工		式	1		1,899,810				
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2	1,010	1,881	1,899,810			単-2号	
擁壁工		式	1		845,706				
作業土工		式	1		411,096				
床掘り	土砂 標準	m3	240	247	59,280			単-3号	
埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上 4m未満	m3	160	2,002	320,320			単-4号	
基面整正		m2	62	508	31,496			単-5号	
プレキャスト擁壁工		式	1		434,610				

設計内訳書

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
プレキャスト擁壁	幅1.7m H=1.7m 再利用	m	33	13,170	434,610			単-6号	
カルバート工		式	1		115,588				
作業土工		式	1		25,538				
床掘り	土砂 標準	m3	10	247	2,470			単-7号	
埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	10	2,002	20,020			単-8号	
基面整正		m2	6	508	3,048			単-9号	
プレキャストカルバート工		式	1		90,050				
プレキャストボックス	内幅 0.9m 内高 0.7m 再利用	m	5	18,010	90,050			単-10号	
排水構造物工		式	1		4,651,179				
作業土工		式	1		1,496,134				
床掘り (1)	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	m3	400	297	118,800			単-11号	
床掘り (2)	土砂 標準	m3	180	247	44,460			単-12号	

設計内訳書

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
埋戻し (1)	土砂 最大埋戻幅1m未満	m3	260	3,296	856,960			単-13号	
埋戻し (2)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	140	2,002	280,280			単-14号	
基面整正		m2	290	508	147,320			単-15号	
土砂等運搬 (現場～大輪SY)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	70	561.8	39,326			単-16号	
整地	残土受入れ地での処理	m3	70	128.4	8,988			単-17号	
側溝工		式	1		2,973,733				
プレキャストU型側溝 (1)	PU1-300×300×2000 コンクリート蓋 再利用	m	41	5,215	213,815			単-18号	
プレキャストU型側溝 (2)	PU1-300×300×2000 再利用	m	155	4,536	703,080			単-19号	
プレキャストU型側溝 (3)	PU1-300×300×2000	m	24	8,366	200,784			単-20号	
プレキャストU型側溝 (4)	PU2-300×300×2000 再利用	m	48	4,536	217,728			単-21号	
プレキャストU型側溝 (5)	PU2-300×500×2000 再利用	m	39	4,536	176,904			単-22号	
プレキャストU型側溝 (6)	KUR-300×300×2000 クレチンク 蓋 車道横断用 再利用	m	12	4,962	59,544			単-23号	

設計内訳書

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
プラスチックU型側溝 (7)	KUR-300×300×2000 コ ンクリート蓋 再利用	m	95	6,600	627,000			単-24号	
プラスチックU型側溝 (8)	PU1-450×450×600 再 利用	m	52	7,144	371,488			単-25号	
自由勾配側溝	800×1600×2000 コング リート蓋 グレーチング 蓋 再利 用	m	29	13,910	403,390			単-26号	
管渠工		式	1		8,447				
暗渠排水管 (1)	据付 直管 VUφ75	m	1	868.6	868			単-27号	
暗渠排水管 (2)	据付 直管 VUφ100	m	8	947.4	7,579			単-28号	
集水柵・マンホール工		式	1		172,865				
現場打ち集水柵	500×500×700 グレーチ ング 蓋 現場打材 18-8-2 5(20)高炉(W/C指定な し) 法面作業補正無	箇所	1	96,960	96,960			単-29号	
プラスチック集水柵 (1)	500×500×500 グレーチ ング 蓋 再利用	箇所	3	9,435	28,305			単-30号	
プラスチック集水柵 (2)	600×600×750 グレーチ ング 蓋 再利用	箇所	4	11,900	47,600			単-31号	
防護柵工		式	1		4,453,416				

設計内訳書

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
防止柵工		式	1		4,453,416				
立入防止柵 (1)	H=1.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO仕様 再利用	m	162	5,192	841,104			単-32号	
立入防止柵 (2)	H=1.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO仕様	m	178	11,660	2,075,480			単-33号	
立入防止柵 (3)	H=1.5m 支柱間隔2m 基礎ブロック NEXCO仕様 再利用	m	257	5,192	1,334,344			単-34号	
立入防止柵 (4)	H=1.0m 支柱間隔2m 基礎ブロック メッシュフェンス 再利用	m	39	5,192	202,488			単-35号	
防草対策工		式	1		1,973,541				
防草対策工		式	1		1,973,541				
防草シート	改質アスファルト系 W=2.0m	m2	461	4,281	1,973,541			単-36号	
構造物撤去工		式	1		2,015,078				
作業土工		式	1		830,090				
床掘り (1)	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	m3	20	297	5,940			単-37号	
床掘り (2)	土砂 標準	m3	200	247	49,400			単-38号	

設計内訳書

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
床掘り (3)	土砂 小規模	m3	30	2,273	68,190			単-39号	
埋戻し (1)	土砂 最大埋戻幅1m未満	m3	20	3,296	65,920			単-40号	
埋戻し (2)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	320	2,002	640,640			単-41号	
構造物取壊し工		式	1		370,374				
コンクリート構造物取壊し (1)	無筋構造物 機械施工	m3	0.7	11,220	7,854			単-42号	
コンクリート構造物取壊し (2)	鉄筋構造物 機械施工	m3	18	20,140	362,520			単-43号	
排水構造物撤去工		式	1		193,292				
暗渠排水管撤去 (1)	撤去 高密度ポリエチレン管 φ400	m	19	200.9	3,817			単-44号	
暗渠排水管撤去 (2)	撤去 高密度ポリエチレン管 φ500	m	24	320.4	7,689			単-45号	
暗渠排水管撤去 (3)	撤去 高密度ポリエチレン管 φ600	m	5	320.4	1,602			単-46号	
暗渠排水管撤去 (4)	撤去 高密度ポリエチレン管 φ900	m	51	1,125	57,375			単-47号	
暗渠排水管撤去 (5)	撤去 VPφ150	m	19	213.6	4,058			単-48号	

設計内訳書

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
暗渠排水管撤去 (6)	撤去 VPφ200	m	7	414.5	2,901			単-49号	
コルゲートパイプ撤去	撤去 φ1200	m	25	4,634	115,850			単-50号	
市道嵩上げ撤去工		式	1		318,596				
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版 厚 15cm以下	m2	400	617.5	247,000			単-51号	
掘削	M-30	m3	70	332.6	23,282			単-52号	
土砂等運搬 (現場～大輪SY)	M-30	m3	70	561.8	39,326			単-53号	
整地	残土受入れ地での処理	m3	70	128.4	8,988			単-54号	
運搬処理工		式	1		302,726				
殻運搬 (1)	コンクリート殻(無筋)	m3	0.7	2,515	1,760			単-55号	
殻運搬 (2)	コンクリート殻(鉄筋)	m3	18	3,104	55,872			単-56号	
殻運搬 (3)	アスファルト殻(掘削材)	m3	20	3,661	73,220			単-57号	
殻処分 (1)	コンクリート殻(無筋)	m3	0.7	2,820	1,974			単-58号	

設計内訳書

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
殻処分 (2)	コンクリート殻(鉄筋)	m3	18	5,000	90,000			単-59号	
殻処分 (3)	アスファルト殻(掘削材)	m3	20	3,995	79,900			単-60号	
礫分別工		式	1		6,721,842				
礫分別工		式	1		6,721,842				
礫分別		m3	3,100	1,359	4,212,900			単-61号	
積込(ルース)	C-40、ふるい分け土	m3	3,100	241.8	749,580			単-62号	
土砂等運搬 (1)(現場～大輪SY)	C-40	m3	1,030	561.8	578,654			単-63号	
土砂等運搬 (2)(場内運搬)	ふるい分け土	m3	2,070	384.4	795,708			単-64号	
整地 (1)	残土受入れ地での処理 C-40	m3	1,000	128.4	128,400			単-65号	
整地 (2)	敷均し(ルース)ふるい 分け土	m3	2,000	128.3	256,600			単-66号	
借地復旧工		式	1		37,235,156				
借地復旧工(応急処理) (1)	田	式	1		20,712,862				

設計内訳書

工事名	R 7 圏央道環境整備他その5 工事 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
借地復旧 (応急処理)	労務合計 397人等	式	1		20,712,862			内-1号	
借地復旧工 (応急処理) (2)	畑	式	1		15,761,010				
借地復旧 (応急処理)	労務合計 302人等	式	1		15,761,010			内-2号	
借地復旧工 (応急処理) (3)	その他	式	1		761,284				
借地復旧 (応急処理)	労務合計 14人等	式	1		761,284			内-3号	
仮設工		式	1		7,693,166				
工事用道路工		式	1		4,052,372				
敷鉄板	22×1,524×6,096 (mm) 撤去	m2	1,421	2,625	3,730,125			単-67号	
土のう	大型土のう撤去	袋	186	980.9	182,447			単-68号	
積込 (ルズ)	大型土のう中詰め材	m3	150	241.8	36,270			単-69号	
土砂等運搬 (現場～大輪SY)	大型土のう中詰め材	m3	150	561.8	84,270			単-70号	
整地	残土受入れ地での処理	m3	150	128.4	19,260			単-71号	

設計内訳書

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
仮橋・仮栈橋工		式	1		604,644				
橋脚	H300×300×10×15 撤去	t	42	30,610	1,285,620			単-72号	
仮橋上部	撤去	t	17.7	-25,190	-445,863			単-73号	
覆工板設置・撤去[仮橋・仮栈橋]	1000×2000×208 撤去	m2	80	-6,873	-549,840			単-74号	
仮設高欄	ガードレール型 撤去	m	23	-2,239	-51,497			単-75号	
H鋼杭	H150×150×7×10 撤去	本	16	-613.2	-9,811			単-76号	
横矢板	木材 横矢板厚さ 50mm 撤去	m2	27	2,136	57,672			単-77号	
土のう	大型土のう 撤去	袋	73	980.9	71,605			単-78号	
積込(ルズ)	大型土のう中詰め材	m3	60	241.8	14,508			単-79号	
土砂等運搬 (現場～大輪SY)	M-30、大型土のう中詰め材	m3	130	561.8	73,034			単-80号	
整地	残土受入れ地での処理	m3	130	128.4	16,692			単-81号	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m2	110	617.5	67,925			単-82号	

設計内訳書

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
掘削	M-30	m3	70	332.6	23,282			単-83号	
殻運搬	アスファルト殻(掘削材)	m3	5	3,661	18,305			単-84号	
木材運搬	横矢板	m3	1	6,637	6,637			単-85号	
殻処分	アスファルト殻(掘削材)	m3	5	3,995	19,975			単-86号	
木材処分	横矢板	m3	1	6,400	6,400			単-87号	
交通管理工		式	1		3,036,150				
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	173	17,550	3,036,150			単-88号	
直接工事費		式	1		67,781,232				
共通仮設費		式	1		16,352,150				
共通仮設費		式	1		9,149,150				
運搬費		式	1		2,991,150				
重建設機械分解組立輸送費	クローラークレーン系 35t吊超80t吊以下(クラム平積0.6m3超2m3下)	回	1	1,212,000	1,212,000			単-89号	

設計内訳書

工事名	R 7 圏央道環境整備他その5 工事 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
仮設材運搬費	復路 敷鉄板		t	245.4	7,250	1,779,150			単-90号
事業損失防止施設費			式	1		5,440,000			
家屋調査費	事後調査 11棟 2箇所		式	1		5,440,000			内-4号
現場環境改善費 (率計上)			式	1		718,000			
共通仮設費 (率計上)			式	1		7,203,000			
純工事費			式	1		84,133,382			
現場管理費			式	1		25,046,000			
工事原価			式	1		186,743,687			
一般管理費等			式	1		27,776,313			
工事価格			式	1		214,520,000			
消費税相当額			式	1		21,452,000			
工事費計			式	1		235,972,000			

設計内訳書

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事【高須賀地区】 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
道路改良 (高須賀地区)		式	1		54,481,359				
舗装工		式	1		238,496				
舗装準備工		式	1		20,300				
不陸整正	補足材無し	m2	116	175	20,300			単-1号	
アスファルト舗装工		式	1		218,196				
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2	116	1,881	218,196			単-2号	
カルパート工		式	1		982,936				
作業土工		式	1		89,736				
床掘り	土砂 標準	m3	70	247	17,290			単-3号	
埋戻し (1)	土砂 最大埋戻幅1m以上 4m未満	m3	4	2,002	8,008			単-4号	
埋戻し (2)	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3	40	1,084	43,360			単-5号	
基面整正		m2	18	508	9,144			単-6号	

設計内訳書

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事【高須賀地区】 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
土砂等運搬 (現場～大輪SY)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	10	1,065	10,650			単-7号	
整地	残土受入れ地での処理	m3	10	128.4	1,284			単-8号	
プレキャストカーポート工		式	1		893,200				
プレキャストボックス (1)	内幅 0.3m 内高 0.3m	m	2	32,510	65,020			単-9号	
プレキャストボックス (2)	内幅 1.2m 内高 0.9m	m	9	92,020	828,180			単-10号	
排水構造物工		式	1		9,981,267				
作業土工		式	1		1,340,604				
床掘り (1)	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	m3	100	297	29,700			単-11号	
床掘り (2)	土砂 標準	m3	520	247	128,440			単-12号	
埋戻し (1)	土砂 最大埋戻幅1m未満	m3	70	3,296	230,720			単-13号	
埋戻し (2)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	300	2,002	600,600			単-14号	
埋戻し (3)	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3	40	1,084	43,360			単-15号	

設計内訳書

工事名	R 7 圏央道環境整備他その5工事【高須賀地区】 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
基面整正		m2	230	508	116,840			単-16号	
土砂等運搬 (現場～大輪SY)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	160	1,065	170,400			単-17号	
整地	残土受入れ地での処理	m3	160	128.4	20,544			単-18号	
側溝工		式	1		6,942,641				
プレキャストU型側溝 (1)	300×300×2000	m	87	8,363	727,581			単-19号	
プレキャストU型側溝 (2)	300×300×2000	m	68	10,490	713,320			単-20号	
プレキャストU型側溝 (3)	600×900×2000	m	18	38,790	698,220			単-21号	
プレキャストU型側溝 (4)	800×900×2000	m	46	44,860	2,063,560			単-22号	
プレキャストU型側溝 (5)	1200×900×2000	m	40	50,910	2,036,400			単-23号	
プレキャストU型側溝 (6)	800×900×2000 車道用	m	12	58,630	703,560			単-24号	
管渠工		式	1		48,792				
暗渠排水管	据付 φ1000 再利用	m	12	4,066	48,792			単-25号	

設計内訳書

工事名	R 7 圏央道環境整備他その5 工事【高須賀地区】 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
集水桝・マンホール工		式	1		1,649,230				
現場打ち集水桝 (1)	600×600×600 グレーチン ゲ 蓋 現場打材 18-8-2 5(20)高炉(W/C指定なし) 法面作業補正無	箇所	1	95,930	95,930			単-26号	
現場打ち集水桝 (2)	1000×1000×1100 縞 鋼板蓋 現場打材 18-8 -25(20)高炉(W/C60%以下) 法面作業補正無	箇所	1	250,400	250,400			単-27号	
現場打ち集水桝 (3)	1000×1000×1200 縞 鋼板蓋 現場打材 18-8 -25(20)高炉(W/C60%以下) 法面作業補正無	箇所	1	257,900	257,900			単-28号	
現場打ち集水桝 (4)	1400×1400×1100 縞 鋼板蓋 現場打材 18-8 -25(20)高炉(W/C60%以下) 法面作業補正無	箇所	1	341,900	341,900			単-29号	
現場打ち集水桝 (5)	1400×1400×1100 縞 鋼板蓋 現場打材 18-8 -25(20)高炉(W/C60%以下) 法面作業補正無	箇所	1	308,900	308,900			単-30号	
現場打ち集水桝 (6)	1400×1800×1100 縞 鋼板蓋 現場打材 18-8 -25(20)高炉(W/C60%以下) 法面作業補正無	箇所	1	394,200	394,200			単-31号	
防護柵工		式	1		3,710,080				
防止柵工		式	1		3,710,080				
立入防止柵 (1)	H=1.5m 支柱間隔2m 鋼 管基礎 NEXCO仕様	m	278	11,660	3,241,480			単-32号	

設計内訳書

工事名	R 7 圏央道環境整備他その5 工事【高須賀地区】 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
立入防止柵 (2)	H=2.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO仕様	m	30	15,620	468,600			単-33号	
防草対策工		式	1		2,089,128				
防草対策工		式	1		2,089,128				
防草シート	改質アスファルト系 W=2.0m	m2	488	4,281	2,089,128			単-34号	
構造物撤去工		式	1		541,705				
切回し道路撤去工		式	1		314,925				
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m2	510	617.5	314,925			単-35号	
運搬処理工		式	1		226,780				
殻運搬	アスファルト殻(掘削材)	m3	29	2,415	70,035			単-36号	
殻処分	アスファルト殻(掘削材)	m3	29	5,405	156,745			単-37号	
礫分別工		式	1		3,333,459				
礫分別工		式	1		3,333,459				

設計内訳書

工事名	R 7 圏央道環境整備他その5 工事【高須賀地区】 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
礫分別		m3	1,400	1,359	1,902,600			単-38号	
積込(ルズ)	C-40、ふるい分け土	m3	1,400	241.8	338,520			単-39号	
土砂等運搬 (1)(現場～大輪SY)	C-40	m3	490	1,065	521,850			単-40号	
土砂等運搬 (2)(場内運搬)	ふるい分け土	m3	990	384.4	380,556			単-41号	
整地 (1)	残土受入れ地での処理 C-40	m3	490	128.4	62,916			単-42号	
整地 (2)	敷均し(ルズ)ふるい 分け土	m3	990	128.3	127,017			単-43号	
借地復旧工		式	1		17,976,698				
借地復旧工(応急処理) (1)	田	式	1		17,702,836				
借地復旧(応急処理)	労務合計 339人等	式	1		17,702,836			内-1号	
借地復旧工(応急処理) (3)	その他	式	1		273,862				
借地復旧(応急処理)	労務合計 5人等	式	1		273,862			内-2号	
仮設工		式	1		15,627,590				

設計内訳書

工事名	R 7 圏央道環境整備他その5 工事【高須賀地区】 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
工事用道路工		式	1		788,825				
敷鉄板	22×1,524×6,096(mm) 撤去	m2	250	2,625	656,250			単-44号	
土のう	大型土のう撤去	袋	62	980.9	60,815			単-45号	
積込(ルーズ)	大型土のう中詰め材	m3	50	241.8	12,090			単-46号	
土砂等運搬 (現場～大輪SY)	大型土のう中詰め材	m3	50	1,065	53,250			単-47号	
整地	残土受入れ地での処理	m3	50	128.4	6,420			単-48号	
作業ヤード撤去工		式	1		12,381,765				
表層地盤改良シート撤去		m2	3,355	1,543	5,176,765			単-49号	
廃棄物運搬処分	がれき類	t	110	65,500	7,205,000			単-50号	
交通管理工		式	1		2,457,000				
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	140	17,550	2,457,000			単-51号	
直接工事費		式	1		54,481,359				

設計内訳書

工事名	R 7 圏央道環境整備他その5 工事【高須賀地区】 (当初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
共通仮設費		式	1		5,993,946				
共通仮設費		式	1		862,946				
運搬費		式	1		329,946				
仮設材運搬費	復路 敷鉄板	t	43.3	7,620	329,946			単-52号	
現場環境改善費 (率計上)		式	1		533,000				
共通仮設費 (率計上)		式	1		5,131,000				
純工事費		式	1		60,475,305				
現場管理費		式	1		17,089,000				
工事原価		式	1		77,564,305				

一式当たり内訳書

[茨城県常総市花島町地先 外1箇所]

借地復旧（応急処理）

第 1号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【労務費】								
土木一般世話役		人	3	30,600	91,800			
運転手（一般）		人	230	24,888	5,724,240			
運転手（特殊）		人	76	29,988	2,279,088			
普通作業員		人	88	25,398	2,235,024			
【機械経費】 運転手・燃料 含まず(機械損料15欄)								
バックホウ（クローラ） [標準]	排ガス型（第1次） 山積0.45m3	供用日	76	9,470	719,720			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t積級	供用日	230	20,100	4,623,000			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	タイヤ(供用日当り)	供用日	230	1,190	273,700			
【運搬・処分費】								
廃棄物運搬	4tダンプ車 片道運搬距離概ね25km	回	4	26,000	104,000			
(参考運搬費:26,000円/回)								

一式当たり内訳書

[茨城県常総市花島町地先 外1箇所]

借地復旧（応急処理）

第 1号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
処分費（m ³ ）								
廃プラスチック類		m ³	68.29	22,000	1,502,380			
(参考処分費:22,000円/m ³)								
【燃料費】								
軽油		L	24,307	130	3,159,910			
合 計					20,712,862			

一式当たり内訳書

[茨城県常総市花島町地先 外1箇所]

借地復旧（応急処理）

第 2号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【労務費】								
土木一般世話役		人	2	30,600	61,200			
運転手（一般）		人	175	24,888	4,355,400			
運転手（特殊）		人	58	29,988	1,739,304			
普通作業員		人	67	25,398	1,701,666			
【機械経費】 運転手・燃料 含まず(機械損料15欄)								
バックホウ（クローラ） [標準]	排ガス型（第1次） 山積0.45m3	供用日	58	9,470	549,260			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t積級	供用日	175	20,100	3,517,500			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	タイヤ(供用日当り)	供用日	175	1,190	208,250			
【運搬・処分費】								
廃棄物運搬	4tダンプ車 片道運搬距離概ね25km	回	3	26,000	78,000			
(参考運搬費:26,000円/回)								

一式当たり内訳書

[茨城県常総市花島町地先 外1箇所]

借地復旧 (応急処理)

第 2号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
処分費 (m 3)								
廃プラスチック類		m 3	52	22,000	1,144,000			
(参考処分費:22,000円/m3)								
【燃料費】								
軽油		L	18,511	130	2,406,430			
合 計					15,761,010			

一式当たり内訳書

[茨城県常総市花島町地先 外1箇所]

借地復旧（応急処理）

第 3号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【労務費】								
土木一般世話役		人	1	30,600	30,600			
運転手（一般）		人	8	24,888	199,104			
運転手（特殊）		人	2	29,988	59,976			
普通作業員		人	3	25,398	76,194			
【機械経費】 運転手・燃料 含まず(機械損料15欄)								
バックホウ（クローラ） [標準]	排ガス型（第1次） 山積0.45m3	供用日	2	9,470	18,940			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t積級	供用日	8	20,100	160,800			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	タイヤ(供用日当り)	供用日	8	1,190	9,520			
【運搬・処分費】								
廃棄物運搬	4tダンプ車 片道運搬距離概ね25km	回	1	26,000	26,000			
(参考運搬費:26,000円/回)								

一式当たり内訳書

[茨城県常総市花島町地先 外1箇所]

借地復旧（応急処理）

第 3号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
処分費（m ³ ）								
廃プラスチック類		m ³	2.64	22,000	58,080			
(参考処分費:22,000円/m ³)								
【燃料費】								
軽油		L	939	130	122,070			
合 計					761,284			

一式当たり内訳書

家屋調査費

第 4号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
家屋調査費（一式）	5440千円	式	1		5,440,000			
合 計					5,440,000			

一式当たり内訳書

借地復旧（応急処理）

第 1号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【労務費】								
土木一般世話役		人	2	30,600	61,200			
運転手（一般）		人	197	24,888	4,902,936			
運転手（特殊）		人	65	29,988	1,949,220			
普通作業員		人	75	25,398	1,904,850			
【機械経費】 運転手・燃料 含まず(機械損料15欄)								
バックホウ（クローラ） [標準]	排ガス型（第1次） 山積0.45m3	供用日	65	9,470	615,550			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t積級	供用日	197	20,100	3,959,700			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	タイヤ(供用日当り)	供用日	197	1,190	234,430			
【運搬・処分費】								
廃棄物運搬	4tダンプ車 片道運搬距離概ね25km	回	3	26,000	78,000			
(参考運搬費:26,000円/回)								

一式当たり内訳書

借地復旧（応急処理）

第 1号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
処分費（m ³ ）								
廃プラスチック等 （参考処分費：22,000円/m ³ ）		m ³	58.54	22,000	1,287,880			
【燃料費】								
軽油		L	20,839	130	2,709,070			
合 計					17,702,836			

一式当たり内訳書

借地復旧（応急処理）

第 2号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【労務費】								
土木一般世話役		人	1	30,600	30,600			
運転手（一般）		人	2	24,888	49,776			
運転手（特殊）		人	1	29,988	29,988			
普通作業員		人	1	25,398	25,398			
【機械経費】 運転手・燃料 含まず(機械損料15欄)								
バックホウ（クローラ） [標準]	排ガス型（第1次） 山積0.45m3	供用日	1	9,470	9,470			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t積級	供用日	2	20,100	40,200			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	タイヤ(供用日当り)	供用日	2	1,190	2,380			
【運搬・処分費】								
廃棄物運搬	4tダンプ車 片道運搬距離概ね25km	回	1	26,000	26,000			
(参考運搬費:26,000円/回)								

一式当たり内訳書

[茨城県つくば市高須賀地先]

借地復旧（応急処理）

第 2号内訳書

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
処分費（m ³ ）								
廃プラスチック等 (参考処分費:22,000円/m ³)		m ³	0.88	22,000	19,360			
【燃料費】								
軽油		L	313	130	40,690			
合 計					273,862			

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-1号	不陸整正	補足材無し	単位	m2	数量		1	単価	175
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
不陸整正		無し 全ての費用	m 2	1	175	175			
計						175			
単価						175	円/m2		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-2号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	単位	m2	数量		1	単価	1,881
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
表層(車道・路肩部)		3.0m超 50mm 再生密粒度アスコン(20) プライムコート PK-3 全ての費用	m 2	1	1,881	1,881			
計						1,881			
単価						1,881	円/m2		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-3号	床掘り	土砂 標準	単位	m3	数量	1	単価	247
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 標準 無し 無し	m 3	1	247	247		
計						247		
単価						247	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-4号	埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	単位	m3	数量	1	単価	2,002
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅1m以上4m未満	m 3	1	2,002	2,002		
計						2,002		
単価						2,002	円/m3	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-5号	基面整正		単位	m2	数量		1	単価	508
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
基面整正			m 2	1	508	508			
計						508			
単価						508	円/m2		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-6号	プレキャスト擁壁	幅1.7m H=1.7m 再利用	単位	m	数量		1	単価	13,170
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
プレキャスト擁壁設置		1.0mを超え2.0m以下 有り 有り	m	1	13,170	13,170			
計						13,170			
単価						13,170	円/m		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-7号	床掘り	土砂 標準	単位	m3	数量	1	単価	247
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 標準 無し 無し	m 3	1	247	247		
計						247		
単価						247	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-8号	埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	単位	m3	数量	1	単価	2,002
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅1m以上4m未満	m 3	1	2,002	2,002		
計						2,002		
単価						2,002	円/m3	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-9号	基面整正		単位	m2	数量		1	単価	508
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
基面整正			m 2	1	508	508			
計						508			
単価						508	円/m2		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-10号	プレキャストボックス	内幅 0.9m 内高 0.7m 再利用	単位	m	数量		1	単価	18,010
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
ボックスカルパート		据付 2.0m/個 0<B≤1.25 0<H≤1.25 基礎砕石+均しコンクリート 無し 標準 全ての費用	m	1	18,010	18,010			
計						18,010			
単価						18,010	円/m		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-11号	床掘り (1)	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	単位	m3	数量		1	単価	297
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
床掘り		土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 無し							
			m 3	1	297	297			
計						297			
単価						297	円/m3		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-12号	床掘り (2)	土砂 標準	単位	m3	数量		1	単価	247
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
床掘り		土砂 標準 無し 無し							
			m 3	1	247	247			
計						247			
単価						247	円/m3		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-13号	埋戻し (1)	土砂 最大埋戻幅1m未満	単位	m3	数量	1	単価	3,296
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅1m未満	m 3	1	3,296	3,296		
計						3,296		
単価						3,296	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-14号	埋戻し (2)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	単位	m3	数量	1	単価	2,002
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅1m以上4m未満	m 3	1	2,002	2,002		
計						2,002		
単価						2,002	円/m3	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-15号	基面整正		単位	m2	数量		1	単価	508
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
基面整正			m 2	1	508	508			
計						508			
単価						508	円/m2		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-16号	土砂等運搬 (現場～大輪SY)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量		1	単価	561.8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土砂等運搬		標準 トラック山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 1.5km以下	m 3	1	561.8	561.8			
計						561.8			
単価						561.8	円/m3		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-17号	整地	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量		単価	
						1		128.4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
整地		残土受入れ地での処理	m3	1	128.4	128.4		
	計					128.4		
	単価					128.4	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-18号	プレキャストU型側溝(1)	PU1-300×300×2000 コンクリート蓋 再利用	単位	m	数量		単価	
						10		5,215
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クッション 40~0 0.5m3/10m	m	10	4,536	45,360		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40kg/枚以下 無し 無し	枚	16.5	411.1	6,783.15		
	計					52,143.15		
	単価					5,215	円/m	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-19号	プレキャストU型側溝 (2)	PU1-300×300×2000 再利用	単位	m	数量		1	単価	4,536
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0 0.5m3/10m	m	1	4,536	4,536			
計						4,536			
単価						4,536	円/m		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-20号	プレキャストU型側溝 (3)	PU1-300×300×2000	単位	m	数量		1	単価	8,366
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0 0.5m3/10m	m	1	8,366	8,366			
計						8,366			
単価						8,366	円/m		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-21号	プレキャストU型側溝 (4)	PU2-300×300×2000 再利用	単位	m	数量		1	単価	4,536
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0 0.5m3/10m	m	1	4,536	4,536			
計						4,536			
単価						4,536	円/m		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-22号	プレキャストU型側溝 (5)	PU2-300×500×2000 再利用	単位	m	数量		1	単価	4,536
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0 0.5m3/10m	m	1	4,536	4,536			
計						4,536			
単価						4,536	円/m		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-23号	プレキャストU型側溝 (6)	KUR-300×300×2000 グレチング 蓋 車道横断用 再利用	単位	m	数量		単価	
					10			4,962
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クランチャラン 40~0 0.56m3/10m	m	10	4,550	45,500		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40kg/枚以下 無し 無し	枚	10	411.1	4,111		
計						49,611		
単価						4,962	円/m	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-24号	プレキャストU型側溝 (7)	KUR-300×300×2000 コンクリート蓋 再利用	単位	m	数量		単価	
					10			6,600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クランチャラン 40~0 0.56m3/10m	m	10	4,550	45,500		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	20	1,025	20,500		
計						66,000		
単価						6,600	円/m	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-25号	プレキャストU型側溝 (8)	PU1-450×450×600 再利用	単位	m	数量	1	単価	7,144
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=600mm 60を超え300kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0 0.65m3/10m	m	1	7,144	7,144		
計						7,144		
単価						7,144	円/m	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-26号	自由勾配側溝	800×1600×2000 コンクリート蓋 グレチング 蓋 再利用	単位	m	数量	10	単価	13,910
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
自由勾配側溝		無し L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下 無し 生コンクリート(各種) 1.18m3/10m 有り	m	10	12,880	128,800		
蓋版 コンクリート蓋		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	8	1,025	8,200		
蓋版 グレチング 蓋		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	2	1,025	2,050		
計						139,050		
単価						13,910	円/m	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-27号	暗渠排水管 (1)	据付 直管 VUφ75	単位	m	数量		1	単価	868.6
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
暗渠排水管		据付 直管 50~150mm 全ての費用	m	1	868.6	868.6			
計						868.6			
単価						868.6	円/m		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-28号	暗渠排水管 (2)	据付 直管 VUφ100	単位	m	数量		1	単価	947.4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
暗渠排水管		据付 直管 50~150mm 全ての費用	m	1	947.4	947.4			
計						947.4			
単価						947.4	円/m		

1次単価表

						単価使用年月	2026. 2	
						歩掛使用年月	2026. 2	
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-29号	現場打ち集水桝	500×500×700 グレチング 蓋 現場打材 18-8-25(20)高 炉(W/C指定なし) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	1	単価	96,960
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝(本体)		各種 0.36m3を超え0.38m3以下 人力打設 一般養生・特殊養生(練炭)	箇所	1	61,930	61,930		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	35,030	35,030		
計						96,960		
単価						96,960	円/箇所	

						単価使用年月	2026. 2	
						歩掛使用年月	2026. 2	
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-30号	プレキャスト集水桝 (1)	500×500×500 グレチング 蓋 再利用	単位	箇所	数量	1	単価	9,435
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
プレキャスト集水桝		据付 600kgを超え800kg以下 有り 全ての費用	基	1	9,435	9,435		
計						9,435		
単価						9,435	円/箇所	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-31号	プレキャスト集水柵 (2)	600×600×750 グレチング 蓋 再利用	単位	箇所	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額		摘要
	プレキャスト集水柵	据付 800kgを超え1200kg以下 有り 全ての費用	基	1	11,900	11,900		
	計					11,900		
	単価					11,900	円/箇所	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-32号	立入防止柵 (1)	H=1.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO仕様 再利用	単位	m	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額		摘要
	金網・支柱（立入防止柵）設置工	鋼管基礎 支柱柵高2m以下 支柱間隔2m 再利用設置	m	1	5,192	5,192		
	(鋼管基礎付支柱)							
	計					5,192		
	単価					5,192	円/m	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-33号	立入防止柵 (2)	H=1.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO仕様	単位	m	数量	10	単価	11,660
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	基礎ブロック, 鋼管基礎	鋼管基礎 2m以下 全ての費用	基	5	5,276	26,380		
	金網・支柱 (立入防止柵)	鋼管基礎 2m以下 2m	m	10	3,477	34,770		
	金網・支柱 (立入防止柵) (材料費)		m	10	5,540	55,400		
	計					116,550		
	単価					11,660	円/m	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-34号	立入防止柵 (3)	H=1.5m 支柱間隔2m 基礎ﾌﾞﾛｯｸ NEXCO仕様 再利用	単位	m	数量		1	単価	5,192
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
金網・支柱（立入防止柵）設置工		基礎ﾌﾞﾛｯｸ 支柱柵高2m以下 支柱間隔2m 再利用設置							
			m	1	5,192	5,192			
(基礎ﾌﾞﾛｯｸ付支柱)									
計						5,192			
単価						5,192	円/m		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-35号	立入防止柵 (4)	H=1.0m 支柱間隔2m 基礎ﾌﾞﾛｯｸ メッシュフェンス 再利用	単位	m	数量		1	単価	5,192
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
金網・支柱（立入防止柵）設置工		基礎ﾌﾞﾛｯｸ 支柱柵高2m以下 支柱間隔2m 再利用設置							
			m	1	5,192	5,192			
(基礎ﾌﾞﾛｯｸ付支柱)									
計						5,192			
単価						5,192	円/m		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-36号	防草シート	改質アスファルト系 W=2.0m	単位	m2	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	防草シート設置工	改質As系 幅1.1m×長10m×厚3mm/巻(表ミネラル裏PPフィルム)	m2	1	1,261	1,261		
	(材料費)防草シート(アンカーピッチ・ロス分含む)	改質As系 幅1.1m×長10m×厚3mm/巻(表ミネラル裏PPフィルム)	m2	1	3,020	3,020		
	計					4,281		
	単価					4,281	円/m2	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-37号	床掘り(1)	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	単位	m3	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	床掘り	土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 無し	m3	1	297	297		
	計					297		
	単価					297	円/m3	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-38号	床掘り (2)	土砂 標準	単位	m3	数量	1	単価	247
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 標準 無し 無し	m 3	1	247	247		
計						247		
単価						247	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-39号	床掘り (3)	土砂 小規模	単位	m3	数量	1	単価	2,273
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 上記以外(小規模) 全ての費用	m 3	1	2,273	2,273		
計						2,273		
単価						2,273	円/m3	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-40号	埋戻し (1)	土砂 最大埋戻幅1m未満	単位	m3	数量		1	単価	3,296
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
	埋戻し	最大埋戻幅1m未満	m 3	1	3,296	3,296			
	計					3,296			
	単価					3,296	円/m3		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-41号	埋戻し (2)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	単位	m3	数量		1	単価	2,002
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
	埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	m 3	1	2,002	2,002			
	計					2,002			
	単価					2,002	円/m3		

1次単価表

						単価使用年月	2026. 2	
						歩掛使用年月	2026. 2	
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-42号	コンクリート構造物取壊し (1)	無筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	11,220
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
構造物とりこわし		無筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	m 3	1	11,220	11,220		
計						11,220		
単価						11,220	円/m3	

						単価使用年月	2026. 2	
						歩掛使用年月	2026. 2	
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-43号	コンクリート構造物取壊し (2)	鉄筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	20,140
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
構造物とりこわし		鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	m 3	1	20,140	20,140		
計						20,140		
単価						20,140	円/m3	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-44号	暗渠排水管撤去 (1)	撤去 高密度ポリエチレン管 φ400	単位	m	数量	1	単価	200.9
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
暗渠排水管		撤去 波状管 200~400mm	m	1	200.9	200.9		
計						200.9		
単価						200.9	円/m	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-45号	暗渠排水管撤去 (2)	撤去 高密度ポリエチレン管 φ500	単位	m	数量	1	単価	320.4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
暗渠排水管		撤去 波状管 450~600mm	m	1	320.4	320.4		
計						320.4		
単価						320.4	円/m	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-46号	暗渠排水管撤去 (3)	撤去 高密度ポリエチレン管 φ600	単位	m	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	暗渠排水管	撤去 波状管 450~600mm	m	1	320.4	320.4		
	計					320.4		
	単価					320.4	円/m	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-47号	暗渠排水管撤去 (4)	撤去 高密度ポリエチレン管 φ900	単位	m	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	暗渠排水管	撤去 波状管 700~1,000mm	m	1	1,125	1,125		
	計					1,125		
	単価					1,125	円/m	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-48号	暗渠排水管撤去 (5)	撤去 VP φ150	単位	m	数量	1	単価	213.6
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
暗渠排水管		撤去 直管 50~150mm	m	1	213.6	213.6		
計						213.6		
単価						213.6	円/m	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-49号	暗渠排水管撤去 (6)	撤去 VP φ200	単位	m	数量	1	単価	414.5
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
暗渠排水管		撤去 直管 200~400mm	m	1	414.5	414.5		
計						414.5		
単価						414.5	円/m	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-50号	名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
	コルゲートパイプ 撤去	撤去 φ1200	m			1		4,634
	コルゲートパイプ	撤去 フランジ型 800以上1200以下	m	1	4,634	4,634		
	計					4,634		
	単価					4,634	円/m	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-51号	名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
	舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m2			1		617.5
	舗装版破碎	アスファルト舗装版 無し 必要 15cm以下 有り 全ての費用	m 2	1	617.5	617.5		
	計					617.5		
	単価					617.5	円/m2	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-52号	掘削	M-30	単位	m3	数量		1	単価	332.6
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
掘削		土砂 オフソカット 無し 無し 5,000m3未満	m 3	1	332.6	332.6			
計						332.6			
単価						332.6	円/m3		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-53号	土砂等運搬 (現場~大輪SY)	M-30	単位	m3	数量		1	単価	561.8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土砂等運搬		標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 1.5km以下	m 3	1	561.8	561.8			
計						561.8			
単価						561.8	円/m3		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-54号	整地	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量	1	単価	128.4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
整地		残土受入れ地での処理	m3	1	128.4	128.4		
計						128.4		
単価						128.4	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-55号	殻運搬(1)	コンクリート殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	2,515
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 無し 18.5km以下 全ての費用	m3	1	2,515	2,515		
計						2,515		
単価						2,515	円/m3	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-56号	殻運搬 (2)	コンクリート殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	3,104
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 無し 18.5km以下 全ての費用	m 3	1	3,104	3,104		
	計					3,104		
	単価					3,104	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-57号	殻運搬 (3)	アスファルト殻(掘削材)	単位	m3	数量	1	単価	3,661
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要) 無し 19.5km以下 全ての費用	m 3	1	3,661	3,661		
	計					3,661		
	単価					3,661	円/m3	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-58号	殻処分 (1)	コンクリート殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	2,820
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m3)			m3	1	2,820	2,820		
計						2,820		
単価						2,820	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-59号	殻処分 (2)	コンクリート殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	5,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m3)			m3	1	5,000	5,000		
計						5,000		
単価						5,000	円/m3	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-60号	処分 (3)	アスファルト殻(掘削材)	単位	m3	数量	1	単価	3,995
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m3)			m3	1	3,995	3,995		
計						3,995		
単価						3,995	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-61号	礫分別		単位	m3	数量	1	単価	1,359
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
バキ分別工		20mm油圧回転バケット	m3	1	1,359	1,359		
計						1,359		
単価						1,359	円/m3	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-62号	積込(ルーズ)	C-40、ふるい分け土	単位	m3	数量		1	単価	241.8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
積込 (ルーズ)		土砂 土量50,000m3未満	m 3	1	241.8	241.8			
計						241.8			
単価						241.8	円/m3		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-63号	土砂等運搬 (1)(現場~大輪SY)	C-40	単位	m3	数量		1	単価	561.8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土砂等運搬		標準 トラック山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 1.5km以下	m 3	1	561.8	561.8			
計						561.8			
単価						561.8	円/m3		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-64号	土砂等運搬 (2) (場内運搬)	ふるい分け土	単位	m3	数量		1	単価	384.4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土砂等運搬		標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 0.3km以下	m3	1	384.4	384.4			
計						384.4			
単価						384.4	円/m3		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-65号	整地 (1)	残土受入れ地での処理 C-40	単位	m3	数量		1	単価	128.4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
整地		残土受入れ地での処理	m3	1	128.4	128.4			
計						128.4			
単価						128.4	円/m3		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-66号	整地 (2)	敷均し(ルーズ)ふるい分け土	単位	m3	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
		敷均し(ルーズ)標準(10,000m3未満) 無し	m 3	1	128.3	128.3		128.3
	計					128.3		
	単価					128.3	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-67号	敷鉄板	22×1,524×6,096(mm)撤去	単位	m2	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	敷鉄板設置・撤去	撤去	m 2	9.29	206.6	1,919.31		2,625
	敷鉄板賃料(整備費含む)	22×1524×6096 賃料期間339日 総供用日数721日以上	枚	1	22,460	22,460		
	計					24,379.31		
	単価					2,625	円/m2	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-68号	土のう	大型土のう撤去	単位	袋	数量		単価	
					1			980.9
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
大型土のう工		撤去 6m以下 -3m≦H≦2m	袋	1	980.9	980.9		
計						980.9		
単価						980.9	円/袋	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-69号	積込(ルーズ)	大型土のう中詰め材	単位	m3	数量		単価	
					1			241.8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込 (ルーズ)		土砂 土量50,000m3未満	m3	1	241.8	241.8		
計						241.8		
単価						241.8	円/m3	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-70号	土砂等運搬 (現場~大輪SY)	大型土のうち詰め材	単位	m3	数量	1	単価	561.8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 1.5km以下	m3	1	561.8	561.8		
計						561.8		
単価						561.8	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-71号	整地	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量	1	単価	128.4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
整地		残土受入れ地での処理	m3	1	128.4	128.4		
計						128.4		
単価						128.4	円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-72号	橋脚	H300×300×10×15 撤去	単位	t	数量	3.534	単価	30,610
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
杭橋脚設置・撤去工（杭基礎形式）		撤去 クロークレーン油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型 70t吊	t	3.534	26,240	92,732.16		
杭橋脚引抜き工		引抜長38m以下 ガス切断3箇所 クロークレーン70t吊	本	1	141,600	141,600		
スクラップ		ヘビーH1	t	-3.534	35,700	-126,163.8		
【上記はスクラップ控除を表す】								
計						108,168.36		
単価						30,610	円/t	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-73号	仮橋上部	撤去	単位	t	数量	1	単価	-25,190
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
上部工架設・撤去工		撤去 クローブ油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型 70t吊	t	1	10,510	10,510		
スクラップ		ヘビーH1	t	-1	35,700	-35,700		
【上記はスクラップ控除を表す】								
計						-25,190		
単価						-25,190	円/t	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-74号	覆工板設置・撤去[仮橋・仮栈橋]	1000×2000×208 撤去	単位	m2	数量	1	単価	-6,873
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
覆工板設置・撤去工	撤去	クローラークレーン油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型 70t吊	m 2	1	695.7	695.7		
スクラップ	ヘビーH1		t	-0.212	35,700	-7,568.4		
【上記はスクラップ控除を表す】								
計						-6,872.7		
単価						-6,873	円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-75号	仮設高欄	ガードレール型 撤去	単位	m	数量	1	単価	-2,239
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
高欄設置・撤去工	ガードレール型 撤去 クローラークレーン油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型 70t吊	m	1	2,077	2,077			
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.1	35,700	-3,570			
スクラップ	ヘビーH3	t	-0.021	35,500	-745.5			
【上記はスクラップ控除を表す】								
計								-2,238.5
単価								-2,239 円/m

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-76号	H鋼杭	H150×150×7×10 撤去	単位	本	数量	16	単価	-613.2
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	パイプロハンマ施工によるH形鋼引抜き	陸上 油圧式242kW 4m以下	本	4	4,941	19,764		
	パイプロハンマ施工によるH形鋼引抜き	陸上 油圧式242kW 6m以下	本	12	5,675	68,100		
	スクラップ	ヘビーH1	t	-2.736	35,700	-97,675.2		
	【上記はスクラップ控除を表す】							
	計					-9,811.2		
	単価					-613.2	円/本	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-77号	横矢板	木材 横矢板厚さ 50mm 撤去	単位	m2	数量		1	単価	2,136
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
横矢板設置・撤去		撤去	m 2	1	2,136	2,136			
計						2,136			
単価						2,136	円/m2		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-78号	土のう	大型土のう撤去	単位	袋	数量		1	単価	980.9
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
大型土のう工		撤去 6m以下 -3m≤H≤2m	袋	1	980.9	980.9			
計						980.9			
単価						980.9	円/袋		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-79号	積込(ルーズ)	大型土のうち詰め材	単位	m3	数量		1	単価	241.8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
積込 (ルーズ)		土砂 土量50,000m3未満	m 3	1	241.8	241.8			
計						241.8			
単価						241.8	円/m3		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-80号	土砂等運搬 (現場~大輪SY)	M-30、大型土のうち詰め材	単位	m3	数量		1	単価	561.8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土砂等運搬		標準 トラック山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 1.5km以下	m 3	1	561.8	561.8			
計						561.8			
単価						561.8	円/m3		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-81号	整地	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量		1	単価	128.4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
	整地	残土受入れ地での処理	m 3	1	128.4	128.4			
	計					128.4			
	単価					128.4	円/m3		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-82号	舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	単位	m2	数量		1	単価	617.5
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
	舗装版破碎	アスファルト舗装版 無し 必要 15cm以下 有り 全ての費用	m 2	1	617.5	617.5			
	計					617.5			
	単価					617.5	円/m2		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-83号	掘削	M-30	単位	m3	数量		1	単価	332.6
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
掘削		土砂 オフソカット 無し 無し 5,000m3未満	m 3	1	332.6	332.6			
計						332.6			
単価						332.6	円/m3		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-84号	殻運搬	アスファルト殻(掘削材)	単位	m3	数量		1	単価	3,661
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
殻運搬		舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要) 無し 19.5km以下 全ての費用	m 3	1	3,661	3,661			
計						3,661			
単価						3,661	円/m3		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-85号	木材運搬	横矢板	単位	m3	数量		1	単価	6,637
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
現場発生産品及び支給品運搬		トラック[クレーン装置付]ベストトラック2t積、吊能力2.9t 無し 17.0km以下	t	0.8	8,296	6,636.8			
計						6,636.8			
単価						6,637	円/m3		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-86号	殻処分	アスファルト殻(掘削材)	単位	m3	数量		1	単価	3,995
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
処分費 (m3)			m3	1	3,995	3,995			
計						3,995			
単価						3,995	円/m3		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-87号	木材処分	横矢板	単位	m3	数量		単価	
						1		6,400
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m3)			m3	1	6,400	6,400		
計						6,400		
単価						6,400	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-88号	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	単位	人日	数量		単価	
						1		17,550
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人日	1	17,550	17,550		
計						17,550		
単価						17,550	円/人日	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単一89号	重建設機械分解組立輸送費	クローレン系 35t吊超80t吊以下(クラム平積0.6m3超2m3下)	単位	回	数量	金額	単価	摘要
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
【クローレン70t吊】								
重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) クローレン系 35t吊超80t吊以下(クラム平積0.6m3超2m3下) 標準(1.0)	回	1	1,212,000	1,212,000			
計					1,212,000			
単価					1,212,000	円/回		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-90号	仮設材運搬費	復路 敷鉄板	単位	t	数量	1	単価	7,250
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【復路】								
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	関東・中部・近畿 49.2km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無		t	1	5,750	5,750		
仮設材等の積込み, 取卸し費	積込み, 取卸し(片道分)		t	1	1,500	1,500		
計						7,250		
単価						7,250	円/t	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け無し無し側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下無し無し有り 再生クラッシュラン 40~0 0.5m3/10m	m	10	4,421.7	44,217	4,536
U型側溝	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 昼 無	m	10	4,421.7	44,217	
フレキャストU型側溝(再利用)	PU1-300×300×2000 JIS A 5372	個	5	0	0	
再生クラッシュラン	R C - 4 0	m ³	0.6	1,900	1,140	
諸雑費(まるめ)		式	1		3	
計					45,360	
単価					4,536	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量		100	411.1
蓋版コンクリート・鋼製	40kg以下 昼 無	枚	100	411.06		41,106	
コンクリート蓋(再利用)	300用 U形用蓋1種 400×60×600	枚	100	0		0	
諸雑費(まるめ)		式	1			4	
計						41,110	
単価						411.1	円/枚

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け無し無し側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下無し無し有り 再生クラッシュラン 40~0 0.5m3/10m	m	10	4,421.7	44,217	8,366
U型側溝	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 昼 無	m	10	4,421.7	44,217	
プレキャストU型側溝	PU1-300×300×2000 JIS A 5372	個	5	7,660	38,300	
再生クラッシュラン	R C - 4 0	m ³	0.6	1,900	1,140	
諸雑費(まるめ)		式	1		3	
計					83,660	
単価					8,366	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0 0.5m3/10m	m	10	4,421.7	44,217	4,536
U型側溝	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 昼 無	m	10	4,421.7	44,217	
プレキャストU型側溝(再利用)	PU2-300×300×2000 JIS A 5372	個	5	0	0	
再生クラッシュラン	R C - 4 0	m ³	0.6	1,900	1,140	
諸雑費(まるめ)		式	1		3	
計					45,360	
単価					4,536	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け無し無し側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下無し無し有り 再生クラッシュラン 40~0 0.5m3/10m	m	10	4,421.7	44,217	4,536
U型側溝	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 昼 無	m	10	4,421.7	44,217	
プレキャストU型側溝(再利用)	PU2-300×500×2000 JIS A 5372	個	5	0	0	
再生クラッシュラン	R C - 4 0	m ³	0.6	1,900	1,140	
諸雑費(まるめ)		式	1		3	
計					45,360	
単価					4,536	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け無し無し側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下無し無し有り 再生クラッシャーラン 40~0 0.56m ³ /10m	m	10	4,421.7	44,217	4,550
U型側溝	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 昼 無	m	10	4,421.7	44,217	
プレキャストU型側溝(再利用)	KUR-300×300×2000 車道横断用	個	5	0	0	
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m ³	0.672	1,900	1,276	
諸雑費(まるめ)		式	1		7	
計					45,500	
単価					4,550	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量		100	411.1
蓋版コンクリート・鋼製	40kg以下 昼 無	枚	100	411.06		41,106	
グレーチング 蓋(再利用)	T-25 L=1.0m	枚	100	0		0	
諸雑費 (まるめ)		式	1			4	
計						41,110	
単価						411.1	円/枚

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0 0.56m3/10m	m	10	4,421.7	44,217	4,550
U型側溝	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 昼 無	m	10	4,421.7	44,217	
プレキャストU型側溝(再利用)	KUR-300×300×2000	個	5	0	0	
再生クラッシュラン	R C - 4 0	m ³	0.672	1,900	1,276	
諸雑費(まるめ)		式	1		7	
計					45,500	
単価					4,550	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し					100		1,025
蓋版コンクリート・鋼製	170kg以下 昼 無	枚	100	1,024.08		102,408		
コンクリート蓋(再利用)	車道用 412×95×500	枚	100	0		0		
諸雑費(まるめ)		式	1			92		
計						102,500		
単価						1,025	円/枚	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け無し無し側溝(各種) L=600mm 60を超え300kg/個以下無し無し有り 再生クラッシュラン 40~0 0.65m ³ /10m	m	10		69,951	7,144
U型側溝	L600 300kg以下 昼 無	m	10	6,995.16	69,951	
プレキャストU型側溝(再利用)	PU1-450×450×600	個	16.5	0	0	
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	0.78	1,900	1,482	
諸雑費(まるめ)		式	1		7	
計					71,440	
単価					7,144	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
自由勾配側溝	無し L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下 無し 生コンクリート(各種) 1.18m3/10m 有り	単位	m			12,880
自由勾配側溝	L 2 0 0 0 2 0 0 0 k g 以下 昼 無	m	10	8,583.3	85,833	
自由勾配側溝(再利用)	800×1600×2000	個	5	0	0	
生コンクリート 高炉	18-8-25(20) W/C指定なし	m ³	1.251	23,000	28,773	
生コンクリート 高炉	18-8-25(20) W/C指定なし	m ³	0.424	23,000	9,752	
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m ³	2.304	1,900	4,377	
諸雑費(まるめ)		式	1		65	
計					128,800	
単価					12,880	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	摘要
蓋版 コンクリート蓋	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚			100	1,025
蓋版コンクリート・鋼製	170kg以下 昼 無	枚	100	1,024.08		102,408	
コンクリート蓋(再利用)	幅800用 L=500	枚	100	0		0	
諸雑費(まるめ)		式	1			92	
計						102,500	
単価						1,025	円/枚

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	摘要
蓋版 グレーチング 蓋	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量		100	1,025
蓋版コンクリート・鋼製	170kg以下 昼 無	枚	100	1,024.08		102,408	
グレーチング 蓋(再利用)	幅800用 L=500 普通目	枚	100	0		0	
諸雑費 (まるめ)		式	1			92	
計						102,500	
単価						1,025	円/枚

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し					100		35,030
蓋版コンクリート・鋼製	170kg以下 昼 無	枚	100	1,024.08		102,408		
グレーチング 蓋	すべり止め型 500×500用 T-25 ホール固定式 普通目	枚	100	34,000		3,400,000		
諸雑費 (まるめ)		式	1			592		
計						3,503,000		
単価						35,030	円/枚	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
金網・支柱 (立入防止柵) 設置工	鋼管基礎 支柱柵高2m以下 支柱間隔2m 再利用設置	単位	m	数量	10	単価 5,192
土木一般世話役		人	0.33	30,600	10,098	
特殊作業員		人	0.33	26,724	8,818	
普通作業員		人	0.67	25,398	17,016	
小型バックホウ運転	クロー型 山積0.13m3 平積0.10m3 クレーン0.9t吊 排対2次	日	0.33	45,380	14,975	
諸雑費 (率+まるめ) 2%		式	1		1,013	
計					51,920	
単価					5,192	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
金網・支柱 (立入防止柵) 設置工	基礎ブロック 支柱柵高2m以下 支柱間隔2m 再利用設置	単位	m	数量	10	単価 5,192
土木一般世話役		人	0.33	30,600	10,098	
特殊作業員		人	0.33	26,724	8,818	
普通作業員		人	0.67	25,398	17,016	
小型バックホウ運転	クローラ型 山積0.13m3 平積0.10m3 クレーン0.9t吊 排対2次	日	0.33	45,380	14,975	
諸雑費 (率+まるめ) 2%		式	1		1,013	
計					51,920	
単価					5,192	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防草シート設置工	改質As系 幅1.1m×長10m×厚3mm/巻(表ミネラル裏PPフィルム)	単位	m2	数量	100	単価 1,261
土木一般世話役		人	0.8	30,600	24,480	
普通作業員		人	4	25,398	101,592	
諸雑費(まるめ)		式	1		28	
計					126,100	
単価					1,261	円/m2

参考資料 (1)

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	単位	m 3	数量	1	単価	11,220	
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
無筋構造物	屋間 機械施工 制約無	m 3	1	11,211.7	11,211			
諸雑費 (まるめ)		式	1		9			
計					11,220			
単価					11,220	円/m 3		

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	単位	m 3	数量	1	単価	20,140	
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
鉄筋構造物	屋間 機械施工 制約無	m 3	1	20,137.98	20,137			
諸雑費 (まるめ)		式	1		3			
計					20,140			
単価					20,140	円/m 3		

参考資料 (1)

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
処分費 (m ³)		単位	m ³	数量			単価	
						100		2,820
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
コンクリート殻(無筋)処分費	㈱日の丸商事中間処理場	m ³	100	2,820	282,000			
計					282,000			
単価					2,820	円/m ³		

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
処分費 (m ³)		単位	m ³	数量			単価	
						100		5,000
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
コンクリート殻(鉄筋)処分費	㈱日の丸商事中間処理場	m ³	100	5,000	500,000			
計					500,000			
単価					5,000	円/m ³		

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

処分費 (m ³)		単位	m ³	数量	100	単価	3,995
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
アスファルト処分費	木名瀬商事(株)リサイクル工場	m ³	100	3,995	399,500		
計					399,500		
単価					3,995	円/m ³	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	区分別工	20mm油圧回転バケット	単位	m3	数量	100	単価	1,359
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	バケットの運転	クローラ型 山積0.8m3 平積0.6m3 クレーン2.9t吊排対2次	日	0.77	72,430	55,771		
	バケットの運転	クローラ型 山積0.8m3 平積0.6m3 クレーン2.9t吊排対2次	日	0.77	72,430	55,771		
	スクリーニングバケット賃料	油圧回転式 20mm	日	0.77	25,000	19,250		
	諸雑費 (率+まるめ) 9.28%		式	1		5,108		
	計					135,900		
	単価					1,359	円/m3	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 (m ³) 廃プラスチック類		単位 m ³	数量 100	単価 22,000	金額 2,200,000	摘要 22,000
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
廃プラスチック類処分費		m ³	100	22,000	2,200,000	
計					2,200,000	
単価					22,000	円/m ³

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
敷鉄板設置・撤去	撤去	単位	m ²	数量	100	単価 206.6
土木一般世話役		人	0.143	30,600	4,375	
とび工		人	0.143	31,008	4,434	
普通作業員		人	0.143	25,398	3,631	
バックホウ (クローラ型) 運転		日	0.143	56,060	8,016	
諸雑費 (率+まるめ) 1%		式	1		204	
計					20,660	
単価					206.6	円/m ²

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	敷鉄板賃料(整備費含む)	22×1524×6096 賃料期間339日 総供用日数721日以上	単位	枚	数量	1	単価	22,460
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	敷鉄板賃料	22×1524×6096 賃料期間339日 総供用日数721日以上	枚	1	21,357	21,357		
	整備費 (敷鉄板)	22×1524×6096mm	枚	1	1,100	1,100		
	諸雑費 (まるめ)		式	1			3	
	計						22,460	
	単価						22,460	円/枚

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	袋	数量	単価	金額	単価	概要
大型土のう工	撤去 6m以下 -3m≤H≤2m					10		980.9
土木一般世話役		人	0.087	30,600		2,662		
特殊作業員		人	0.087	26,724		2,324		
バックホウ運転 (クレーン仕様)	撤去 6m以下 -3m≤H≤2m	日	0.087	55,220		4,804		
諸雑費 (率+まるめ) 0.4%		式	1			19		
計						9,809		
単価						980.9	円/袋	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
杭橋脚設置・撤去工 (杭基礎形式)	撤去 クローラークレーン油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 70t吊	単位	t		10	単価 26,240
橋りょう世話役		人	0.74	39,780	29,437	
橋りょう特殊工		人	1.9	34,680	65,892	
溶接工		人	0.52	34,884	18,139	
普通作業員		人	0.27	25,398	6,857	
クローラークレーン運転	クローラークレーン油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 70t吊	日	0.85	155,900	132,515	
諸雑費 (率+まるめ) 8%		式	1		9,560	
計					262,400	
単価					26,240	円/t

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	単価	金額	単価	摘要
杭橋脚引抜き工	引拔長38m以下 ガス切断3箇所 クローレン70t吊					10		141,600
土木一般世話役		人	2.78	30,600		85,068		
とび工		人	5.56	31,008		172,404		
普通作業員		人	2.78	25,398		70,606		
溶接工		人	5.56	34,884		193,955		
パイロハマ(単体)運転	電動式・普通型120kW 油圧駆動式ウインチ・リフティング型70t吊	日	2.78	207,100		575,738		
諸雑費 (率+まるめ) 29%		式	1			318,229		
計						1,416,000		
単価						141,600	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

上部工架設・撤去工	撤去 クローラクレーン油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 70t吊	単位	t	数量	単価	金額	単価	10,510
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0.34	39,780	13,525			
橋りょう特殊工		人	1	34,680	34,680			
溶接工		人	0.13	34,884	4,534			
普通作業員		人	0.17	25,398	4,317			
クローラクレーン運転	クローラクレーン油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 70t吊	日	0.29	155,900	45,211			
諸雑費 (率+まるめ) 5%		式	1		2,833			
計					105,100			
単価					10,510	円/t		

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
覆工板設置・撤去工	撤去 クローラクレーン油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 70t吊	単位	m ²	数量	100	単価 695.7
土木一般世話役		人	0.27	30,600	8,262	
とび工		人	0.8	31,008	24,806	
普通作業員		人	0.12	25,398	3,047	
クローラクレーン運転	クローラクレーン油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 70t吊	日	0.21	155,900	32,739	
諸雑費 (率+まるめ) 2%		式	1		716	
計					69,570	
単価					695.7	円/m ²

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高欄設置・撤去工	ガードレール型 撤去 クローラクレーン油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 70t吊	単位	m		100	単価 2,077
土木一般世話役		人	0.87	30,600	26,622	
とび工		人	2.8	31,008	86,822	
普通作業員		人	1.2	25,398	30,477	
クローラクレーン運転	クローラクレーン油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 70t吊	日	0.4	155,900	62,360	
諸雑費 (率+まるめ) 1%		式	1		1,419	
計					207,700	
単価					2,077	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	単価	金額	単価	摘要
パイプロハンマ施工によるH形鋼引抜き	陸上 油圧式242kW 4m以下					10		4,941
土木一般世話役		人	0.128	30,600		3,916		
とび工		人	0.256	31,008		7,938		
普通作業員		人	0.128	25,398		3,250		
パイプロハンマ杭打機運転 (陸上施工)	引抜き 油圧式排出ガス対策型(第3次)242kW	日	0.128	267,300		34,214		
諸雑費 (率+まるめ) 0.2%		式	1			92		
計						49,410		
単価						4,941	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	本	数量	単価	金額	単価	摘要
パイプロハンマ施工によるH形鋼引抜き	陸上 油圧式242kW 6m以下					10		5,675
土木一般世話役		人	0.147	30,600		4,498		
とび工		人	0.294	31,008		9,116		
普通作業員		人	0.147	25,398		3,733		
パイプロハンマ杭打機運転 (陸上施工)	引抜き 油圧式排出ガス対策型(第3次)242kW	日	0.147	267,300		39,293		
諸雑費 (率+まるめ) 0.2%		式	1			110		
計						56,750		
単価						5,675	円/本	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	m ²	数量	単価	金額	単価	摘要
横矢板設置・撤去	撤去					10		2,136
土木一般世話役		人	0.2	30,600		6,120		
普通作業員		人	0.6	25,398		15,238		
諸雑費 (まるめ)		式	1			2		
計						21,360		
単価						2,136	円/m ²	

参考資料 (1)

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
処分費 (m ³)		単位	m ³	数量			単価	
						100		6,400
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
木材処分費	㈱ヤゲンつくば工場	m ³	100	6,400	640,000			
計					640,000			
単価					6,400	円/m ³		

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
交通誘導警備員B		単位	人日	数量			単価	
						1		17,550
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
交通誘導警備員B		人	1	17,544	17,544			
諸雑費 (まるめ)		式	1		6			
計					17,550			
単価					17,550	円/人日		

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	回	数量	単価	金額	摘要
重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) クローレン系 35t吊超80t吊以下(クラム平積0.6m3超2m3下) 標準(1.0)	単位	回	数量		1	1,212,000
特殊作業員		人	5.5	26,724		146,982	
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	25 t 吊	日	1.5	53,200		79,800	
運搬費等率 434%		式	1			984,233	
諸雑費 (まるめ)		式	1			985	
計						1,212,000	
単価						1,212,000	円/回

参考資料 (1)

						単価使用年月	2026. 2
						歩掛使用年月	2026. 2
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0
名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	関東・中部・近畿 49.2km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	5,750	5,750	5,750	5,750
基本運賃区分A	製品長12m以内 50kmまで	t	1	5,750	5,750		
諸雑費(まるめ)		式	1			0	
計						5,750	
単価						5,750	円/t

						単価使用年月	2026. 2
						歩掛使用年月	2026. 2
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0
名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
仮設材等の積み、取卸し費	積み、取卸し(片道分)	t	1	1,500	1,500	1,500	1,500
積み、取卸し費(仮設材等)		t	1	1,500	1,500		
諸雑費(まるめ)		式	1			0	
計						1,500	
単価						1,500	円/t

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	式	数量	単価	金額	摘要
家屋調査費 (一式)	5440千円					1	5,440,000
物件補償費		式		1		5,440,000	
計						5,440,000	
単価						5,440,000	円/式

参考資料 (2)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	日	数量	単価	金額	単価	摘要
小型バックホの運転	クロー型 山積0.13m3 平積0.10m3 クレーン0.9t吊 排対2次	人	1	29,988		29,988		45,380
軽油		L	23	130		2,990		
小型バックホの損料	クロー型 山積0.13m3 平積0.10m3 クレーン0.9t吊 排対2次	日	1	12,400		12,400		
諸雑費 (まるめ)		式	1				2	
計						45,380		
単価						45,380	円/日	

参考資料 (2)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	日	数量	単価	金額	単価	摘要
バックホウ	クローラ型 山積0.8m3 平積0.6m3 クレーン2.9t吊排対2次					1		72,430
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
運転手 (特殊)		人	1	29,988	29,988			
軽油		L	113	130	14,690			
バックホウ (クローラ) [標準・クレーン機能付き]	排ガス型 (第2次) 山積0.8m3 2.9t吊	供用日	1.5	18,500	27,750			
諸雑費 (まるめ)		式	1		2			
計						72,430		
単価						72,430	円/日	

参考資料 (2)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	日	数量	単価	金額	単価	摘要
バックホウ (クローラ型) 運転						1		56,060
運転手 (特殊)		人	1	29,988		29,988		
軽油		L	119	130		15,470		
バックホウ (クローラ) [標準・クレーン機能付き]	山積0.8m3 (平積0.6m3) 2.9t吊	日	1.06	10,000		10,600		
諸雑費 (まるめ)		式	1				2	
計						56,060		
単価						56,060	円/日	

参考資料 (2)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	日	数量	単価	金額	摘要
バックホウ運転 (クレーン仕様)	撤去 6m以下 -3m≤H≤2m	人	1	29,988		29,988	55,220
軽油		L	101	130		13,130	
バックホウ (クローラ) [標準・クレーン機能付き]	山積0.8m3 (平積0.6m3) 2.9t吊	日	1.21	10,000		12,100	
諸雑費 (まるめ)		式	1			2	
計						55,220	
単価						55,220	円/日

参考資料 (2)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	日	数量	単価	金額	単価	摘要
クローラクレーン運転	クローラクレーン油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 70t吊					1		155,900
運転手 (特殊)		人	1	29,988		29,988		
軽油		L	105	130		13,650		
クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ]	排出ガス対策型 (2014年規制) 70t吊	供用日	1.32	85,000		112,200		
諸雑費 (まるめ)		式	1			62		
計						155,900		
単価						155,900	円/日	

参考資料 (2)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	日	数量	単価	金額	単価	摘要
ハイパフォーマ(単体)運転	電動式・普通型120kW 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型70t吊					1		207,100
運転手 (特殊)		人		1	29,988	29,988		
軽油		L		105	130	13,650		
ハイパフォーマ(単体)損料	電動式・普通型 120kW 起振力748kN	供用日		1.32	38,800	51,216		
クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ]	排出ガス対策型 (2014年規制) 70t吊	供用日		1.32	85,000	112,200		
諸雑費 (まるめ)		式		1		46		
計						207,100		
単価						207,100	円/日	

参考資料 (2)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	日	数量	単価	金額	単価	摘要
パイプロハンマ杭打機運転 (陸上施工)	引抜き 油圧式排出ガス対策型(第3次)242kW					1		267,300
運転手 (特殊)		人		1	29,988	29,988		
軽油		L		484	130	62,920		
パイプロハンマ (単体) [油圧式・可変超高周波型]	排ガス型 (第3次) 振り子式 473kN	供用日		1.21	109,000	131,890		
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	排出ガス対策型 (第3次基準値) 25t吊	供用日		1.21	35,100	42,471		
諸雑費 (まるめ)		式		1		31		
計						267,300		
単価						267,300	円/日	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-1号	不陸整正	補足材無し	単位	m2	数量		1	単価	175
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
不陸整正		無し 全ての費用	m 2	1	175	175			
計						175			
単価						175	円/m2		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-2号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	単位	m2	数量		1	単価	1,881
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
表層(車道・路肩部)		3.0m超 50mm 再生密粒度アスコン(20) プライムコート PK-3 全ての費用	m 2	1	1,881	1,881			
計						1,881			
単価						1,881	円/m2		

1 次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-3号	床掘り	土砂 標準	単位	m3	数量	1	単価	247
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 標準 無し 無し	m 3	1	247	247		
計						247		
単価						247	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-4号	埋戻し (1)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	単位	m3	数量	1	単価	2,002
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅1m以上4m未満	m 3	1	2,002	2,002		
計						2,002		
単価						2,002	円/m3	

1 次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-5号	埋戻し (2)	土砂 最大埋戻幅4m以上	単位	m3	数量	1	単価	1,084
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅4m以上	m 3	1	1,084	1,084		
計						1,084		
単価						1,084	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-6号	基面整正		単位	m2	数量	1	単価	508
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基面整正			m 2	1	508	508		
計						508		
単価						508	円/m2	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-7号	土砂等運搬 (現場～大輪SY)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量		単価	1,065
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土砂等運搬	標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 5.5km以下	m3	1	1,065	1,065		
	計					1,065		
	単価					1,065	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-8号	整地	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量		単価	128.4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	整地	残土受入れ地での処理	m3	1	128.4	128.4		
	計					128.4		
	単価					128.4	円/m3	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-9号	プレキャストボックス (1)	内幅 0.3m 内高 0.3m	単位	m	数量		1	単価	32,510
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
	ボックスカルバート	据付 2.0m/個 0<B≤1.25 0<H≤1.25 基礎砕石+均しコンクリート 無し 標準 全ての費用	m	1	32,510	32,510			
	計					32,510			
	単価					32,510	円/m		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-10号	プレキャストボックス (2)	内幅 1.2m 内高 0.9m	単位	m	数量		1	単価	92,020
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
	ボックスカルバート	据付 2.0m/個 0<B≤1.25 0<H≤1.25 基礎砕石+均しコンクリート 無し 標準 全ての費用	m	1	92,020	92,020			
	計					92,020			
	単価					92,020	円/m		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-11号	床掘り (1)	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	単位	m3	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	床掘り	土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 無し	m 3	1	297	297		297
	計					297		
	単価					297	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-12号	床掘り (2)	土砂 標準	単位	m3	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	床掘り	土砂 標準 無し 無し	m 3	1	247	247		247
	計					247		
	単価					247	円/m3	

1 次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-13号	埋戻し (1)	土砂 最大埋戻幅1m未満	単位	m3	数量	1	単価	3,296
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅1m未満	m 3	1	3,296	3,296		
計						3,296		
単価						3,296	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-14号	埋戻し (2)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	単位	m3	数量	1	単価	2,002
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅1m以上4m未満	m 3	1	2,002	2,002		
計						2,002		
単価						2,002	円/m3	

1次単価表

						単価使用年月	2026. 2
						歩掛使用年月	2026. 2
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-15号	埋戻し (3)	土砂 最大埋戻幅4m以上	単位	m3	数量	1	単価
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	埋戻し	最大埋戻幅4m以上	m 3	1	1,084	1,084	
	計					1,084	
	単価					1,084	円/m3

						単価使用年月	2026. 2
						歩掛使用年月	2026. 2
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-16号	基面整正		単位	m2	数量	1	単価
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	基面整正		m 2	1	508	508	
	計					508	
	単価					508	円/m2

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-17号	土砂等運搬 (現場~大輪SY)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量		1	単価	1,065
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土砂等運搬		標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 5.5km以下	m3	1	1,065	1,065			
計						1,065			
単価						1,065	円/m3		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-18号	整地	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量		1	単価	128.4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
整地		残土受入れ地での処理	m3	1	128.4	128.4			
計						128.4			
単価						128.4	円/m3		

1 次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-19号	プレキャストU型側溝 (1)	300×300×2000	単位	m	数量		1	単価	8,363
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40～0 0.5m3/10m	m	1	8,363	8,363			
計						8,363			
単価						8,363	円/m		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-20号	プレキャストU型側溝 (2)	300×300×2000	単位	m	数量		1	単価	10,490
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40～0 0.5m3/10m	m	1	10,490	10,490			
計						10,490			
単価						10,490	円/m		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-21号	プレキャストU型側溝 (3)	600×900×2000	単位	m	数量	10	単価	38,790
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0 1.35m ³ /10m	m	10	34,230	342,300		
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設 各種 一般養生 全ての費用	m ³	0.9	39,150	35,235		
型枠		一般型枠 均しコンクリート	m ²	2	5,159	10,318		
計						387,853		
単価						38,790	円/m	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-22号	プレキャストU型側溝 (4)	800×900×2000	単位	m	数量	10	単価	44,860
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0	m	10	39,520	395,200		
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設 各種 一般養生 全ての費用	m ³	1.1	39,150	43,065		
型枠		一般型枠 均しコンクリート	m ²	2	5,159	10,318		
計						448,583		
単価						44,860	円/m	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-23号	プレキャストU型側溝 (5)	1200×900×2000	単位	m	数量	10	単価	50,910
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0	m	10	44,000	440,000		
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設 各種 一般養生 全ての費用	m ³	1.5	39,150	58,725		
型枠		一般型枠 均しコンクリート	m ²	2	5,159	10,318		
計						509,043		
単価						50,910	円/m	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-24号	プレキャストU型側溝 (6)	800×900×2000 車道用	単位	m	数量	10	単価	58,630
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0	m	10	53,090	530,900		
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設 各種 一般養生 全ての費用	m ³	1.15	39,150	45,022.5		
型枠		一般型枠 均しコンクリート	m ²	2	5,159	10,318		
計						586,240.5		
単価						58,630	円/m	

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-25号	暗渠排水管	据付 φ1000 再利用	単位	m	数量		1	単価	4,066
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
	耐圧ポリエチレンリブ管 (ハウエル管) 設置工	無し R30 700mm~1000mm	m	1	4,066	4,066			
	計					4,066			
	単価					4,066	円/m		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-26号	現場打ち集水樹 (1)	600×600×600 グレチン [®] 蓋 現場打材 18-8-25(20)高炉(W/C指定なし) 法面作業補正無	単位	箇所	数量		1	単価	95,930
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
	現場打ち集水樹・街渠樹 (本体)	各種 0.32m3を超え0.34m3以下 人力打設 一般養生・特殊養生(練炭)	箇所	1	57,300	57,300			
	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	38,630	38,630			
	計					95,930			
	単価					95,930	円/箇所		

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-27号	現場打ち集水樹 (2)	1000×1000×1100 縞鋼板蓋 現場打材 18-8-25 (20) 高炉 (W/C60%以下) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	1	単価	250,400
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水樹・街渠樹 (本体)		18-8-25 (高炉) 1.03m3を超え1.09m3以下 バックホウ (クレーン機能付) 打設	箇所	1	153,200	153,200		
蓋版		据付け 無し 蓋版 (各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	91,630	91,630		
(材料費) 足掛金物		W=300 L=250 φ19	個	2	2,780	5,560		
計						250,390		
単価						250,400	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-28号	現場打ち集水樹 (3)	1000×1000×1200 縞鋼板蓋 現場打材 18-8-25(20)高 炉(W/C60%以下) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	1	単価	257,900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	現場打ち集水樹・街渠樹(本体)	18-8-25(高炉) 1.09m3を超え1.15m3以下 バックホウ(クレーン機能付)打設	箇所	1	160,700	160,700		
	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	1	91,630	91,630		
	(材料費)足掛金物	W=300 L=250 φ19	個	2	2,780	5,560		
	計					257,890		
	単価					257,900	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単一29号	現場打ち集水樹 (4)	1400×1400×1100 縞鋼板蓋 現場打材 18-8-25(20)高 炉(W/C60%以下) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	1	単価	341,900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水樹・街渠樹 (本体)		18-8-25(高炉) 1.29m3を超え1.36m3以下 バックホウ(クレーン機能付)打設	箇所	1	186,200	186,200		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	2	75,030	150,060		
(材料費)足掛金物		W=300 L=250 φ19	個	2	2,780	5,560		
計						341,820		
単価						341,900	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-30号	現場打ち集水樹 (5)	1400×1400×1100 縞鋼板蓋 現場打材 18-8-25 (20) 高炉 (W/C60%以下) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	1	単価	308,900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	現場打ち集水樹・街渠樹 (本体)	18-8-25 (高炉) 1.03m3を超え1.09m3以下 バックホウ (クレーン機能付) 打設	箇所	1	153,200	153,200		
	蓋版	据付け 無し 蓋版 (各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	2	75,030	150,060		
	(材料費)足掛金物	W=300 L=250 φ19	個	2	2,780	5,560		
	計					308,820		
	単価					308,900	円/箇所	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-31号	現場打ち集水樹 (6)	1400×1800×1100 縞鋼板蓋 現場打材 18-8-25(20)高 炉(W/C60%以下) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	1	単価	394,200
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	現場打ち集水樹・街渠樹(本体)	18-8-25(高炉) 1.44m3を超え1.52m3以下 バックホウ(クレーン機能付)打設	箇所	1	205,500	205,500		
	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	2	91,530	183,060		
	(材料費)足掛金物	W=300 L=250 φ19	個	2	2,780	5,560		
	計					394,120		
	単価					394,200	円/箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-32号	立入防止柵 (1)	H=1.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO仕様	単位	m	数量	10	単価	11,660
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基礎ブロック, 鋼管基礎		鋼管基礎 2m以下 全ての費用	基	5	5,276	26,380		
金網・支柱 (立入防止柵)		鋼管基礎 2m以下 2m	m	10	3,477	34,770		
金網・支柱 (立入防止柵) (材料費)			m	10	5,540	55,400		
計						116,550		
単価						11,660	円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-33号	立入防止柵 (2)	H=2.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO仕様	単位	m	数量	10	単価	15,620
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
(材料費)鋼管基礎		φ139.8×3.5×1000 HDZT77	本	5	6,110	30,550		
【鋼管基礎の設置手間含まず】								
金網・支柱（立入防止柵）		鋼管基礎 2mを超え2.5m以下 2m	m	10	3,879	38,790		
金網・支柱（立入防止柵）（材料費）			m	10	8,680	86,800		
計						156,140		
単価						15,620	円/m	

1 次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-34号	防草シート	改質アスファルト系 W=2.0m	単位	m2	数量		1	単価	4,281
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
防草シート設置工		改質As系 幅1.1m×長10m×厚3mm/巻(表ミネラル裏PPフィルム)	m2	1	1,261	1,261			
(材料費)防草シート(アンカーピッチ・ロス分含む)		改質As系 幅1.1m×長10m×厚3mm/巻(表ミネラル裏PPフィルム)	m2	1	3,020	3,020			
計						4,281			
単価						4,281	円/m2		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-35号	舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	単位	m2	数量		1	単価	617.5
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
舗装版破碎		アスファルト舗装版 無し 必要 15cm以下 有り 全ての費用	m2	1	617.5	617.5			
計						617.5			
単価						617.5	円/m2		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-36号	殻運搬	アスファルト殻(掘削材)	単位	m3	数量		1	単価	2,415
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
殻運搬		舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要) 無し 10.0km以下 全ての費用	m 3	1	2,415	2,415			
計						2,415			
単価						2,415	円/m3		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-37号	殻処分	アスファルト殻(掘削材)	単位	m3	数量		1	単価	5,405
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
処分費 (m3)			m 3	1	5,405	5,405			
計						5,405			
単価						5,405	円/m3		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-38号	礫分別		単位	m3	数量		1	単価	1,359
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
ワキ分別工		20mm油圧回転バケット							
			m3	1	1,359	1,359			
	計					1,359			
	単価					1,359	円/m3		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-39号	積込(ルーズ)	C-40、ふるい分け土	単位	m3	数量		1	単価	241.8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
積込(ルーズ)		土砂 土量50,000m3未満							
			m3	1	241.8	241.8			
	計					241.8			
	単価					241.8	円/m3		

1 次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-40号	土砂等運搬 (1) (現場~大輪SY)	C-40	単位	m3	数量		1	単価	1,065
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土砂等運搬		標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 5.5km以下	m 3	1	1,065	1,065			
計						1,065			
単価						1,065	円/m3		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-41号	土砂等運搬 (2) (場内運搬)	ふるい分け土	単位	m3	数量		1	単価	384.4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土砂等運搬		標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 0.3km以下	m 3	1	384.4	384.4			
計						384.4			
単価						384.4	円/m3		

1 次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-42号	整地 (1)	残土受け入れ地での処理 C-40	単位	m3	数量	1	単価	128.4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
整地		残土受け入れ地での処理	m 3	1	128.4	128.4		
計						128.4		
単価						128.4	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-43号	整地 (2)	敷均し(ルズ) ふるい分け土	単位	m3	数量	1	単価	128.3
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
整地		敷均し(ルズ) 標準(10,000m3未満) 無し	m 3	1	128.3	128.3		
計						128.3		
単価						128.3	円/m3	

1 次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-44号	敷鉄板	22×1,524×6,096(mm) 撤去	単位	m2	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	敷鉄板設置・撤去	撤去	m 2	9.29	206.6	1,919.31		2,625
	敷鉄板賃料(整備費含む)	22×1524×6096 賃料期間339日 総供用日数721日以上	枚	1	22,460	22,460		
	計					24,379.31		
	単価					2,625	円/m2	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-45号	土のう	大型土のう撤去	単位	袋	数量		単価	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	大型土のう工	撤去 6m以下 -3m≤H≤2m	袋	1	980.9	980.9		980.9
	計					980.9		
	単価					980.9	円/袋	

1 次単価表

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-46号	積込(ルーズ)	大型土のうち詰め材	単位	m3	数量		1	単価	241.8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
積込 (ルーズ)		土砂 土量50,000m3未満	m 3	1	241.8	241.8			
計						241.8			
単価						241.8	円/m3		

							単価使用年月	2026. 2	
							歩掛使用年月	2026. 2	
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0	
単-47号	土砂等運搬 (現場~大輪SY)	大型土のうち詰め材	単位	m3	数量		1	単価	1,065
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土砂等運搬		標準 トラック山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 5.5km以下	m 3	1	1,065	1,065			
計						1,065			
単価						1,065	円/m3		

1次単価表

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-48号	整地	残土受入れ地での処理	単位	m3	数量	1	単価	128.4
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
整地		残土受入れ地での処理	m3	1	128.4	128.4		
	計					128.4		
	単価					128.4	円/m3	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
単-49号	表層地盤改良シート撤去		単位	m2	数量	1	単価	1,543
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層地盤改良シート撤去工		パレスシート格子間隔1m×1m(シヤット、充填材、土木シート)	m2	1	1,543	1,543		
	計					1,543		
	単価					1,543	円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-50号	廃棄物運搬処分	がれき類	単位	t	数量	1	単価	65,500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	混合廃棄物運搬処分	がれき類	t	1	65,500	65,500		
	(参考運搬費:5,500円/t)							
	(参考処分費:60,000円/t)							
	計					65,500		
	単価					65,500	円/t	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-51号	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	単位	人日	数量	1	単価	17,550
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B		人日	1	17,550	17,550		
	計					17,550		
	単価					17,550	円/人日	

1次単価表

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単-52号	仮設材運搬費	復路 敷鉄板	単位	t	数量	1	単価	7,620
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【復路】								
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	関東・中部・近畿 52.3km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無		t	1	6,120	6,120		
仮設材等の積込み, 取卸し費	積込み, 取卸し(片道分)		t	1	1,500	1,500		
計						7,620		
単価						7,620	円/t	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0 0.5m3/10m	m	10	4,421.7	44,217	8,363
U型側溝	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 昼 無	m	10	4,421.7	44,217	
フレキャストU型側溝	PU1-B300-H300 L2000 JIS A 5372 輪荷重なし	個	5	7,660	38,300	
再生クラッシュラン	R C - 4 0	m ³	0.6	1,850	1,110	
諸雑費 (まるめ)		式	1		3	
計					83,630	
単価					8,363	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0 0.5m3/10m	m	10	4,421.7	44,217	10,490
U型側溝	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 昼 無	m	10	4,421.7	44,217	
フレキャストU型側溝	PU2-B300-H300 L2000 JIS A 5372 輪荷重あり	個	5	11,900	59,500	
再生クラッシュラン	R C - 4 0	m ³	0.6	1,850	1,110	
諸雑費 (まるめ)		式	1		73	
計					104,900	
単価					10,490	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0 1.35m ³ /10m	m	10		44,217	34,230
U型側溝	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 昼 無	m	10	4,421.7	44,217	
プレキャストU型側溝	600×900×2000	個	5	59,000	295,000	
再生クラッシュラン	R C - 4 0	m ³	1.62	1,850	2,997	
諸雑費 (まるめ)		式	1		86	
計					342,300	
単価					34,230	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0	m	10	6,849.3	68,493	39,520
U型側溝	L 2 0 0 0 2 0 0 0 k g 以下 昼 無	m	10	6,849.3	68,493	
プレキャストU型側溝	800×900×2000	個	5	64,600	323,000	
再生クラッシュラン	R C - 4 0	m ³	1.98	1,850	3,663	
諸雑費 (まるめ)		式	1		44	
計					395,200	
単価					39,520	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	U型側溝	据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40~0	単位	m	数量	10	単価	44,000
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
U型側溝	L 2 0 0 0 2 0 0 0 k g 以下 昼 無	m	10	6,849.3	68,493			
プレキャストU型側溝	1200×900×2000	個	5	73,300	366,500			
再生クラッシュラン	R C - 4 0	m ³	2.7	1,850	4,995			
諸雑費 (まるめ)		式	1		12			
計					440,000			
単価					44,000	円/m		

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け無し無し側溝(各種) L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下無し無し 有り 再生クラッシュラン 40~0	m	10	6,849.3	68,493	53,090
U型側溝	L2000 2000kg以下 昼 無	m	10	6,849.3	68,493	
プレキャストU型側溝	800×900×2000 車道用	個	5	91,700	458,500	
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	2.07	1,850	3,829	
諸雑費(まるめ)		式	1		78	
計					530,900	
単価					53,090	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
耐圧ポリエチレンリブ管 (ハウエル管) 設置工	無し R30 700mm~1000mm	m	1	4,066.74	4,066	4,066
耐圧ポリエチレンリブ管 (ハウエル管) 設置	R30 呼び径700mm~1000mm 時間制約無	m	1	4,066.74	4,066	
耐圧ポリエチレンリブ管 (再利用)	φ1000	m	1	0	0	
諸雑費 (まるめ)		式	1		0	
計					4,066	
単価					4,066	円/m

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し					100		38,630
蓋版コンクリート・鋼製	170kg以下 昼 無	枚	100	1,024.08		102,408		
グレーチング 蓋	すべり止め型 600×600用 T-6 ホール固定式 普通目	枚	100	37,600		3,760,000		
諸雑費 (まるめ)		式	1			592		
計						3,863,000		
単価						38,630	円/枚	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し					100		91,630
蓋版コンクリート・鋼製	170kg以下 昼 無	枚	100	1,024.08		102,408		
縞鋼板蓋	1400×1400×3.2 等辺山形鋼 つり金具・鎖付	枚	100	90,600		9,060,000		
諸雑費 (まるめ)		式	1			592		
計						9,163,000		
単価						91,630	円/枚	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し					100		75,030
蓋版コンクリート・鋼製	170kg以下 昼 無	枚	100	1,024.08		102,408		
縞鋼板蓋	1800×900×3.2 等辺山形鋼・つり金具・鎖付 2枚/組	枚	100	74,000		7,400,000		
諸雑費 (まるめ)		式	1			592		
計						7,503,000		
単価						75,030	円/枚	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価	91,530
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
蓋版コンクリート・鋼製	170kg以下 昼 無	枚	100	1,024.08	102,408		
縞鋼板蓋	1800×1100×3.2 等辺山形鋼・つり金具・鎖付 2枚/組	枚	100	90,500	9,050,000		
諸雑費 (まるめ)		式	1		592		
計					9,153,000		
単価					91,530	円/枚	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	防草シート設置工	改質As系 幅1.1m×長10m×厚3mm/巻(表ミネラル裏PPフィルム)	単位	m2	数量	100	単価	1,261
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
土木一般世話役		人	0.8	30,600	24,480			
普通作業員		人	4	25,398	101,592			
諸雑費（まるめ）		式	1		28			
計					126,100			
単価					1,261	円/m2		

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

処分費（m ³ ）		単位	m ³	数量	100	単価	5,405
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
アスファルト処分費	筑波グリーンアスコン(株)筑波リサイクル工場	m ³	100	5,405	540,500		
計					540,500		
単価					5,405	円/m ³	

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

区分別工	20mm油圧回転バケット	単位	m3	数量	100	単価	1,359
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
バケットの運転	クローラ型 山積0.8m3 平積0.6m3 クレーン2.9t吊 排対2次	日	0.77	72,430	55,771		
バケットの運転	クローラ型 山積0.8m3 平積0.6m3 クレーン2.9t吊 排対2次	日	0.77	72,430	55,771		
スクリーニングバケット賃料	油圧回転式 20mm	日	0.77	25,000	19,250		
諸雑費 (率+まるめ) 9.28%		式	1		5,108		
計					135,900		
単価					1,359	円/m3	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（m ³ ） 廃 ⁷ ラスチック等		単位 m ³	数量	単価	100	22,000
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
廃 ⁷ ラスチック類処分費		m ³	100	22,000	2,200,000	
計					2,200,000	
単価					22,000	円/m ³

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
敷鉄板設置・撤去	撤去	単位	m ²	数量	100	単価 206.6
土木一般世話役		人	0.143	30,600	4,375	
とび工		人	0.143	31,008	4,434	
普通作業員		人	0.143	25,398	3,631	
バックホウ(クローラ型)運転		日	0.143	56,060	8,016	
諸雑費(率+まるめ) 1%		式	1		204	
計					20,660	
単価					206.6	円/m ²

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	敷鉄板賃料 (整備費含む)	22×1524×6096 賃料期間339日 総供用日数721日以上	単位	枚	数量	1	単価	22,460
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	敷鉄板賃料	22×1524×6096 賃料期間339日 総供用日数721日以上	枚	1	21,357	21,357		
	整備費 (敷鉄板)	22×1524×6096mm	枚	1	1,100	1,100		
	諸雑費 (まるめ)		式	1			3	
	計						22,460	
	単価						22,460	円/枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	大型土のう工	撤去 6m以下 -3m≦H≦2m	単位	袋	数量	10	単価
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役		人	0.087	30,600	2,662		
特殊作業員		人	0.087	26,724	2,324		
バックホウ運転（クレーン仕様）	撤去 6m以下 -3m≦H≦2m	日	0.087	55,220	4,804		
諸雑費（率+まるめ） 0.4%		式	1		19		
計					9,809		
単価					980.9		円/袋

参考資料 (1)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層地盤改良シート撤去工	パレスシート格子間隔1m×1m(ジャケット、充填材、土木シート)	単位	m2		100	1,543
土木一般世話役		人	0.62	30,600	18,972	
普通作業員		人	2.47	25,398	62,733	
コンクリート圧砕装置(単体)運転	小割機 開口幅730mm 破砕力600kN クローラ型山積0.5m3	日	1.23	58,950	72,508	
諸雑費(まるめ)		式	1		87	
計					154,300	
単価					1,543	円/m2

参考資料（1）

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	混合廃棄物運搬処分	がれき類	単位	t	数量	1	単価	65,500
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	混合廃棄物運搬	がれき類	t	1	5,500	5,500		
	処分費（t） がれき類		t	1	60,000	60,000		
	計					65,500		
	単価					65,500	円/t	

							単価使用年月	2026. 2
							歩掛使用年月	2026. 2
							労務調整係数	1.000-00-00-2-0
	交通誘導警備員B		単位	人日	数量	1	単価	17,550
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B		人	1	17,544	17,544		
	諸雑費（まるめ）		式	1		6		
	計					17,550		
	単価					17,550	円/人日	

参考資料 (1)

						単価使用年月	2026. 2
						歩掛使用年月	2026. 2
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0
名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	関東・中部・近畿 52.3km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	6,120	6,120	6,120	6,120
基本運賃区分A	製品長12m以内 60kmまで	t	1	6,120	6,120		
諸雑費(まるめ)		式	1		0		
計					6,120		
単価					6,120	円/t	

						単価使用年月	2026. 2
						歩掛使用年月	2026. 2
						労務調整係数	1.000-00-00-2-0
名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
仮設材等の積込み、取卸し費	積込み、取卸し(片道分)	t	1	1,500	1,500	1,500	1,500
積込み、取卸し費(仮設材等)		t	1	1,500	1,500		
諸雑費(まるめ)		式	1		0		
計					1,500		
単価					1,500	円/t	

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	日	数量	単価	金額	単価	72,430
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
バックホウ（特殊）		人	1	29,988	29,988			
軽油		L	113	130	14,690			
バックホウ（クローラ） [標準・クレーン機能付き]	排ガス型（第2次） 山積0.8m3 2.9t吊	供用日	1.5	18,500	27,750			
諸雑費（まるめ）		式	1			2		
計						72,430		
単価						72,430	円/日	

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バックホウ（クローラ型）運転	単位	日	数量	1	単価
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	29,988	29,988	
軽油		L	119	130	15,470	
バックホウ（クローラ） [標準・クレーン機能付き]	山積0.8m ³ （平積0.6m ^{3 <td>日</td> <td>1.06</td> <td>10,000</td> <td>10,600</td> <td></td>}	日	1.06	10,000	10,600	
諸雑費（まるめ）		式	1			2
計					56,060	
単価					56,060	円/日

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バックホウ運転（クレーン仕様）	撤去 6m以下 -3m≤H≤2m	単位	日	数量	1	単価	55,220
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
運転手（特殊）		人	1	29,988	29,988			
軽油		L	101	130	13,130			
バックホウ（クローラ） [標準・クレーン機能付き]	山積0.8m3（平積0.6m3） 2.9t吊	日	1.21	10,000	12,100			
諸雑費（まるめ）		式	1			2		
計						55,220		
単価						55,220		円/日

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	名称	規格	単位	日	数量	単価	金額	単価	摘要
	コンクリート圧砕装置(単体)運転	小割機 開口幅730mm 破砕力600kN クローラ型山積0.5m3					1		58,950
	名称	規格	単位	数量	単価	金額			摘要
	運転手(特殊)		人	1	29,988	29,988			
	軽油		L	53	130	6,890			
	コンクリート圧砕装置(小割機)	開口幅730mm 破砕力600kN							
			供用日	1.5	8,390	12,585			
	バックホウ(クローラ) [標準]	山積0.5m3 (平積0.4m3)							
			日	1.5	6,320	9,480			
	諸雑費(まるめ)								
			式	1		7			
	計						58,950		
	単価						58,950	円/日	

参考資料 (2)

単価使用年月	2026. 2
歩掛使用年月	2026. 2
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

処分費 (t)		単位	t	数量		単価	
がれき類					100		60,000
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
混合廃棄物処分費	がれき類	t	100	60,000	6,000,000		
計					6,000,000		
単価					60,000	円/t	

共通仮設費

主たる工種							
単独（追加工事）： 道路改良工事			合算工事： 0				
対象工事費	127,702,591	直接工事費	122,262,591	準備費	0	事業損失	5,440,000
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	10,966,694	現工事	0	合算工事	0
非対象額計（－）		9,717,046					
管理費区分1	0	(橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費)					
管理費区分2, 7	0	(工場原価)					
管理費区分5	0	(一般管理費等のみ対象額)					
管理費区分9	2,506,242	(間接費非対象額)					
管理費区分T	7,210,804	(全処分費等のうち3%または3000万円を超える額)					
対象額 支給品（＋）		0					
無償貸付機械評価額（＋）		0					
共通仮設費対象額							
単独（追加工事）		117,985,545	現工事	0	合算工事	0	
全処分費等を除く共通仮設費対象額		114,229,655		0		0	
共通仮設費（率分）							
率（補正前）	9.61	%		0	%		
施工地域等補正	0	%	ICT施工補正	1			
率（補正後）	9.8	%	(9.61% × 週休1.02)				
計上額	11,562,000			0		0	
比較結果							
	当該追加工事	A					
	0	0			調整工事計上額	0	

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	114,229,655	直接工事費	122,262,591		
非対象額計(一)	8,032,936				
管理費区分1	0	(橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費)			
管理費区分2,7	0	(工場原価)			
管理費区分5	0	(一般管理費等のみ対象額)			
管理費区分9	-2,933,758	(間接費非対象額)			
管理費区分T	10,966,694	(直接工事費に含まれる処分費等)			
対象額 支給品(+)	0				
無償貸付機械評価額(+)	0				
現場環境改善費対象額(Pi)					
単独(追加工事)	114,229,655	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率(補正前)	0.96 %		0 %		0 %
施工地域等補正	市街地以外				
率(補正後)	0.96 %				
計上額	1,096,000		0		0
比較結果					
当該追加工事	A			調整工事計上額	0
	0				

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	8,761,096				
運搬費	3,321,096	準備費	0	事業損失防止施設費	5,440,000
安全費	0	役務費	0	技術管理費	0
営繕費	0	現場環境改善費	0		
共通仮設費計					21,419,096

共通仮設費

主たる工種						
単独（追加工事）： 道路改良工事			合算工事： 0			
対象工事費	73,221,232	直接工事費	67,781,232	準備費	0	事業損失 5,440,000
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	2,902,709	現工事	0	合算工事 0
非対象額計（－）		3,287,502				
管理費区分1		0 (橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費)				
管理費区分2, 7		0 (工場原価)				
管理費区分5		0 (一般管理費等のみ対象額)				
管理費区分9		2,506,242 (間接費非対象額)				
管理費区分T		781,260 (全処分費等のうち3%または3000万円を超える額)				
対象額 支 給 品（＋）		0				
無償貸付機械評価額（＋）		0				
共通仮設費対象額						
単独（追加工事）		69,933,730	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く共通仮設費対象額		67,812,281		0	0	
共通仮設費（率分）						
率（補正前）		10.1 %	0 %			
施工地域等補正		0 %	ICT施工補正 1			
率（補正後）		10.3 % (10.1 % × 週休1.02)				
計上額		7,203,000		0	0	
比較結果						
当該追加工事		A				
0		0		調整工事計上額		0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	67,812,281	直接工事費	67,781,232		
非対象額計(－)	-31,049				
管理費区分1	0	(橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費)			
管理費区分2,7	0	(工場原価)			
管理費区分5	0	(一般管理費等のみ対象額)			
管理費区分9	-2,933,758	(間接費非対象額)			
管理費区分T	2,902,709	(直接工事費に含まれる処分費等)			
対象額支給品(+)	0				
無償貸付機械評価額(+)	0				
現場環境改善費対象額(Pi)					
単独(追加工事)	67,812,281	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率(補正前)	1.06 %		0 %	0 %	
施工地域等補正	市街地以外				
率(補正後)	1.06 %				
計上額	718,000		0	0	
比較結果	当該追加工事	A		調整工事計上額	0
	0	0			

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	8,431,150				
運搬費	2,991,150	準備費	0	事業損失防止施設費	5,440,000
安全費	0	役務費	0	技術管理費	0
営繕費	0	現場環境改善費	0		
共通仮設費計					16,352,150

共通仮設費

主たる工種							
単独（追加工事）： 道路改良工事			合算工事： 0				
対象工事費	54,481,359	直接工事費	54,481,359	準備費	0	事業損失	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	8,063,985	現工事	0	合算工事	0
非対象額計（－）		6,429,545					
管理費区分1	0	(橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費)					
管理費区分2, 7	0	(工場原価)					
管理費区分5	0	(一般管理費等のみ対象額)					
管理費区分9	0	(間接費非対象額)					
管理費区分T	6,429,545	(全処分費等のうち3%または3000万円を超える額)					
対象額 支 給 品（＋）		0					
無償貸付機械評価額（＋）		0					
共通仮設費対象額							
単独（追加工事）		48,051,814	現工事	0	合算工事	0	
全処分費等を除く共通仮設費対象額		46,417,374		0		0	
共通仮設費（率分）							
率（補正前）		10.47 %		0 %			
施工地域等補正		0 %	ICT施工補正	1			
率（補正後）		10.68 % (10.47% × 週休1.02)					
計上額		5,131,000		0		0	
比較結果							
当該追加工事		A					
	0	0			調整工事計上額	0	

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	46,417,374	直接工事費	54,481,359		
非対象額計（－）	8,063,985				
管理費区分1	0	(橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費)			
管理費区分2, 7	0	(工場原価)			
管理費区分5	0	(一般管理費等のみ対象額)			
管理費区分9	0	(間接費非対象額)			
管理費区分T	8,063,985	(直接工事費に含まれる処分費等)			
対象額 支給品（＋）	0				
無償貸付機械評価額（＋）	0				
現場環境改善費対象額（P i）					
単独（追加工事）	46,417,374	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率（補正前）	1.15 %		0 %		0 %
施工地域等補正	市街地以外				
率（補正後）	1.15 %				
計上額	533,000		0		0
比較結果					
当該追加工事	A			調整工事計上額	0
	0				

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	329,946				
運搬費	329,946	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	0
営繕費	0	現場環境改善費	0		
共通仮設費計					5,993,946

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	143,681,687	単独（追加工事）直接工事費	122,262,591	単独（追加工事）共通仮設費	21,419,096
非対象額計（－）	9,717,046				
管理費区分2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	2,506,242	（間接費非対象額）			
管理費区分T	7,210,804	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）			
対象額 支給品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	133,964,641	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	130,208,751		0		0
現場管理費対象純工事費（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	29.31 %		0 %		0 %
施工地域等補正	0 %				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	30.19 %（29.31% × 週休1.03）		0 %		
計上額	40,443,000		0		0
			7,787,076（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）		
比較結果 当該追加工事	A				
	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	84,133,382	単独（追加工事）直接工事費	67,781,232	単独（追加工事）共通仮設費	16,352,150
非対象額計（－）	3,287,502				
管理費区分2,7	0	（工場原価）			
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	2,506,242	（間接費非対象額）			
管理費区分T	781,260	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）			
対象額 支給品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	80,845,880	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	78,724,431		0		0
現場管理費対象純工事費（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	30.08%		0%		0%
施工地域等補正	0%				
施工時期補正	0%	熱中症補正	0%	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0%				
砂防・地すべり補正	0%		0%		
率（補正後）	30.98%（30.08% × 週休1.03）		0%		
計上額	25,046,000		0		0
					（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）
比較結果 当該追加工事	A				
	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	60,475,305	単独（追加工事）直接工事費	54,481,359	単独（追加工事）共通仮設費	5,993,946
非対象額計（－）	6,429,545				
管理費区分2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	6,429,545	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）			
対象額 支給品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	54,045,760	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	52,411,320		0		0
現場管理費対象純工事費（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	30.7 %		0 %		0 %
施工地域等補正	0 %				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	31.62 %（30.7 % × 週休1.03）		0 %		
計上額	17,089,000		0		0
					（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）
比較結果 当該追加工事	A				
	0			調整工事計上額	0

一般管理費等（当初）

事務所名	北首都国道事務所 工務課			工事番号	第 0 回変更
発注年月	令和07年12月	契約区分	単年度（繰越を含む）の分任官	主工種	道路改良工事

工事原価	184,124,687				
純工事費	143,681,687	現場管理費	40,443,000	工期延長等に伴う現場維持費	0
非対象額計（－）	9,717,046				
管理費区分9	2,506,242	（支給品を除く間接費非対象額）			
管理費区分T	7,210,804	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）			
一般管理費等対象工事原価					
単独（追加工事）	174,407,641	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く					
一般管理費等対象工事原価	170,651,751	現工事	0	合算工事	0
	（調整工事入力で使用）				
前払金支出割合による補正係数	1	現工事			
財団法人等による補正係数	1				
契約保証に係る一般管理費対象工事原価	174,407,641				
契約保証に係る補正值	0.04 %				
一般管理費率					
単独（追加工事）	15.89 %	現工事	0 %	合算工事	0 %
一般管理費	27,776,313				
業務委託料等	0				
調査基準価格	215,061,000				
調査基準価格の100/110	195,510,000	（ 91.14 %）			

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名 R 7 圏央道環境整備他その5工事

国土交通省 関東地方整備局
北首都国道事務所 工務課

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
道路改良 (花島地区)		式		1		
舗装工		式		1		
舗装準備工		式		1		
不陸修正	補足材無し	m2		1, 010		
アスファルト舗装工		式		1		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2		1, 010		
擁壁工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂 標準	式		1		施工数量 240m3
埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	式		1		施工数量 160m3
基面修正		式		1		施工数量 62m2

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
プレキャスト擁壁工		式		1		
プレキャスト擁壁	幅1.7m H=1.7m 再利用	m		33		
カルバート工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂 標準	式		1		施工数量 10m3
埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	式		1		施工数量 10m3
基面整正		式		1		施工数量 6m2
プレキャストカルバート工		式		1		
プレキャストボックス	内幅 0.9m 内高 0.7m 再利用	m		5		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
床掘り (1)	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	式		1		施工数量 400m3
床掘り (2)	土砂 標準	式		1		施工数量 180m3
埋戻し (1)	土砂 最大埋戻幅1m未満	式		1		施工数量 260m3
埋戻し (2)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	式		1		施工数量 140m3
基面整正		式		1		施工数量 290m2
土砂等運搬 (現場～大輪SY)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式		1		施工数量 70m3
整地	残土受入れ地での処理	式		1		施工数量 70m3
側溝工		式		1		
プレキャストU型側溝 (1)	PU1-300×300×2000 コンクリート蓋 再利用	m		41		
プレキャストU型側溝 (2)	PU1-300×300×2000 再利用	m		155		
プレキャストU型側溝 (3)	PU1-300×300×2000	m		24		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
プラスチックU型側溝 (4)	PU2-300×300×2000 再利用	m		48		
プラスチックU型側溝 (5)	PU2-300×500×2000 再利用	m		39		
プラスチックU型側溝 (6)	KUR-300×300×2000 グレーチング 蓋 車 道横断用 再利用	m		12		
プラスチックU型側溝 (7)	KUR-300×300×2000 コンクリート蓋 再利 用	m		95		
プラスチックU型側溝 (8)	PU1-450×450×600 再利用	m		52		
自由勾配側溝	800×1600×2000 コンクリート蓋 グレーチング 蓋 再利用	m		29		
管渠工		式		1		
暗渠排水管 (1)	据付 直管 VUφ75	m		1		
暗渠排水管 (2)	据付 直管 VUφ100	m		8		
集水桝・マンホール工		式		1		
現場打ち集水桝	500×500×700 グレーチング 蓋 現場打材 18-8-25(20)高炉(W/C指定なし) 法 面作業補正無	箇所		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
プラスチック集水桝 (1)	500×500×500 グレーチング 蓋 再利用	箇所		3		
プラスチック集水桝 (2)	600×600×750 グレーチング 蓋 再利用	箇所		4		
防護柵工		式		1		
防止柵工		式		1		
立入防止柵 (1)	H=1.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO 仕様 再利用	m		162		
立入防止柵 (2)	H=1.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO 仕様	m		178		
立入防止柵 (3)	H=1.5m 支柱間隔2m 基礎ブロック NEXCO 仕様 再利用	m		257		
立入防止柵 (4)	H=1.0m 支柱間隔2m 基礎ブロック メッシュア ェンス 再利用	m		39		
防草対策工		式		1		
防草対策工		式		1		
防草シート	改質アスファルト系 W=2.0m	m ²		461		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
構造物撤去工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り (1)	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	式		1		施工数量 20m3
床掘り (2)	土砂 標準	式		1		施工数量 200m3
床掘り (3)	土砂 小規模	式		1		施工数量 30m3
埋戻し (1)	土砂 最大埋戻幅1m未満	式		1		施工数量 20m3
埋戻し (2)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	式		1		施工数量 320m3
構造物取壊し工		式		1		
コンクリート構造物取壊し (1)	無筋構造物 機械施工	m3		0.7		
コンクリート構造物取壊し (2)	鉄筋構造物 機械施工	m3		18		
排水構造物撤去工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
暗渠排水管撤去 (1)	撤去 高密度ポリエチレン管 φ 400	m		19		
暗渠排水管撤去 (2)	撤去 高密度ポリエチレン管 φ 500	m		24		
暗渠排水管撤去 (3)	撤去 高密度ポリエチレン管 φ 600	m		5		
暗渠排水管撤去 (4)	撤去 高密度ポリエチレン管 φ 900	m		51		
暗渠排水管撤去 (5)	撤去 VP φ 150	m		19		
暗渠排水管撤去 (6)	撤去 VP φ 200	m		7		
コルゲートパイプ撤去	撤去 φ 1200	m		25		
市道嵩上げ撤去工		式		1		
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m ²		400		
掘削	M-30	m ³		70		
土砂等運搬 (現場～大輪SY)	M-30	m ³		70		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
整地	残土受入れ地での処理	m3		70		
運搬処理工		式		1		
殻運搬 (1)	コンクリート殻(無筋)	m3		0.7		
殻運搬 (2)	コンクリート殻(鉄筋)	m3		18		
殻運搬 (3)	アスファルト殻(掘削材)	m3		20		
殻処分 (1)	コンクリート殻(無筋)	m3		0.7		
殻処分 (2)	コンクリート殻(鉄筋)	m3		18		
殻処分 (3)	アスファルト殻(掘削材)	m3		20		
礫分別工		式		1		
礫分別工		式		1		
礫分別		m3		3,100		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
積込(ルズ)	C-40、ふるい分け土	m3		3,100		
土砂等運搬 (1) (現場～大輪SY)	C-40	m3		1,030		
土砂等運搬 (2) (場内運搬)	ふるい分け土	m3		2,070		
整地 (1)	残土受入れ地での処理 C-40	m3		1,000		
整地 (2)	敷均し(ルズ) ふるい分け土	m3		2,000		
借地復旧工		式		1		
借地復旧工 (応急処理) (1)	田	式		1		
借地復旧 (応急処理)	労務合計 397人等	式		1		
借地復旧工 (応急処理) (2)	畑	式		1		
借地復旧 (応急処理)	労務合計 302人等	式		1		
借地復旧工 (応急処理) (3)	その他	式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
借地復旧 (応急処理)	労務合計 14人等	式		1		
仮設工		式		1		
工事用道路工		式		1		
敷鉄板	22×1,524×6,096 (mm) 撤去	m2		1,421		
土のう	大型土のう撤去	袋		186		
積込 (ルーズ)	大型土のう中詰め材	m3		150		
土砂等運搬 (現場～大輪SY)	大型土のう中詰め材	m3		150		
整地	残土受入れ地での処理	m3		150		
仮橋・仮栈橋工		式		1		
橋脚	H300×300×10×15 撤去	t		42		
仮橋上部	撤去	t		17.7		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
覆工板設置・撤去[仮橋・仮栈橋]	1000×2000×208 撤去	m2		80		
仮設高欄	ガードレール型 撤去	m		23		
H鋼杭	H150×150×7×10 撤去	本		16		
横矢板	木材 横矢板厚さ 50mm 撤去	m2		27		
土のう	大型土のう 撤去	袋		73		
積込(ルーズ)	大型土のう中詰め材	m3		60		
土砂等運搬 (現場～大輪SY)	M-30、大型土のう中詰め材	m3		130		
整地	残土受入れ地での処理	m3		130		
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m2		110		
掘削	M-30	m3		70		
殻運搬	アスファルト殻(掘削材)	m3		5		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
木材運搬	横矢板	m3		1		
殻処分	アスファルト殻(掘削材)	m3		5		
木材処分	横矢板	m3		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	式		1		173人日
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
重建設機械分解組立輸送費	クローラークレーン系 35t吊超80t吊以下(クラム平積0.6m3超2m3下)	式		1		1回
仮設材運搬費	復路 敷鉄板	式		1		245.4t

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
事業損失防止施設費		式		1		
家屋調査費	事後調査 11棟 2箇所	式		1		
現場環境改善費 (率計上)		式		1		
共通仮設費 (率計上)		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事【高須賀地区】 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
道路改良 (高須賀地区)		式		1		
舗装工		式		1		
舗装準備工		式		1		
不陸修正	補足材無し	m2		116		
アスファルト舗装工		式		1		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2		116		
カルバート工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂 標準	式		1		施工数量 70m3
埋戻し (1)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	式		1		施工数量 4m3
埋戻し (2)	土砂 最大埋戻幅4m以上	式		1		施工数量 40m3

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事【高須賀地区】					(当 初)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
基面整正		式		1		施工数量 18m2
土砂等運搬 (現場～大輪SY)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式		1		施工数量 10m3
整地	残土受入れ地での処理	式		1		施工数量 10m3
プレキャストカルバート工		式		1		
プレキャストボックス (1)	内幅 0.3m 内高 0.3m	m		2		
プレキャストボックス (2)	内幅 1.2m 内高 0.9m	m		9		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り (1)	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	式		1		施工数量 100m3
床掘り (2)	土砂 標準	式		1		施工数量 520m3
埋戻し (1)	土砂 最大埋戻幅1m未満	式		1		施工数量 70m3

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事【高須賀地区】					(当 初)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
埋戻し (2)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	式		1		施工数量 300m3
埋戻し (3)	土砂 最大埋戻幅4m以上	式		1		施工数量 40m3
基面整正		式		1		施工数量 230m2
土砂等運搬 (現場～大輪SY)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式		1		施工数量 160m3
整地	残土受入れ地での処理	式		1		施工数量 160m3
側溝工		式		1		
プレキャストU型側溝 (1)	300×300×2000	m		87		
プレキャストU型側溝 (2)	300×300×2000	m		68		
プレキャストU型側溝 (3)	600×900×2000	m		18		
プレキャストU型側溝 (4)	800×900×2000	m		46		
プレキャストU型側溝 (5)	1200×900×2000	m		40		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その 5 工事【高須賀地区】		(当 初)			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
プレキャストU型側溝 (6)	800×900×2000 車道用	m		12		
管渠工		式		1		
暗渠排水管	据付 φ1000 再利用	m		12		
集水桝・マンホール工		式		1		
現場打ち集水桝 (1)	600×600×600 グレーチング蓋 現場打材 18-8-25(20)高炉(W/C指定なし) 法 面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (2)	1000×1000×1100 縞鋼板蓋 現場打 材 18-8-25(20)高炉(W/C60%以下) 法 面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (3)	1000×1000×1200 縞鋼板蓋 現場打 材 18-8-25(20)高炉(W/C60%以下) 法 面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (4)	1400×1400×1100 縞鋼板蓋 現場打 材 18-8-25(20)高炉(W/C60%以下) 法 面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (5)	1400×1400×1100 縞鋼板蓋 現場打 材 18-8-25(20)高炉(W/C60%以下) 法 面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (6)	1400×1800×1100 縞鋼板蓋 現場打 材 18-8-25(20)高炉(W/C60%以下) 法 面作業補正無	箇所		1		
防護柵工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏中央道環境整備他その5 工事【高須賀地区】 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
防止柵工		式		1		
立入防止柵 (1)	H=1.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO 仕様	m		278		
立入防止柵 (2)	H=2.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO 仕様	m		30		
防草対策工		式		1		
防草対策工		式		1		
防草シート	改質アスファルト系 W=2.0m	m2		488		
構造物撤去工		式		1		
切回し道路撤去工		式		1		
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m2		510		
運搬処理工		式		1		
殻運搬	アスファルト殻(掘削材)	m3		29		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏央道環境整備他その5 工事【高須賀地区】 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
殻処分	アスファルト殻(掘削材)	m3		29		
礫分別工		式		1		
礫分別工		式		1		
礫分別		m3		1,400		
積込(ルズ)	C-40、ふるい分け土	m3		1,400		
土砂等運搬 (1) (現場～大輪SY)	C-40	m3		490		
土砂等運搬 (2) (場内運搬)	ふるい分け土	m3		990		
整地 (1)	残土受入れ地での処理 C-40	m3		490		
整地 (2)	敷均し(ルズ) ふるい分け土	m3		990		
借地復旧工		式		1		
借地復旧工 (応急処理) (1)	田	式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏中央道環境整備他その5 工事【高須賀地区】		(当 初)			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
借地復旧 (応急処理)	労務合計 339人等	式		1		
借地復旧工 (応急処理) (3)	その他	式		1		
借地復旧 (応急処理)	労務合計 5人等	式		1		
仮設工		式		1		
工事用道路工		式		1		
敷鉄板	22×1,524×6,096(mm) 撤去	m2		250		
土のう	大型土のう撤去	袋		62		
積込(ルーズ)	大型土のう中詰め材	m3		50		
土砂等運搬 (現場～大輪SY)	大型土のう中詰め材	m3		50		
整地	残土受入れ地での処理	m3		50		
作業ヤード撤去工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 圏中央道環境整備他その 5 工事【高須賀地区】 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
表層地盤改良シート撤去		m2		3,355		
廃棄物運搬処分	がれき類	t		110		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	式		1		140人日
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
仮設材運搬費	復路 敷鉄板	式		1		43.3t
現場環境改善費 (率計上)		式		1		
共通仮設費 (率計上)		式		1		

R 7 圏央道環境整備他その5 工事

(当 初) 請負工事費計算書

(1)直接工事費 -----	122,262,591		
(2)共通仮設費 -----	22,346,096		
(3)純工事費 -----	144,608,687		
(1)+(2)			
(4)現場管理費 -----	42,135,000		
(5)工期延長等に伴う現場維持等の費用 -----	0	(16)工場製作純工事費 -----	0
		(17)工場管理費 -----	0
(6)工事原価 -----	186,743,687	(18)工場製作原価 -----	0
(3)+(4)+(5)+(18)		(16)+(17)	
(7')一般管理費等(計上額) -----	27,776,313	((7)一般管理費等(計算額) [])	27,783,137
(8')その他費目計 -----	0		
(9)業務委託料等 -----	0		
(10)工事価格 -----	214,520,000		
(6)+(7')+(8')+(9) (万円未満切り捨て)			
(11)消費税相当額 -----	21,452,000		
(12)請負工事価格 -----	235,972,000		
(10)+(11)			
(13)入札書比較価格 -----	214,520,000		
(請負工事費の100/110)			
(14)調査基準価格 -----	215,061,000		
(15)調査基準価格の100/110	195,510,000		
(万円未満切り捨て)			

R7圏央道環境整備他その5工事

特記仕様書

令和7年12月

国土交通省関東地方整備局
北首都国道事務所

第 1 章 総則

第 1 条 適用

1. この特記仕様書は、関東地方整備局 土木工事共通仕様書(令和 7 年度版) (以下「共通仕様書」という。)という特記仕様書で、本工事の施工に適用する。
2. この工事の施工にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。
3. この特記仕様書に添付されていない別紙様式等については以下 URL よりダウンロードするものとする。
URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000015.html>
4. 本工事における「条件明示」については、別紙ー 1 「明示項目および明示事項」に記載のとおりとする。

第 2 条 主任技術者等

本工事の主任技術者又は監理技術者は、次に掲げる基準を満たす者を専任で配置することとする。

- (1) 主任技術者は、1 級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。なお、「これと同等以上の資格を有する者」とは、次のとおりである。
 - ① 1 級建設機械施工技士の資格を有する者
 - ② 技術士（建設部門、農業部門（選択科目を「農業農村工学」とするものに限る。）、森林部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）又は総合技術監理部門（選択科目を「建設」、「農業－農業農村工学」又は「森林－森林土木」とするものに限る。））の資格を有する者
 - ③ これらと同等以上の資格を有するものと国土交通大臣が認定した者
 - ④ 本発注工事の工事種別に対応した登録基幹技能者講習修了証を有する者
- (2) 監理技術者は、1 級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。なお、「これと同等以上の資格を有する者」とは、次のとおりである。
 - ① 1 級建設機械施工技士の資格を有する者
 - ② 技術士（建設部門、農業部門（選択科目を「農業農村工学」とするものに限る。）、森林部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）又は総合技術監理部門（選択科目を「建設」、「農業－農業農村工学」又は「森林－森林土木」とするものに限る。））の資格を有する者
 - ③ これらと同等以上の資格を有するものと国土交通大臣が認定した者

第 3 条 主任技術者等の専任期間

1. 契約締結日の翌日から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要しない。
2. 契約締結日の翌日から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。
3. 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「完成通知書」等における日付）とする。

第 4 条 専任特例 2 号の場合の監理技術者の配置

1. 本工事において、建設業法第 26 条第 3 項第二号の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「専任特例 2 号の場合の監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（1）～（8）の要件を全て満たさなければならない。
 - (1) 建設業法第 26 条第 3 項第二号による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。
 - (2) 監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第 27 条の規定に基づく技術検定種目は、専任特例 2 号の場合の監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。
 - (3) 監理技術者補佐は、直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。
 - (4) 同一の専任特例 2 号の場合の監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に 2 件

までとする。なお、専任特例1号の場合の監理技術者又は主任技術者を活用した工事と兼務することは出来ない。

(ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。)

- (5) 専任特例2号の場合の監理技術者が兼務できる工事は茨城県内又は埼玉県内の工事でないなければならない。
 - (6) 専任特例2号の場合の監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。
 - (7) 専任特例2号の場合の監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
 - (8) 監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。
2. 現場の安全管理体制について、平成7年4月21日付基発第267号の2「元方事業者による建設現場安全管理指針」において、「統括安全衛生責任者の選任を要するときには、その事業場に専属の者とする。」とされていることから、施工体制に留意すること。
 3. 本工事の監理技術者が専任特例2号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事を予定している場合、以下の書類を提出すること。
 - (1) 監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者の合格証の写しなど）
 - (2) 監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類（監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる資料（いずれも写し可））
 - (3) 専任特例2号の場合の監理技術者が兼務する工事の箇所、内容を示す書類（CORINSの写し）
 4. 本工事の監理技術者が専任特例2号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事となった場合、第1項(5)～(8)について施工計画書へ記載し、提出すること。
 5. 本工事において、専任特例2号の場合の監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、コリンズ（CORINS）への登録・修正を適切に行うこと。

第5条 コリンズ(CORINS)への登録

1. 工事カルテの作成、登録については、土木工事共通仕様書「1-1-1-7 コリンズ(CORINS)への登録」によるものとする。
2. 受注者は、工事受注後又は施工中において当該工事に係る悪質で不誠実な行為(一括下請負等)が発覚し、指名停止の措置を受けた場合は、登録済みの工事カルテの取り下げを行うものとする。
3. 技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。(余裕期間を含まないことに留意するものとする。)

第6条 コリンズ(CORINS)への位置情報の入力

土木工事共通仕様書1-1-1-7 コリンズ(CORINS)への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、位置情報については以下のとおりとし、工事場所および座標(緯度、経度)を記載するものとする。なお、座標は、世界測地系(JGD2024)に準拠する。

起点：茨城県常総市花島町	緯度 36° 04' 27"	経度 139° 58' 10"
終点：茨城県常総市花島町	緯度 36° 04' 33"	経度 139° 58' 30"

第7条 コリンズ(CORINS)への工事概要の入力

土木工事共通仕様書1-1-1-7 コリンズ(CORINS)への登録に定める「登録のための確認のお願い」を受注時に作成するにあたり、工事概要については以下のとおりとする。

本工事は、国道468号首都圏中央連絡自動車道の茨城県常総市花島町地先 外1箇所において、圏央道建設のために工事用道路や工事ヤードとして借地した用地を返還するための現況復旧をおこなう工事である。

主な工種は、【花島地区】アスファルト舗装工：1,010m²、プレキャスト擁壁工：33m、プレキャストカルバート工：5m、排水構造物工：504m、防止柵工：636

m、防止柵工：461m、構造物撤去工：1式、礫分別：3,100m³、借地復旧工（田、畑、その他）：1式、仮設工：1式、運搬費：1式、事業損失防止施設費（家屋調査費）：1式、【高須賀地区】アスファルト舗装工：116m²、プレキャストカルバート工：11m、排水構造物工：271m、防止柵工：308m、防草対策工：488m²、構造物撤去工：1式、礫分別：1,400m³、借地復旧工（田、その他）：1式、仮設工：1式、運搬費：1式を予定している。

第8条 借地復旧

1. 本工事で復旧及び返地を行う工事用借地は以下のとおりとする。

地区	借地箇所	面積 (m ²)	復旧形態	返地時期	備考
花島地区	茨城県常総市 花島町下花島地先	5,691	田	R8年度末	復旧及び返地に関して土地所有者と個別に対応するものとする。
	茨城県常総市 花島町内尻地先	1,777	畑	R8年度末	
	茨城県常総市 花島町内尻前地先	1,157	畑	R8年度末	
	茨城県常総市 花島町内尻前地先	302	その他 (宅地)	R8年度末	
	茨城県常総市 花島町絵添地先	425	畑	R8年度末	
	茨城県常総市 花島町外輪堂地先	360	畑	R8年度末	
	茨城県常総市 花島町押脇地先	615	畑	R8年度末	
	茨城県常総市 花島町押脇地先	28	その他 (雑種他)	R8年度末	
高須賀地区	茨城県つくば市 高須賀後田地先	4,897	田	R8年度末	復旧及び返地に関する地元説明会をR7年9月に実施済み。
	茨城県つくば市 高須賀院内地先	110	その他 (雑種他)	R8年度末	

2. 土地状況確認図を元に復旧内容・施工時期等について監督職員と協議の上、土地所有者含め関係者（土地改良区等）と調整し、工事を実施するものとする。
3. 復旧に関する詳細な規格等については、監督職員と協議することとし、設計変更の対象とする。

第9条 施工体制台帳

工事成績優秀企業に認定され、認定有効期限内に、工事発注の契約を行った工事の監理技術者、主任技術者（工事成績優秀企業に認定された下請負を含む）は、工事成績優秀企業認定マークの使用や金色帯線（黄色もしくは橙色の帯線でも可）を名札上部に印刷することが出来るものとする。

監理（主任）技術者	
写真 2cm×3cm 程 度	氏名 ○○ ○○
	工事名 ○○改良工事
	工期 自○○年○○月○○日 至○○年○○月○○日
	会社 ◇◇建設株式会社
	印

注意 1) 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。
注意 2) 所属会社の写真とする。

第 10 条 低入札価格調査制度調査対象工事について

1. 契約担当官等が工事の中間において技術検査の必要を認めた場合は、速やかに監督職員の指示に従い、検査を受けなければならない。なお、検査は工事請負契約書及び共通仕様書に適用する条項に準じて行うものとする。
 2. 予算決算及び会計令第 85 条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、受注者は下記の調査に協力しなければならない。
 - (1) 受注者は、下請負者の協力を得て間接工事費等諸経費動向調査票（営繕工事においては共通費実態調査票）の作成を行い、工事完了後、速やかに発注者に提出するものとする。
 - (2) 受注者は、提出された間接工事費等諸経費動向調査票（営繕工事においては共通費実態調査票）の費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、受注者は下請負者についてもヒアリングに参加させるものとする。
 - (3) 工事コスト調査（調査結果でも可）に係る資料は、下記のとおりとし、関東地方整備局又は北首都国道事務所のホームページにより公表する。
 - (4) 低入札価格調査と工事コスト調査の結果に大きな乖離がある場合、又は、工事コスト調査資料の提出が無い場合には、工事成績評点を減点する場合がある。
- なお、低入札価格調査対象工事については、工事コスト調査終了後に、工事成績評点を通知する。

公表資料は下表のとおり。（別紙様式－0）

資料名	内 訳
低価格理由とその詳細	当工事が低価格で施工可能となる理由を示した資料
比較表－1	積算内訳書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－2	積算内訳書に対する明細書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－3	元請の手持ち資材の当初と実績の比較表
比較表－4	元請の資材購入先一覧の当初と実績の比較表
比較表－5	手持ち機械の当初と実績の比較表
比較表－6	労務者確保計画の当初と実績の比較表
比較表－7	工種別労務者配置計画の当初と実績の比較表
比較表－8	建設副産物の搬出の当初と実績の比較表
諸経費動向調査(工事費)	元請、下請の工事費内訳

第 11 条 低入札契約におけるモニターカメラの設置

本工事は、予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、工事の監督補助としてモニターカメラの設置を行う対象工事とする。
なお、モニターカメラの設置費用については、発注者の負担によるものとする。

第12条 不可視部分の出来形管理について

予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、不可視部分について、ビデオカメラを用いた出来形管理を行うこととし、撮影した映像については監督職員に提出するものとする。
なお、対象工種については監督職員の指示によるものとする。

第13条 不具合等発生時の措置

受注者は、工事施工中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、又は公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督職員に直ちに通知しなければならない。

第14条 工事書類の作成

1. 工事書類の作成にあたっては、別に定める「土木工事電子書類作成マニュアル（令和7年3月）」に基づき実施するものとする。
2. 工事書類の作成にあたっては、別に定める「土木工事電子書類スリム化ガイド（令和7年3月）」を参考に書類の電子化、受発注者間での作成書類の役割分担の明確化、書類の削減等に留意すること。
3. 「工事関係書類一覧表」（別紙様式-15）により、工事着手前に「作成書類の役割分担」、「作成書類の位置付け」に関して「協議」するものとする。
また、「協議」の内容を変更する場合は、改めて、受発注者で協議を行うものとする。
4. 電子により提出、提示した書類については、検査時その他の場合においても紙での提示、提出は行わないものとする。

第15条 設計図書の照査

発注者は、設計図書の照査の範囲を超える資料の作成については、監督職員の指示とし、その作成費用は、設計変更の対象とする。なお、設計変更の対象については、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和7年3月」によるものとする。

第16条 情報共有システムの活用

1. 本工事は、監督職員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。なお、活用にあたっては「土木工事・業務の情報共有システム活用ガイドライン」（令和7年3月版）に基づき実施すること。
2. 受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、使用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。
・工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件（Rev5.7）
令和7年3月版 国土交通省（国土技術政策総合研究所）
3. 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数、ディスク容量等の仕様やワークフロー機能の対象者等については、監督職員の確認を得た上で決定すること。
4. 受注者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。
 - ①情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える旨
 - ②サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに受注者に連絡を行い適正な処置を行う旨
 - ③②の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督職員若しくは受注者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者はサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができる旨
5. 受注者は、監督職員等から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第17条 設計審査会の設置

本工事は、発注者と受注者が一堂に会して、現場着手前（準備期間内）に工事工程クリティカルパスの共有及び工事工程の照合（クロスチェック）を実施し、併せて協議資料作成等の受発注者間の役割分担を明確にする場、また、設計変更手続きの透明性と公正性の向上及び迅速化のため、設計変更の妥当性の審議及び設計変更等に伴う工事中止等の判断等を行う場として開催する「設計審査会」（以下、「審査会」という。）の設置対象工事である。「審査会」の運用にあたっては、「設計審査会設置運用方針」（<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>）によるものとする。

第18条 工事環境の改善

本工事の実施にあたっては、工事環境の改善に取り組むウィークリースタンスを考慮するものとする。

ウィークリースタンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html> に掲載している工事環境改善実施要領に基づき、監督職員と確認・調整した内容について取り組むものとする。

第19条 ワンデーレスポンス

1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。

・「ワンデーレスポンス」とは

受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等を行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に通知することである。

2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。

3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。

4. ワンデーレスポンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html> に掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き（令和5年12月）に基づき、取り組むものとする。

5. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

第20条 契約内容の変更手続きについて

本工事における契約内容の変更は、以下によるものとする。

1. 本工事における設計変更や契約変更は書面に基づき行うことを徹底し、指示書・協議書があるもののみを契約変更の対象とする。

2. 受注者は、工事期間中及び工事完成後において、監督職員から契約図書の規定に違反する等の不適切な指示を受けたと思料されるときは、当該監督職員を経由せずに、事務所長へ直接又は契約担当課長経由で書面により、その旨を報告することができる。

第21条 設計変更等

設計変更等については、契約書第18条から第25条及び共通仕様書共通編1-1-1-16から1-1-1-18に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和7年3月」によることとする。

第22条 スライド条項

工事請負契約書第26条（スライド条項）については、物価水準の変動により請負代金が不相当となったと認められた時に、相手方に請負代金の変更を請求することができる条項となっている。

単品スライドについては、鋼材類・燃料油の他、コンクリート類、購入土などの主要工事材料も対象となるので、物価水準の変動により請負代金が不相当となった場合には、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

第23条 再生資材の活用

受注者は、下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

資材名	規格	備考
再生クラッシャーラン	RC-40	基礎材
再生加熱アスファルト混合物	As量5.5% 再生密粒(20)	表層

なお、使用に際し、「舗装再生便覧」等を遵守するものとする。

第24条 公共建設工事における分別解体等

1. 本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号 最終改正令和4年6月17日法律68号）。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「8 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし工事発注後に明らかになった事情により予定した条件により難しい場合は監督職員と協議するものとする。

(1) 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 ■無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 ■無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
⑥その他	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 ■無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	

(2) 再資源化等をする施設の名称及び所在地

地区	特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	所在地	受入時間	備考
花島地区	コンクリート殻 (無筋)	(株)日の丸商事 中間処理場	茨城県つくば市 和台原 1494-1 外 3 筆	8:00~17:00	
	コンクリート殻 (鉄筋)				
	アスファルト殻 (掘削材)	木名瀬商事(株) リサイクル工場	千葉県野田市 目吹砂田 2341	8:00~17:00	
	木材	(株)ヤマゲン つくば工場	茨城県つくば市大字 片田字浦割東 499	8:00~17:00	

高須賀地区	アスファルト殻	筑波グリーン アスコン(株) 筑波リサイクル工場	茨城県つくば市 みどりの南17-1	8:00~17:00	
-------	---------	--------------------------------	----------------------	------------	--

上記(2)については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお受注者の提示する施設と異なる場合でも設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、監督職員と協議の上、契約変更の対象とすることができる。

2. 受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(平成14年5月)」に定めた様式1〔再生資源利用計画書(実施書)〕及び様式2〔再生資源利用促進計画書(実施書)〕を兼ねるものとする。
 - ・再資源化等が完了した年月日
 - ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
 - ・再資源化等に要した費用
3. 工事発注後に明らかになった事情により予定していた条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第25条 建設リサイクル法第11条通知の徹底

受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号)第11条に基づく、都道府県知事に対する通知を行った旨の書面を監督職員より受領した後に、工事着手(建設リサイクル法第10条第1項に規定する工事着手をいう。)するものとする。なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するものとする。

第26条 コンクリート副産物から再生された資源について

1. コンクリート副産物から再生された資材を利用する場合には、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別品質基準」によるものとする。
2. 受注者は、コンクリート副産物から再生された資材の利用を希望する場合は、工事着手時にその適用の有無を監督職員と協議するものとする。
3. 受注者は、工場が発行する再生骨材コンクリートの配合計画書及び納入書を整備および管理し、監督職員または検査職員からの請求があった場合は速やかに提示しなければならない。
4. 受注者は、再生骨材コンクリートの品質を確かめるための検査をJIS A 5022(再生骨材Mを用いたコンクリート)、JIS A 5023(再生骨材Lを用いたコンクリート)により実施しなければならない。また、再生骨材Mを用いたプレキャストコンクリート製品の検査については、JISA 5365(プレキャストコンクリート製品—検査方法通則)により実施しなければならない。なお、生産者等に検査のため試験を代行させる場合は受注者がその試験に臨場しなければならない。
5. 再生骨材コンクリートの配合については、「土木工事共通仕様書第1編3-3-3 配合」に従うものとする。

第27条 工事完成図

本工事は、道路工事完成図等作成要領(第2版)(国土技術政策総合研究所資料、平成20年12月)に基づく電子納品の対象工事である。

http://www.nilim-cdrw.jp/dl_std.html

第28条 施工管理

1. 本工事の施工管理は、関東地方整備局土木工事施工管理基準及び規格値(令和7年度版)によるものとする。なお、この管理基準により難しい場合及び基準、規格値が定められていない工種については、監督職員と協議の上、施工管理を行うものとする。
2. 本工事の写真管理は、関東地方整備局土木工事写真管理基準(令和7年度版)によるものとする。なお、「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
3. 本工事の施工管理における適用工種毎の基準類は、ICT活用工事実施要領(令和7年3月改定)の関連要領等一覧(URL「https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html」)によるものとする。

第29条 デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

工事では、以下の1. から4. の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和7年度版）（以下、写真管理基準）「2-2 撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例を以下に示す。

【使用機器の事例】

デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア、（一社）施工管理ソフトウェア産業協会、<<https://www.jcomsia.org/kokuban>>。

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない

2. デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、同条1. の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、写真管理基準「2-2 撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、写真管理基準及びデジタル写真管理情報基準（以下、デジタル写真管理情報基準）に準ずるが、同条2. に示す小黑板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-5 写真編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6. 写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

4. 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条2. に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黑板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は改ざん検知機能（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

また、下記のチェックツールを使用して信憑性確認を行い、結果を出力したのもでもよい。

【チェックツールの事例】

信憑性チェックツール（一社）施工管理ソフトウェア産業協会
<<https://www.jcomsia.org/kokuban>>。

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を実施しない工事写真がある場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得ること。

第30条 ICT活用工事（擁壁工）について

1. ICT活用工事

本工事は、国土交通省が提唱するi-Constructionに基づき、ICT施工技術の全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照査、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用するICT活用工事の対象工事である。

2. 定義

(1) i-Constructionとは、ICT施工技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適

化を図る取り組みである。本工事では、施工者の希望により、その実現に向けてICT施工技術を活用した工事（ICT活用工事）を実施するものとする。

(2) ICT活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ICT施工技術を全面的に活用する工事である。また、以下の①②④⑤の段階でICT施工技術を活用することをICT活用工事という。

対象は、擁壁工等を含む一般土木工事とする。

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元設計データ作成
- ③ 該当なし
- ④ 3次元出来形管理等の施工管理
- ⑤ 3次元データの納品

3. 受注者は、ICT施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下4～8によりICT施工技術の活用を行うことができる。

4. 原則、本工事においては上記①②④⑤の段階でICT施工技術を活用することとする。擁壁工等についての施工範囲の全てで適用するが、具体的な工事内容及び対象範囲・数量を明示し、監督職員と協議するものとする。なお、実施内容等については施工計画書に記載するものとする。

5. ICT施工技術を用い、以下の施工を実施する。

① 3次元起工測量

受注者は、3次元測量データを取得するため、以下1)～7)から選択（複数以上可）して測量を行うものとする。

但し、擁壁工等の関連施工としてICT土工等が行われる場合、監督職員との協議の上、その起工測量データを活用することができるものとし、ICT活用工事とする。

- 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
- 2) 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 5) TS等光波方式を用いた起工測量
- 6) TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
- 7) RTK-GNSSを用いた起工測量

② 3次元設計データ作成

受注者は、5. ①で得られた測量データと、発注者が貸与する発注図データを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。

3次元設計データ作成はICT土工等と併せて行うが、ICT擁壁工の施工管理においては、3次元設計データ（TIN）形式での作成は必要としない。

なお、ICT擁壁工の3次元設計データとは、3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）（擁壁工編）で定義する擁壁工設計データのことを言う。

③ 該当なし

④ 3次元出来形管理等の施工管理

(1) 出来形管理

擁壁工の施工管理において、以下1)～7)の技術から選択（複数以上可）して、出来形管理を実施するものとする。

また、以下1)～4)の出来形管理を行う場合は、工事検査前の工事竣工段階の目的物について点群データを取得し、⑤によって納品するものとする。

- 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理
- 2) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- 3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- 4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- 5) TS等光波方式を用いた出来形管理
- 6) TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
- 7) RTK-GNSSを用いた出来形管理

なお、計測装置位置と計測対象箇所との離隔・位置関係により上記1)～7)のICT施工技術を用いた計測によっては精度確保が困難となる部分や計測が非効率となる場合、監督職員と協議の上、写真・画像データ等と併用するなど出来形管理を行っても良いものとする。

(2) 出来形管理基準および規格値

出来形管理基準および規格値については、現行の基準および規格値を用いる。厚さ管理は本要領の対象外とする。出来形の算出は、上記(1)で定める計測技術を用い以下1)の出来形管理要領によるものとする。

1) 3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)

(3) 出来形管理帳票

現行の出来形管理帳票、出来高整理資料を作成する。また、出来形の3次元計測結果が計測(管理)すべき断面上あるいは測線上にあることを示す適用工種の3次元設計データあるいは平面図を提出することとする。

⑤ 3次元データの納品

5. ①②④により作成した3次元データを工事完成図書として電子納品する。

6. 上記5. ①②④の施工を実施するために使用するICT機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。

発注者は、3次元設計データの作成に必要な詳細設計において作成したCADデータを受注者に貸与する。また、ICT施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。

7. 土木工事施工管理基準(案)に基づく出来形管理が行われていない箇所で、出来形測量により形状が計測出来る場合は、出来形数量は出来形測量に基づき算出した結果とする。

8. 本特記仕様書に疑義を生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第31条 ICT活用工事(作業土工(床掘工))について

1. ICT活用工事

本工事は、国土交通省が提唱するi-Constructionに基づき、ICT施工技術の全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照査、施工、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用するICT活用工事の対象工事である。

2. 定義

(1) i-Constructionとは、ICT施工技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みである。本工事では、受注者の希望により、その実現に向けてICT施工技術を活用した工事(ICT活用工事)を実施するものとする。

(2) ICT活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ICT施工技術を全面的に活用する工事である。また、本工事においては、次の①(選択)②③⑤の段階でICT施工技術を活用することをICT活用工事とする。

対象は、作業土工(床掘工)を含む工事とする。

- ① 起工測量(選択)
- ② 3次元設計データ作成
- ③ ICT建設機械による施工
- ④ 該当なし
- ⑤ 3次元データの納品

3. 受注者は、特記仕様書に指定された作業土工以外の工種に、ICT施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出(施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む)までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下4~6によりICT施工技術の活用を行うことができる。

4. ICT施工技術を用い、土工について以下の施工を実施する。

① 起工測量(選択)

受注者は、起工測量にあたって、従来手法による起工測量またはICT施工技術を用いた起工測量を選択できるものとし、作業土工以外の工種で取得した3次元起工測量データがある場合は、積極的に活用するものとする。

ICT施工技術を用いた起工測量としては、3次元測量データを取得するため、以下1)~7)から選択(複数選択可)して測量を行うことができるものとする。

- 1) 空中写真測量(無人航空機)を用いた起工測量
- 2) 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量

- 4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
 - 5) TS等光波方式を用いた起工測量
 - 6) TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
 - 7) RTK-GNSSを用いた起工測量
- ② 3次元設計データ作成
受注者は、4. ①で得られたデータと発注者が貸与する発注図データを用いて、ICT建設機械による施工を行うため、3次元設計データを作成する。
- ③ ICT建設機械による施工
4. ②で作成した3次元設計データを用いて、作業に応じて以下に示すICT建設機械を選択して施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。
なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和5年3月31日国土交通省告示第250号）付録1測量機器検定基準2-6の性能における検定基準を満たすこと。
- 1) 3次元MCまたは3次元MG建設機械※
※MCとは「マシンコントロール」、MGとは「マシンガイダンス」の略称である。
建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する3次元マシンコントロール技術または、建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分を表示し、建設機械の作業装置を誘導する3次元マシンガイダンス技術を用いて、河川・海岸・道路土工の掘削等を実施する。
但し、現場条件により、③ICT建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとするが、丁張設置等には積極的に3次元設計データ等を活用するものとする。
- ④ 3次元出来形管理等の施工管理
作業土工であるため、該当しない。
- ⑤ 3次元データの納品
4. ②により作成した3次元設計データを工事完成図書として電子納品する。
ただし、1-3①において、3次元起工測量を実施した場合は、取得した3次元測量データも3次元データ納品の対象とする。
5. 上記4. ①（選択）②③の施工を実施するために使用するICT機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。
発注者は、3次元設計データの作成に必要な詳細設計において作成したCADデータを受注者に貸与する。また、ICT施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。
6. 本特記仕様書に疑義を生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第32条 ICT活用工事における適用（用語の定義）について

1. 図面

図面とは、入札に際して発注者が示した設計図、発注者から変更または追加された設計図、工事完成図、3次元モデルを復元可能なデータ（以下「3次元データ」という。）等という。

なお、設計図書に基づき監督職員が受注者に指示した図面及び受注者が提出し、監督職員が書面により承諾した図面を含むものとする。

第33条 ICT活用工事（擁壁工）の費用について

1. 受注者が、契約後施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに、作業土工（擁壁工）及び作業土工（擁壁工）以外の工種に関するICT活用の具体的な工事内容・数量及び対象範囲について明示し、監督職員へ協議を行い、協議が整った場合、ICT施工技術の活用を実施する項目については、各段階を設計変更の対象とし、以下の積算要領より費用を計上することとする。

・ICT活用工事（作業土工（擁壁工））積算要領

ただし、監督職員の指示に基づき、3次元起工測量を実施するとともに3次元設計データの作成を行った場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積書を提出するものとする。

2. 施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第34条 ICT活用工事（床掘工）の費用について

1. 受注者が、契約後施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに、作業土工（床掘工）及び作業土工（床掘工）以外の工種に関するICT活用の具体的な工事内容・数量及び対象範囲について明示し、監督職員へ協議を行い、協議が整った場合、ICT施工技術の活用を実施する項目については、各段階を設計変更の対象とし、以下の積算要領より費用を計上することとする。

・ICT活用工事（作業土工（床掘工））積算要領

ただし、監督職員の指示に基づき、3次元起工測量を実施するとともに3次元設計データの作成を行った場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積書を提出するものとする。

2. 施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第35条 ICT活用工事の活用効果等に関する調査

ICT活用工事を行った施工者は、活用目的等の把握のための「ICT活用工事の活用効果等に関する調査」の対象であり、別途監督職員より指示される調査票に基づき実施するものとする。

施工者は、工事完了後直ちに調査票を監督職員へ提出・確認後、発注者が指示するメールアドレスまで調査票を電子メールにより提出すること。また調査票の聞き取り調査等を実施する場合はこれに協力するものとする。

調査費用については当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第36条 現場環境改善（快適トイレの設置）

1. 内容

受注者は、現場に以下の（1）～（11）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

（12）～（17）については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- （1）洋式（洋風）便器
- （2）水洗及び簡易水洗機能
（し尿処理装置付き含む）
- （3）臭い逆流防止機能
- （4）容易に開かない施錠機能
- （5）照明設備
- （6）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg以上とする）

【付属品として備えるもの】

- （7）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- （8）周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- （9）サンタリーボックス
（女性用トイレに必ず設置）
- （10）鏡と手洗器
- （11）便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- （12）室内寸法900×900mm以上（面積ではない）
- （13）擬音装置（機能を含む）
- （14）着替え台
- （15）臭気対策機能の多重化
- （16）室内温度の調整が可能な設備
- （17）小物置き場
（トイレトーパー予備置き場等）

2. 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記 1 の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基/施工箇所までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、2 基/施工箇所より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

3. 快適トイレの「質の向上」に要する費用

快適トイレの「質の向上」として、積算上限額を超える費用について現場環境改善費(率)を充当することができる。現場環境改善費(率)の充当を希望する場合は、上記 2. の協議時に見積書を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとする。

なお、現場環境改善費(率)を充当することにより、特記仕様書に明示されたその他の費目の実施が困難な場合には、実施費目数の変更を合わせて協議することとする。

4. その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

第 37 条 BIM/CIM 適用工事について

本工事は、BIM/CIM 適用工事(受注者希望型)である。受注者が希望する場合、3次元モデルの活用を提案することができる。詳細については、受発注者で協議し実施する。

(参考) 3次元モデル作成の目安

詳細度	200～300 程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル～主構造の計上がわかるモデル
属性情報	3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する(BIM/CIM 取扱要領「附属資料 2 オブジェクト分類」を参照)。

1. BIM/CIM 実施計画書の作成

受発注者において、BIM/CIM の実施内容や、納品方法等を協議し決定した結果を「BIM/CIM 実施計画書」として整理し、提出する。内容に変更が生じた場合は、受発注者間で協議し、BIM/CIM 実施(変更)計画書を作成する。

また、作成した BIM/CIM 実施計画書(変更含む)に基づき、本工事を実施する。

- 1) 工事概要
- 2) 整理すべき課題
- 3) BIM/CIM の実施内容(3次元モデルの活用内容、期待する効果等)
- 4) 3次元モデルの作成仕様(作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された 3次元モデルの仕様等)
- 5) 3次元モデル作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類
- 6) 3次元モデル閲覧、データ共有ができるソフトウェアの種類、成果物の納品ファイル形式
- 7) 3次元モデルの作成・活用に要する費用

2. BIM/CIM 実施報告書の作成

BIM/CIM 実施計画書に基づき実施した内容について、BIM/CIM 実施報告書を作成する。以下の内容を BIM/CIM 実施計画書に追記して作成する。

- 8) 後段階への引継事項(データかつ用事の留意点、更なる検討が必要な内容、2次元図面との整合等)
- 9) 省人化の効果(前段階から引き継いだデータの活用により省人化した効果、3次元での検討により省人化した効果等)

3. 成果物の納品

以下の内容を納品する。様式については別添資料を参照すること。

- 1) BIM/CIM 実施計画書・見積書(変更含む)
- 2) BIM/CIM 実施報告書(3次元モデル作成引継書シート、3次元モデル照査時チェックシートを含む)

- 3) 作成した3次元モデル（オリジナルデータ、標準的なデータ形式（J-LandXML形式、IFC形式）、統合モデル、動画等）

4. その他

最新の情報はBIM/CIMポータルサイト

(<https://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcimindex.html>)で提供されているので、適宜参照すること。

第38条 DXデータセンターの使用

本工事はDXデータセンターを使用することで、VDIによる専用ソフトの利用及び受発注者間のデータ共有の円滑化を図る工事である。

3次元モデルを活用するにあたり、受注者が希望する場合、国土技術政策総合研究所が運用するDXデータセンターにインストールされている専用ソフトウェアを使用することができる。

DXデータセンター内の有償ソフトウェアを使用する場合は、受注者が有償ソフトウェアの使用契約手続きを行うものとする。

なお、DXデータセンターの詳細については、DXデータセンターの参考資料

(<https://dxportal.nilim.go.jp/exonym/reference>)及びポータルサイト

(<https://dxportal.nilim.go.jp/exonym>)を参照すること。

第39条 工事中の安全確保

1. 工事の施工にあたっては、関東地方整備局長が定める「重点的安全対策」について留意し、工事事故の防止を図らなければならない。

なお、令和7年度における重点的安全対策項目は以下の7項目である。

- I. 架空線等上空施設の損傷事故防止
- II. 建設機械等の稼働に関連した人身事故防止
- III. 資機材等の下敷きによる人身事故防止
- IV. 足場・法面等からの墜落事故防止
- V. 地下埋設物の損傷事故防止
- VI. 第三者の負傷・第三者車両等に対する損害
- VII. 事故防止

2. 受注者は、工事に従事する就業制限業務及び作業主任者を選任する業務における資格者のうち、資格取得後一定期間経過した資格者に対し、次に掲げる再教育の受講が推進されるよう努めるものとする。

- ①労働安全衛生法第19条の2に基づく足場組立等作業主任者等に対する能力向上教育
- ②労働安全衛生法第60条の2に基づく車両系建設機械運転従事者、移動式クレーン運転士、玉掛業務従事者等に対する危険有害業務従事者教育
- ③厚生労働省通達に基づくドラグ・ショベル運転業務従事者等に対する危険再認識教育

3. 工事の施工にあたっては、工事等の時期、工事等の方法の概要及び工事等を行う場合における道路交通に対する措置について「道路工事保安施設設置基準（案）（令和6年2月）」に基づき監督職員へ確認を行うものとする。

4. 工事中看板、工事情報看板及び工事説明看板の記載内容及び設置箇所については、監督職員の承諾を得るものとする。

5. 工事期間中に配置する交通誘導警備員は下表のとおり見込んでいるが、交通管理者等との協議条件など社会的要件、現地精査に基づき配置人員の変更が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

地区	作業区分	交通誘導警備員	備考
花島地区	昼間作業	173人（うち有資格者0人）	
高須賀地区	昼間作業	140人（うち有資格者0人）	

6. 本工事の施工にあたり、地下埋設物に影響を与える箇所について埋設物の管理者等と協議し、必要と判断された場合は試掘の実施について監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、現場条件等により埋設物の防護が必要な場合には、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

7. 受注者は、起工測量等において UAV 等を使用する場合、安全面への配慮として下記 URL に基づいて UAV 等を使用すること。

URL <https://www.gsi.go.jp/KOUKYOU/sokuryosidou41042.html>

8. 光通信ケーブル等損傷事故防止対策

- (1) 光通信ケーブル等損傷事故の防止

受注者は、高速道路に埋設されている光通信ケーブル等管路の損傷事故を防止するために埋設物近接箇所の工事の施工にあたっては、東日本道路道路（株）、KDDI（株）「光通信ケーブル等損傷事故防止マニュアル「関東支社版」（令和元年12月）」（以下「マニュアル」という。）に基づき万全の措置を講じなければならない。

- (2) 光通信ケーブル等損傷事故防止監理者

- ①受注者は、高速道路に埋設されている光通信ケーブル等管路の損傷事故を防止するため、工事の計画、現場指導等の強化を実施する専任の光通信ケーブル等損傷事故防止監理者を定め、監督員に通知しなければならない。
- ②光通信ケーブル等損傷事故防止監理者は、「マニュアル」の内容を十分理解し、光通信ケーブル等管路の損傷事故防止に関して万全の措置を講じられるよう作業員に安全教育の徹底を図り、指導及び監督を行わなければならない。
- ③光通信ケーブル等損傷事故防止監理者は、現場代理人・主任技術者（監理技術者）及び専門技術者と兼ねることができるものとする。

第40条 熱中症対策に資する現場管理費の補正

1. 本工事は、夏季における猛暑日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して「熱中症対策に資する現場管理費の補正」を行う試行工事である。
2. 真夏日の考え方は下記のとおりである。

- (1) 真夏日の定義

日最高気温が30℃以上の日を指す。

ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合とする。

- (2) 試行にあたっての真夏日の計上の考え方

下記①～③のいずれかに該当する場合、真夏日として計上する。

- ①環境省が公表している暑さ指数（WBGT）が日最高25℃以上の場合。

施工現場から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）が25℃以上となる日を、真夏日とみなす。

- ②気象庁が公表している地上気象観測所の日最高気温が30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温が30℃以上の日を、真夏日とする。

- ③夜間工事については、作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの観測地点における作業時間帯の最高気温が30℃以上、又は暑さ指数（WBGT）が25℃以上の場合を真夏日とする。

なお、休工期においては、上記に該当した場合でも真夏日としない。

上記①～③によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

- (3) 工期

工事着手から工事完成日までの期間を指す。なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

- (4) 基準日

受発注者協議により、「基準日」を定めるものとする。「基準日」は工事着手日を基本とする。

当該「基準日」より工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を算出する。なお、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、現場休工期は含まないものとする。

- (5) 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

- ・真夏日率 = 基準日から工期末までの真夏日 ÷ 工期

- (6) 現場管理費の補正

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算する。なお、補正は変更契約において行うものとする。

- ・補正値（%） = 真夏日率 × 補正係数※

※真夏日補正係数：1.2

第41条 安全管理推進技術者等認定について

1. 概要

関東地方整備局（港湾・空港部・営繕部関係を除く）が発注した工事（以下、「直轄工事」という）において、無事故で完成させた技術者に対して、「安全管理推進技術者」（以下、「認定技術者」という）として認定する。

2. 認定条件

対象とする技術者は、以下の条件によって認定する。

- ・直轄工事において、無事故にて完成させた「安全管理担当者」として、施工期間中、全ての工事（準備工を除く）に従事した者。なお、「安全管理担当者」とは、施工体制上、受注者が配置する「統括安全衛生責任者」、「元方安全衛生管理者」、「ずい道等救護技術管理者」、「店社安全衛生管理者」、「工事現場責任者」として安全管理に従事した者で、現場代理人または、主任（監理）技術者が兼務した場合も認定するものとする。
- ・直轄工事にて、認定技術者として過去5回認定された者については、「優秀安全管理推進技術者」（以下、「優秀認定技術者」という）として認定する。

3. 認定技術者の認証

- ・認定技術者及び優秀認定技術者に認定された者については、「安全管理推進技術者認定ロゴマーク」（以下、「認定ロゴマーク」という）を「企業の名刺」、「ヘルメット貼付」等に使用（印刷、シール）することができる。
- ・紛失等による認定書の再発行は行わない。
- ・「認定ロゴマーク」については、当該地方整備局管内で行う直轄工事のみに使用でき、それに要する費用は、当該企業が負担するものとする。

4. 認定技術者の認証期間

認定技術者へ授与した認証については、その使用期間に制限を設けないものとする。

5. 不適切事項への措置による認証の取り扱い

認定技術者が関係する工事にて、粗雑工事等の発覚より、関東地方整備局から措置（指名停止、文書注意、口頭注意）を受けた場合であっても、過去の認証の取り消しは行わない。ただし、工事完成後、安全管理に関して不適切な事象が発覚した場合、または、不正による認定取得が確認された場合については、認定を取り消す。

第42条 交通誘導警備員の資格

交通誘導警備員については、資格者（警備業法第23条に規定する都・県公安委員会の行う1級又は2級検定に合格した者）又は、経験1年以上の者を配置すること。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第43条 事業損失防止施設

1. 工事施行箇所の近隣の建物等について工事施工の事後調査を行い、その結果を提出するものとする。

家屋調査件数は下記のとおりとし、契約変更の対象とする。

また、当初において、打合せ回数を着手時1回、中間時1回、完了時1回の計3回、現地踏査および下記の表を含んだ費用を見込んでいます。

なお、積算は「用地調査等業務費積算基準（令和7年3月26日改定）」に基づき、材料費等・旅費交通費・その他原価・一般管理費を含めた費用を見込んでいます。

地区	区分	規格	事後	単位
花島地区	木造建物A	70m ² 未満	1	棟
	木造建物A	70m ² 以上 130m ² 未満	2	棟
	木造建物A	130m ² 以上 200m ² 未満	1	棟
	木造建物C	70m ² 未満	3	棟
	非木造建物ハ	200m ² 未満	2	棟
	工作物	100m ² 未満	2	箇所

	非木造建物ハ (内部調査含まず)	200m2 未満	1	棟
	木造建物 A (内部調査含まず)	70m2 以上 130m2 未満	1	棟

2. 詳細については、監督職員の指示によるものとし、調査内容、報告については次のとおりとする。

①調査内容

柱、壁、屋根、基礎等の構造体及びタイル張面、建具等の傾斜や損傷状況と門、塀、コンクリート叩き、井戸等の工作物についても調査を行い、工事との因果関係が把握できるように資料を作成するものとする。

②報告書

調査区域の平面図、家屋調査一覧表（住所、所有者、構造等）家屋平面図等を取りまとめ、状況写真集とともに製本して2部提出するものとする。

第44条 工事用資機材の保管

1. 保管場所 施工工区内のNEXCO用地（圏央道高架下）を想定

2. 保管方法 雨風や直射日光から保護し、盗難防止対策を行うこと。

なお、保管場所から施工場所までの運搬費は、当初見込んでいないが、詳細については監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第45条 路上工事の縮減等

受注者は、路上工事による交通への影響の緩和を図るため、施工方法・規制時間帯・施工日数の短縮等の検討を行い、監督職員に提出するとともに工事完了時に実施結果を提出するものとし、路上工事の縮減等に努めるものとする。

第46条 特定調達品目の調達実績の調査

受注者は、本工事の資材、建設機械の使用にあたっては、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意しつつ、環境物品等の調達の推進に関する基本方針に定められた国土交通省の特定調達品目（以下、「特定調達品目」という）の使用を積極的に推進するものとする。設計図書に定めがあるものについて、特定調達品目への変更が可能である場合は、監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

受注者は、特定調達品目の調達実績の集計を行い、工事完了後に、電子データにより監督職員に提出するものとする。集計の方法については、監督職員より指示する。

第47条 建設機械の使用

受注者は、本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機第58号）に基づき、低騒音型建設機械の使用原則を図られた場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

第48条 工事現場管理

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2. さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また、積み込ませないこと。
3. 過積載車輛、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
4. 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行った場合、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
5. 建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
6. 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

第49条 特殊車両通行許可関係図書の確認及び提出

共通仕様書1-1-1-36交通安全管理第14項における道路法第47条の2に基づく

通行許可の確認は、下記について実施するものとする。また監督職員からの求めがあった場合には確認結果等を提示しなければならない。

- ①当該車両に関する特殊車両通行許可証
- ②現場到着地点及び現場出発時における荷姿（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可証と照合可能な写真を撮影しておくこと。）
- ③車両通行記録計（タコグラフ）（夜間走行条件の場合のみ）
 なお、当該車両の特殊車両通行許可証については、当該経路に関する部分の写しを、共通仕様書 1-1-1-39 官公庁等への手続等第 3 項に基づき、監督職員へ提示するものとする。

第 50 条 通行許可等

1. 受注者は、建設機械、資材の運搬にあたり、道路法第 47 条第 1 項、車両制限令第 3 条における一般的制限値を超える車両を通行させようとする場合は、運搬資機材毎に運搬計画（車種区分、車両番号等、車両諸元及び積載重量、資材の積載限度数量、通行経路、許可証等の有効期限等の確認方法と確認頻度）を作成し、施工計画書に記載しなければならない。
2. 受注者は、運搬計画どおりに運行していることを確認しなければならない。また、確認を行った資料については、整理保管するとともに、監督職員または検査職員の要求があった場合は速やかに提示しなければならない。

第 51 条 現場環境改善

1. 現場環境改善として実施する内容は、下記のとおりとするが、現場条件等により実施が困難になった場合には、監督職員と協議するものとする。
 - (1) 仮設備関係
 緑化・花壇の設置を実施するものとする。
 - (2) 営繕関係
 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む）及び現場休憩所の快適化を実施するものとする。
 - (3) 安全関係
 盗難防止対策（警報機等）を実施するものとする。
 - (4) 地域連携
 工事工程表の掲示を実施するものとする。
2. 現場環境改善については具体的な内容、実施時期について施工計画書に含め提出するものとする。
3. 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策については、工事契約後、監督職員と協議するものとし、現場環境改善費（率）の 50%を上限として設計変更の対象とする。

第 52 条 工期

1. 工期は、雨天、休日等 123 日を見込み、工事の始期から 344 日間とする。
 （但し、令和 8 年 4 月 1 日（工事着手期限）までに工事を開始すること）
 ※ 契約締結後において、工事の始期の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。
 また、低入札価格調査等により、上記の工事着手期限以降に契約締結となった場合には、余裕期間を設定することはできず、工事着手期限から 344 日間で工事を完了させること。
 なお、休日には、日曜日、祝日、年末年始及び夏期休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。
 工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

①準備期間	40 日間
②後片付け期間	20 日間
③雨休率(猛暑日補正有り) (実働工期日数に休日と天候等による作業不能日※を見込むための係数)	0.76

※雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日は以下の通りである。（当該工事の作業不能日ではない。）

- イ) 1 日の降雨・降雪量が 10mm/日以上の日：28 日間
- ロ) 8 時から 17 時までの WBGT 値が 31 以上の時間を足し合わせた日数：5 日間

- 過去5か年（2020年～2024年）の気象庁（水戸観測所）及環境省（水戸地点）のデータより年間の平均発生日数を算出（雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日）
2. 著しい悪天候や気象状況より工程（官積算）で見込んで「天候等による作業不能日」以上に作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。
 3. 後片付け期間に検査に要する各種電子データの作成を行うことを想定しているが、更なる期間が必要な場合は、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。
 4. 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工事着手期限までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができる。なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、別紙様式-16により、工事の始期を通知すること。
余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

第53条 工事工程クリティカルパスの共有

受注者は、現場着手前（準備期間内）に設計図書等を踏まえた工事工程表（クリティカルパスを含む）を作成し、監督職員と共有すること。工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者（「発注者」又は「受注者」）を明確にすること。

施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の①～⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。

- ①受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合
- ②著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程（官積算）で見込んである日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合
- ③工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合
- ④資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合
- ⑤その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

第54条 工事工程表の開示の試行工事

1. 本工事は、工期設定の根拠とした工事に必要な関係機関との調整、住民合意、用地確保、法定手続きなどの進捗状況を踏まえた工事工程表を開示するとともに、設計審査会等において工事工程クリティカルパスの共有や発注者が作成する工程と受注者が作成する工事工程の照合（クロスチェック）を行うことにより、適切な工期設定の取組を行う「工事工程表の開示の試行工事」である。
2. 工事契約後、設計審査会等において、「前条 工事工程クリティカルパスの共有」により作成した工事工程表を確認し、受注者・発注者間でクリティカルパスの共有を行うものとする。
3. 設計審査会等において、発注者が開示した工事工程表（別紙-5）との照合（クロスチェック）を実施し、必要に応じて工期延伸の判断について審査を行うなど、適正な工事工程の確保に努めるものとする。
4. 本試行に関するアンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

第55条 週休二日の対応

1. 本工事は、監督職員と受注者双方が工程調整を行うことにより、完全週休2日（土日）を達成するよう工事を実施する「現場閉所による週休2日制適用工事（完全週休2日）（受注者希望方式）」の試行工事である。
受注者は、工事契約後、完全週休2日（土日）の取組を希望するか判断の上、発注者に協議するものとし、希望しない場合は月単位の週休2日に取組むものとする。
2. 週休2日の考え方は下記のとおりである。
 - 1) 週休2日
 - ①完全週休2日（土日）
対象期間内の全ての土日において、現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、協議により、同一の週に土日に代わる現場閉所日（以下、「代替休日」という。）を設定することによって、土日に現場閉所を行ったとみなす。なお、週の定義は月曜日から日曜日までとする。
 - ②月単位の週休2日

対象期間内の全ての月において、現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」という。）が、28.5%（8日/28日）以上となる現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

2) 対象期間

工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

また、工事着手後、受注者の責によらず週休2日の実施が困難な期間が生じる場合は、受発注者間で協議して週休2日の対象外とする作業と期間を決定するとともに、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。ただし、対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限定すること。

3) 現場閉所

巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

3. 天候等を天候等による作業環境が厳しい時期を避けることを目的に、1年単位の変形労働時間制を活用する場合は、1週40時間または1日8時間を超える労働時間を設定した月は、週休2日工事の対象期間外とする。また1年単位の変形労働時間制の活用について施工計画書に反映し、労働基準監督署へ提出した下記の資料を提出すること。

- ・ 1年単位の変形労働時間制を活用する労働者とその使用者が締結した労使協定
- ・ 変更した就業規則

4. 現場閉所を行うときは、監督職員へ事前に連絡すること。ただし、以下に該当する場合は、連絡は不要である。

- ① 施工計画書に記載した法定休日・所定休日の場合
- ② 週間工程会議等により監督職員が事前に把握している場合
- ③ 官公庁の休日の場合

完全週休2日（土日）の実施にあたり、受注者の責に寄らず土日に施工を行わざるを得ない場合は、協議により、同一の週に代替休日を設定すること。なお、夜間工事の場合は作業に着手した日を作業日とみなす。

また、天候等による作業環境が厳しい時期を避けることを目的に、1年単位の変形労働時間制を適用し休日を振り替える場合には、振替前後の日にちが把握出来るよう施工計画書に記載しておくこと。

5. 監督職員は、受注者の月毎の現場閉所率の状況を適宜確認するものとし、受注者側の週休2日の取組状況が十分でない場合は、受発注者双方において要因を分析し、週休2日が確保できるよう改善に取り組むものとする。

6. 工事完了後、週休2日の取得結果が確認できる「取得報告書」を作成し、監督職員に提出するものとする。

7. アンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

8. 明らかに受注者側に月単位の週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、内容に応じて、工事成績評定から点数を減ずる措置を行うものとする。

9. 週休2日に掛かる費用については、当初予定価格から完全週休2日（土日）を達成した場合の補正係数を労務費、市場単価、土木工事標準単価、共通仮設費率、現場管理費率に乘じているが、現場閉所の達成状況を確認後、完全週休2日（土日）が未達成の場合は、月単位の週休2日の補正係数に変更する。月単位の週休2日が未達成の場合は、補正係数を除して変更する。

完全週休2日（土日）の取組を希望しない場合は、月単位の週休2日の補正係数に変更する。また、現場閉所の達成状況を確認後、月単位の週休2日が未達成の場合は、補正係数を除して変更する。

第56条 悪天候等により工期変更が必要となる場合の協議を簡素化する試行

1. 受注者は、著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生し、工期内に工事を完成することが困難な場合はその理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。

著しい悪天候とは、当該工事の工期月の雨休率が、直近5カ年における工期月の雨休率の平均値を超える場合をいう。

工期月とは、工事着手日から工事完成予定日までの期間のうちの、工期の延長変更請求時

までにかかる月（ただし、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は除く）をいう。

なお、本工事の降雨降雪日は、水戸観測所（気象庁のデータ）における1日の降雨・降雪量が10mm以上/日の日を想定している。

2. アンケート調査を行う場合は、これに協力すること。

第57条 個人情報の取扱について

1. 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第57号）第66条第2項第1号の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。

2. 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3. 取得の制限

受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

4. 利用及び提供の制限

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

5. 複写等の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

6. 再委託の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取り扱いを伴う事務を再委託してはならない。なお、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）には、受注者は当該第三者に対して、個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第57号）第66条第2項第4号に基づく個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じさせなければならない。

7. 事案発生時における報告

受注者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

8. 資料等の返却等

(1) 受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から貸与され、又は受注者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、発注者が、廃棄又は消去など別の方法を指示したときは、当該指示に従うものとする。なお、発注者の指示又は承諾により個人情報が記録された資料等を複写等した場合には、確実にそれらを廃棄又は消去するとともに、証明書（別紙-2）を発注者に提出しなければならない。

(2) 前項の規定は、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）において準用する。

9. 管理の確認等

発注者は、受注者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、発注者は必要と認めるときは、受注者に対し個人情報の取り扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

10. 管理体制の整備

受注者は、この契約による事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

11. 従事者への周知

受注者は、従事者に対し、在職中及び退職後においてもこの契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第58条 施工時期及び施工時間の変更

本工事の作業区分は下記によるものとする。

作業区分	施工区分	標準作業時間
昼間作業	全ての工事	8:00～17:00

上記については、積算上の条件明示であり、作業時間を指定するものではない。各々の標準作業時間には、日々の作業準備、後片付け、KY等安全活動なども含まれる。ただし、上記区分に変更を要する場合は、監督職員と協議するものとする。

第59条 他工事との調整

本工事の工事範囲内における他工事の請負業者とは、現場が競合・輻輳する場合が見込まれるため、施工手順・工程については十分な打ち合わせを行い、工事の円滑な進捗に努めるものとする。

なお、下記以外に調整工事が生じた場合は監督職員より指示する。

工事名	施工範囲	工期（予定）
(仮称) R8圏央道側道維持他工事	埼玉県久喜市下早見～茨城県つくば市柳橋	令和8年4月1日～令和9年3月31日

第60条 新技術の活用「新技術の定義」

1. 本工事は、新技術活用の促進を図ることを目的とした、新技術活用工事である。

2. 新技術の定義

新技術活用の原則化における新技術の定義は以下による。

- ①技術の成立性が技術を開発した民間事業者等により実験等の方法で確認されている技術
- ②公共工事等において実用段階に達している技術
- ③当該技術の適用範囲において従来技術に比べて活用の効果が同程度以上の技術又は同程度以上と見込まれる技術
- ④実用段階に達していない技術又は要素技術など研究開発段階にある技術であって国により導入促進を図る技術

3. 対象とする新技術

新技術活用の原則義務化の対象とする新技術は以下のとおりとする。

1) 新技術情報提供システム（NETIS）登録技術

URL <http://www.netis.mlit.go.jp>

2) NETISのテーマ設定型の技術比較表に掲載されている技術

3) 新技術導入促進（Ⅱ）型により活用する技術

4) 新技術のニーズ・シーズマッチングにより現場実証し、従来技術と同等以上と確認できた技術

対象とする技術は、NETIS「マッチング」に掲載された技術のうち、「標準化推進技術」

「普及促進技術」のいずれかに該当するものとする。

なお、NETIS掲載期間終了技術は対象外とする。

第61条 新技術等の活用（施工者選定型）

1. 本工事は、施工者が原則1技術以上の新技術を選択したうえで活用を図る新技術活用工事である。

2. 本工事において、第60条 新技術の活用「新技術の定義」3. 対象とする新技術に示す

- 1)～4)の技術が選定されていない場合、受注者は施工に先立ち、当該工事内容について十分把握の上、新技術を原則一つ以上選定し、監督職員の承諾を得た上で活用するものとし、活用する新技術の名称及び内容等を施工計画書に記載するものとする。活用する新技術がNETIS登録技術の場合は新技術活用計画書も提出するものとする。

3. 受注者は、選定した新技術が第60条 新技術の活用「新技術の定義」3. 対象とする新

- 技術に示す 1)～4)のいずれの新技术であるか確認できるよう、施工計画書に記載する。
4. 当該技術については、設計図書等で定められた事項に係る部分でない場合は、設計変更の対象としない。
 5. 受注者は、試行現場照会中の技術を活用する場合において当該技術の施工にあたり NETIS 申請者が実施する「試行調査」に協力するものとする。なお、試行調査に係る費用は NETIS 申請者が負担する。
 6. 試行現場照会中の技術を活用する場合、当該工事の実施箇所において標準的に使用される技術の施工費相当額を超える費用については、試行調査に係る費用とみなし、NETIS 申請者の負担とする。
 7. 受注者は、活用する新技术が情報種別記号「-VE」以外の NETIS 登録技術の場合は、当該技術の施工にあたり「活用効果調査」を行うものとする。「活用効果調査」は、「新技术情報提供システム(NETIS)」より作成し、監督職員に提出するものとする。
 8. 受注者は、本工事によって知り得た当該技術に係わる情報は、監督職員の許可なく公表してはならない。

第 6 2 条 建設現場における遠隔臨場の実施

1. 建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）と Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものとする。

なお、遠隔臨場の実施にあたっては「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）R5.3」を参考に実施するものとする。

URL <https://www.ml.it.go.jp/tec/content/001594449.pdf>

2. 遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。

3. 実施内容

(1) 段階確認・材料確認、立会での確認

①受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声 Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものとする。

②確認実施者が現場技術員の場合、現場技術員は使用する PC にて遠隔臨場の映像（実施状況）を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム（ASP）等に登録して保管する。（従来の立会資料の管理と同様とする。）

(2) 動画撮影

動画撮影は、撮影者の安全を確保するため、撮影者が移動の際に横転等が考えられるいわゆる「歩きスマホ」（カメラを手に持って歩きながら撮影）での撮影はしないこと。

動画撮影は、静止して撮影又は撮影者のヘルメットや胸ポケットに付ける等の安全に配慮するものとする。

(3) 機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。

なお、配信に利用するシステムは、「パッケージ化したシステム」、「情報共有システム（ASP）」、「Web 会議システム（teams、zoom 等）」等、何れのシステムを利用してよい。

(4) 遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行うものとする。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

(5) フォローアップ調査

工事完了時に別紙様式-19 を監督職員へ提出するものとする。

また、遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示によるものとする。

(6) 費用

遠隔臨場にかかる費用については、工事实施に必要な施工管理費として、全必要額を技術管理費に積み上げ計上し、設計変更するものとする。

なお、機器の手配は基本的にリースとし、その賃料を計上するものとするが、やむを得ず購入せざるを得ない機器がある場合は、その購入費に、機器の耐用年数に対する使用期間（日単位）割合を乗じた分を計上するものとする。また、受注者が所持する機器を使用する場合も、基本的には同様の考え方とするものとする。

(7) 不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、「建設業者の不正行為等に対する監督処分等の基準 令和5年3月3日（国不建第578号）」等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第63条 建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

1. 建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

「遠隔臨場を活用した工事検査」は、受注者における「工事検査に伴う移動時間の削減や工事関係書類の簡素化」や発注者（監督職員・検査職員）における「現場実地（現場臨場）の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360度カメラ等）と Web 会議システム等を介して工事实施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査項目を遠隔で行うものである。なお、遠隔臨場による工事検査は、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』の内容に従い実施する。

2. 遠隔臨場を活用した工事検査の対象

遠隔臨場を活用した工事検査は、完成検査、中間技術検査、既済部分検査、完済部分検査における、工事实施状況、出来形、品質、出来ばえの各検査項目を対象とし、以下の表に示す。また、全ての検査を対象とするが、現場条件や、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ、従来方法（対面書類検査、現場実地検査）を選択することも可能である。

凡例 ○：遠隔臨場による工事検査の対象

	工事实施状況	出来形		品質		出来ばえ	
	書類	書類	実地	書類	実地	書類	実地
完成検査	○	○	○	○	○	○	○
中間技術検査	○	○	○	○	○	○	○
既済部分検査	○	○	○	○	○	○	○
完済部分検査	○	○	○	○	○	○	○

3. 遠隔臨場を活用した工事検査を適用する検査項目

現場条件により遠隔臨場による工事検査の適応性が一致しない場合も想定されることから、検査項目での適用・不適用については、監督職員が検査職員と調整・決定し、受注者に遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目を連絡する。遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目については、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ判断する。

4. 実施内容

(1) 技術検査、工事検査での実施

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360度カメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して工事实施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査を実施するものである。

(2) 機器の準備

遠隔臨場による工事検査に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360度カメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員と協議し決定するものとする。

(3) 遠隔臨場による工事検査を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場による工事検査が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で予備日を取り決めて検査日を連絡する。

(4) 効果の検証

遠隔臨場による工事検査を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

遠隔臨場による工事検査にかかる費用については、受発注者間の協議を踏まえ、技術管理費に積上げ計上する。なお、監督業務で遠隔臨場を実施する工事については、遠隔検査を行うために追加で要する費用が生じた場合に監督職員と協議するものとする。

(6) 不正行為

遠隔臨場による工事検査において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和3年9月30日(国不建第273号)』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第64条 契約後VE方式

1. 定義

「VE提案」とは、契約書第19条の2の規定に基づき、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする工事材料、施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案である。

2. VE提案の意義及び範囲

(1) 受注者がVE提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のものとする。

(2) 以下の提案は、VE提案の範囲に含まないものとする。

①施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案。

②契約書第18条に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。

③提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案。

3. VE提案書の提出

(1) 受注者は、前項のVE提案を行う場合は、次に掲げる事項をVE提案書(別紙様式-1~4)に記載し、発注者に提出しなければならない。

①設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比及び提案理由

②VE提案の実施方法に関する事項(当該提案に係る施工上の条件等を含む)

③VE提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠

④発注者が別途発注する関連工事との関係

⑤工業所有権等の排他的権利を含むVE提案である場合、その取扱いに関する事項

⑥その他VE提案が採用された場合に留意すべき事項

(2) 発注者は、提出されたVE提案書に関する追加的資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。

(3) 受注者は、前項のVE提案を契約の締結日より、当該VE提案に係る部分の施工に着手する35日前までに、発注者に提出できるものとする。

(4) VE提案の提出費用は、受注者の負担とする。

4. VE提案の審査

提出されたVE提案は、施工の確実性、安全性が確保され、かつ設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断されるものについては、VE提案として採用することを原則として審査を行い、当該提案の採否を決定するものとする。

5. VE提案の採否等

VE提案の採否について、原則として、VE提案の受領後14日以内に書面(別紙様式-5)により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。また、VE提案を採用しなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

6. VE提案を採用した場合の設計変更等

(1) VE提案を採用した場合において、必要があるときは、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。

(2) 前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において、発注者は、必要があるときは請負代金額を変更しなければならない。

(3) 前項の変更を行う場合においては、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する金額(以下「VE管理費」という。)を削減しないものとする。

(4) VE提案を採用した後、契約書第18条の条件変更が生じた場合、発注者がVE提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。なお、VE管理費につ

いては、原則として変更しないものとする。

7. VE提案の活用と保護

評定の結果、当該VE提案内容の活用が効果的であると認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。その場合、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。

8. 責任の所在

発注者がVE提案等を採用し、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。

第65条 生産性向上チャレンジ工事

1. 試行の実施

本工事は、受注者の発案による施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。

2. 試行の内容

工事契約後、受注者は、当該工事において、省人化等の生産性向上に資する取組みを実施することができる。

本取組みを実施する場合は、施工計画書に「生産性向上チャレンジ工事」の項目を設け、①取組内容、②期待される効果等を明記するものとし、完成検査までに実施内容及び効果を報告するものとする。また、期待される効果等について、人員削減や作業時間削減等の定量的な効果を記載できる場合は記載することとする。

なお、「技術提案で提案済みの内容」及び「特記仕様書第60条 新技術活用「新技術の定義」」において採用した取組については本試行の対象外とする。

3. 工事成績評定

施工計画書で位置づけられた「生産性向上チャレンジ工事」の取組の履行が確認できた場合は加点を行うこととする。

4. 本試行に係る費用については、原則、受注者負担によるものとする。

第66条 出来高部分払方式

本工事は部分払は、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施し、円滑かつ速やかな工事代金の流通を確保することによって、より双務性及び質の高い施工体制の確保を目指すため、「出来高部分払方式実施要領」〔国土交通省HP https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html 参照〕に基づき行うものとする。

第67条 施工箇所が点在する工事の積算

本工事は、施工箇所が点在する工事であり、花島地区（自：茨城県常総市花島町地先）、高須賀地区（自：茨城県常総市上蛇町地先）で施工を行う工事である。

第68条 低炭素型コンクリート試行工事（プレキャスト）

本工事は、建設関連業界等のカーボンニュートラルに向けた取組を促進するとともに、調達上の課題等を検証するため、セメント置換率の高いコンクリートなどのコンクリート製造時のCO₂排出量（コンクリートの材料のCO₂排出を含む）を削減した「プレキャスト製品による低炭素型コンクリート」の試行工事である。

①低炭素型コンクリート製品の規定・確認

低炭素型コンクリートはポルトランドセメントの置換率が55%以上のもの又はこれと同等以上のCO₂排出削減効果のあるものとする。受注者は、低炭素型コンクリート製品の購入前に、以下が確認出来る資料を監督職員に提出し、施工数量について監督職員と協議するものとする。

- ・低炭素型コンクリート製品の出荷を予定している工場の所在
- ・低炭素型コンクリート製品の出荷を予定している工場と施工現場までの運搬距離
- ・低炭素型コンクリート製品の見積書
- ・低炭素型コンクリート製品によるCO₂排出削減効果（算出可能な場合に限る）

低炭素型コンクリート製品の配合品質証明書等を監督職員に提出し、監督職員は置換率が55%以上であること又は同等以上のCO₂排出削減効果があることを確認するものとする。なお、費用対効果等を考慮し、低炭素型コンクリートを使用しない場合がある。

②試行工事の実施に要する費用

当該試行工事の実施に要する低炭素型コンクリート製品の費用は見積によるものとし、設計変更の対象とする。

③試行結果の検証への協力

試行にあたり受注者は実施状況や結果検証のための調査に協力するものとする。

第69条 現場技術員

本工事は、現場技術員の配置対象工事であり、現場技術業務を令和7年度においては株式会社緑エンジニアリングに委託している。

第70条 施工体制調査員

本工事は、現場における施工体制の点検補助を令和7年度においては関東建設マネジメント株式会社に委託している。

また、本工事は、施工体制の点検を担当する施工体制調査員の氏名は、別途監督職員より通知する。

なお、施工体制調査員は、工事の情報共有システム（ASP）により電子書類を閲覧し、点検を行うため、施工体制調査員を情報共有システム（ASP）のユーザーに登録するものとする。（「閲覧のみ可能」で登録）

第71条 施工体制の点検

1. 受注者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成12年法律第127号最終改正令和6年12月13日）第15条3により発注者から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。
2. 施工体制の点検員は当該工事の監督職員、施工体制調査員及び発注担当事務所の職員である。
3. 施工体制調査員は、業務証明書を携帯し、胸に委託業務名、委託先、業務職（施工体制調査員）、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
4. 当該工事の監督職員及び発注担当事務所の職員は、所属、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
5. 施工体制調査員は、施工体制の点検を行う者で、指示等の権限は有しない。
6. 施工体制調査員は、電子書類の点検を工事の情報共有システム（ASP）により「閲覧」し、点検する。
7. 施工体制調査員は、第1回目の現地点検は現地で点検するが、以降の点検は、映像により点検が可能な項目は、必要に応じ、工事の受注者が導入しているWEB会議や遠隔臨場システムを活用し、点検することを可能とする。
ただし、立会や打合せ等においてWEB会議や遠隔臨場システムを導入していない工事や現地で点検を希望する工事は、従来通り、現地で点検する。

第72条 品質証明

本工事は、品質証明対象工事とする。なお、提出様式は別紙様式-12によるものとする。

第73条 工事完成図書の納品

1. 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品等要領（令和5年3月）：（以下「要領」という。）」に基づいて作成した電子データを指す。「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。
なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】（令和6年3月）」を参考とするものとする。
2. 本工事は「オンライン電子納品実施要領」に基づき、オンライン電子納品を行うものとする。
オンライン電子納品は、発注者が用意した電子納品保管管理サーバへのオンラインによる納品を原則とする。
なお、オンラインによる納品が実施できない場合は、監督職員と協議の上、電子媒体に格納して納品するものとする。
3. 成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

第74条 技術検査

1. 本工事は中間技術検査対象工事とし、実施回数は2回以上を原則とする。なお、工事成績優秀企業の適用工事にあたっては、減免することが出来るものとする。但し、低入札価格調査制度対象工事となった工事及び監督強化価格対象工事については、減免の適用の対象外とする。
2. 中間技術検査の実施時期は、完成、既済部分（完済を含む）の検査時期及び当該工事の主要工種を考慮し、施工上の重要な変化点で行うことを原則とする。実施時期は、監督職員が選定するものとし、監督職員は、受注者に対して書面をもって検査日及び検査職員名を通知するものとする。
3. 中間技術検査は、上記を標準として実施することとするが、中間技術検査の主旨を踏まえ、現場条件、工事規模、内容、工期等を考慮して、実施時期、実施回数を変更することが出来る。

第75条 書類限定検査

1. 本工事は、検査に必要な書類を限定し、監督職員と技術検査官の重複確認廃止の徹底及び受注者における説明用資料等の書類削減により効率化を図る「書類限定検査」の対象である。
2. 書類限定検査とは、検査時に下記の10書類に限定して資料検査を行うものとする。

①施工計画書	⑥出来形管理図表
②施工体制台帳（下請引取検査書類を含む。）	⑦品質管理図表
③工事打合せ簿（協議）	⑧品質規格証明資料
④工事打合せ簿（提出）	⑨品質証明書
⑤工事打合せ簿（承諾）	⑩工事写真

なお、以下の工事については対象外とする。

- ・「低入札価格対象工事」又は「監督体制強化工事」は対象外
 - ・施工中、監督職員より文書等により改善指示が発出された工事は対象外
3. 実施状況や改善点等を把握するためのアンケートに協力する。

第76条 ウィルス対策

受注者は、電子納品時のみならず、監督職員に工事に関する事項について電子データを提出する際には、ウィルス対策を実施した上で提出しなければならない。
また、ウィルスチェックソフトは常に最新データに更新（アップデート）しなければならない。

第2章 土工

第77条 建設発生土の受け入れ地

1. 本工事における発生土の受け入れ場所は、下記のとおりとする。

地区	施工箇所	運搬場所	運搬距離
花島地区	茨城県常総市花島地先	茨城県常総市大輪町 823 付近 (大輪ストックヤード)	1. 2 km
高須賀地区	茨城県つくば市高須賀地先		5. 5 km

2. 運搬土の条件は次のとおりとする。

- 1) 運搬土の種類
第3種建設発生土
- 2) 運搬時間
8時00分～17時00分（但し、12時00分～13時00分は不可とする）
- 3) 搬出調書を作成し、監督職員に提出しなければならない。
- 4) 工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第78条 建設発生土の情報提供

受注者は、本工事から建設発生土を100m³以上搬出する場合は、別紙様式-8により搬出前に搬出先区市町村の建設発生土担当窓口あてに建設発生土に関する下記の情報を郵送・FAX等で提出しなければならない。

なお、情報提供後速やかにその写しを監督職員に提出しなければならない。

1. 工事件名、工事概要、工事場所
2. 工事発注機関名、工事発注機関監督職員名、連絡先
3. 工事請負業者名、現場代理人名、連絡先
4. 建設発生土の運搬業者名
5. 建設発生土の受入先名(搬出先事業所名等)、住所
6. 建設発生土の発生場所から受入地までの運搬経路
7. 建設発生土の搬出時期(搬出期間)
8. 建設発生土の土質(砂、ローム等)、土量(m³)

第79条 作業土工

構造物の床掘りにより発生した土砂は、埋戻し(他工種を含む)に利用するものとし、残土は下表のとおり運搬するものとする。

地区	施工箇所	運搬場所	運搬距離
花島地区	茨城県常総市花島地先	茨城県常総市大輪町823付近 (大輪ストックヤード)	1. 2km
高須賀地区	茨城県つくば市高須賀地先		5. 5km

なお、上記により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第3章 無筋・鉄筋コンクリート

第80条 レディーミクストコンクリート

1. コンクリートはレディーミクストコンクリートを原則とし、下記の仕様によるものとする。

用途	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプ(cm)	水セメント比	呼び強度(N/mm ²)	セメントの種類
基礎コンクリート 現場打ち集水桝(高さ1m未満)	25(20)	8	—	18	高炉セメントB種
現場打ち集水桝(高さ1m以上)	25(20)	8	60%以下	18	高炉セメントB種

ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

2. コンクリートの耐久性向上の対策は、「コンクリートの耐久性向上」仕様書(土木編)(平成14年8月一部改正)により行うものとする。

第81条 配合

水セメント比については、示方配合表により監督職員の確認を得なければならない。

なお、水セメント比を減じることにより施工性が著しく低下する場合は、必要に応じて、高性能減水剤の使用等を検討しなければならない。また、下記構造物については適用除外とする。

- ・仮設構造物(建設後数年の内に撤去するもの。)
- ・最大高さ1m未満の擁壁・水路・側溝及び街渠等の構造物。
- ・管(函)渠等(Φ600未満、600mm×600mm未満)の構造物。
- ・道路照明、標識、防護柵等の構造物。
- ・耐久性を期待しない構造物。

第82条 モルタル

モルタルに使用するセメントの種類は、普通ポルトランドセメントでセメント量は、1：3とする。

第83条 型枠穴孔の補修

型枠セパレータで除去タイプのコーンを用いる場合は、セパレータ端部が鉄筋かぶり内に残らないようにすること。

また、モルタル等による型枠穴孔の補修を行う場合は、専用コテ等で入念に仕上げることを。

型枠穴孔の補修材の落下による第三者被害が想定される箇所については、落下の懸念が少ない方法によることとし、その方法を施工計画書に記載しなければならない。

第4章 材料

第84条 一般瀝青材料

ストレートアスファルトの針入度は下表のとおりとする。

用途	針入度	摘要
基層～表層	40～80	

第85条 再利用品

本工事で再利用して施工する立入防止柵、プレキャストU型側溝等の資材は施工区内のNEXCO用地（圏央道高架下）に保管されていると想定しており、運搬費は当初見込んでいないが、詳細については監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第5章 一般施工

第86条 防草シート

本工事に使用する防草シートは、シートの材料ロス及び付属材料費（固定ピン及びワッシャーを除くシート接材料（接着テープ、接剤、圧着剤など）、既設構造物（舗装版・コンクリートなど）への固定材料など）については、当初見込んでいないが、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第87条 立入防止柵

本工事で施工する立入防止柵(2) H=2.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO仕様は、鋼管基礎の設置手間は当初見込んでいないが、本工事で施工する予定である。詳細については監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第88条 礫分別工

借地復旧にあたり、借地時と比較して土地の高さに不足が生じた場合、山砂による補填を予定しており、使用する山砂は現場発生土を礫分別し再利用することを見込んでいる。

地区	施工箇所	運搬場所	運搬距離
花島地区	茨城県常総市花島地先	茨城県常総市大輪町 823 付近 (大輪ストックヤード)	1. 2 km
高須賀地区	茨城県つくば市高須賀地先		5. 5 km

これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第89条 排水構造物撤去工

本工事で撤去する暗渠排水管およびコルゲートパイプの処分は、当初見込んでいないが、本工事で処分する予定である。詳細については監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第90条 土のう

本工事で撤去する土のう袋の処分は、当初見込んでいないが、本工事で処分する予定である。詳細については監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第91条 工事用道路

花島地区の工事用搬入路は市道 1-0102 号線及び市道 1-0234 号線より現場内に進入し、高須賀地区の工事用搬入路は市道 54167 号線、市道 54188 号線および市道 54189 号線より現場内に進入を予定しているが、詳細は監督職員の指示によるものとする。

第92条 廃プラスチック類

廃プラスチック類（安定シート等）の処分は、当初、下記の条件にて運搬・処分を見込んでいる。

運搬車・運搬距離：4 t ダンプ車、片道距離概ね 25km

参考運搬費：26,000 円/回

参考処分費：22,000 円/m³

上記については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

第93条 仮設材

本工事で引き継ぎ使用する敷鉄板は、以下のとおりとする。

地区	規格	区分	設置場所	数量 (枚)	供用日数（予定）	備考
花島地区	敷鉄板 22×1524 ×6096	撤去	市道 1-0102 号線 ～ 市道 1-0234 号線 出入口	153	R8. 4. 1～R9. 3. 5 (供用日数 339 日) R3. 4. 1～R9. 3. 5 (総供用日数 721 日以上)	
高須賀地区			市道 54167 号線	27	R8. 4. 1～R9. 3. 5 (供用日数 339 日) R5. 9. 1～R9. 3. 5 (総供用日数 721 日以上)	

第94条 仮設工

1. 本工事の仮橋・仮栈橋工に関する仮設は設計図書に基づき撤去するものとするが、撤去数量は見込み数量である。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議することとし、設計変更の対象とする。
2. 工事の施工については、請負者の責任において実施するものとする。
3. H鋼杭の引き抜きは油圧式パイプロハンマ工法を見込んでいる。
なお、施工にあたり現地状況を十分把握し安全性、経済性等の検討を行い、施工方法変更が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。
4. 撤去により発生する鋼材は、スクラップを見込んでおり、スクラップ控除を計上している。
5. 土質定数は、下表のとおりとするが、貸与する報告書にて照査を行うこととする。また、疑義が生じた場合は、監督職員と協議することとする。

【仮棧橋】

ホーリング No. 255+13. CL	土質記号	層厚 (m)	区分	設計 N 値	単位体積 重量 γ (kN/m ³)	粘着力 C (kN/m ²)	せん断 抵抗角 ϕ (°)	変形係数 αE_0 (kN/m ²)
18K43-11 No. 255+13. CL	Ac1	2.35	粘性土	2.0	15.0	30.0	0	1,700
	As1-1	1.75	砂質土	4.0	17.0	00.0	32	1,900
	Ac1	1.5	粘性土	2.0	15.0	30.0	0	1,700
	Ap1	2.2	粘性土	2.0	11.0	44.0	0	3,500
	Ac1	2.5	粘性土	2.0	15.0	30.0	0	1,700
	As2	4.2	砂質土	19.0	17.0	0	34.0	12,600
	Ap2	1.2	粘性土	6.0	11.0	110.0	0	4,200
	Ac2	5.2	粘性土	3.0	15.0	60.0	0	4,900
	Ac3	5.0	粘性土	6.0	16.0	78.0	0	4,200
	As3	1.95	砂質土	29.0	17.0	0	34.0	20,300
	Asg	2.9	礫質土	41.0	19.0	0	35.0	28,700
	Dc3-1	3.3	粘性土	11.0	16.0	69.0	0	7,700
	Ds5-1	0.85	砂質土	29.0	19.0	0	33.0	20,300
	Dsg	6.45	礫質土	69.0	20.0	0	37.0	48,300

第95条 応急処理工

受注者は、日々の作業が終了した時に速やかに関係書類（出来高報告）を作成し、その確認を受けなければならない。

1. 応急処理とは、道路上で発生し、短時間で処理可能な全般的な作業をいう。
2. 作業日、作業場所、作業内容はすべて監督職員の指示に基づいて行うものとし、常時出勤できるように、体制を整えておくものとする。
3. 作業終了後、関係書類を速やかに提出し、監督職員の確認を得るものとする。
4. 応急処理は下表を見込むものとし、内容・数量・使用機械等は変更の対象とする。

【花島地区】

区分	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
借地復旧工 (応急処理) (1) 田	【労務費】					
		土木一般世話役		人	3	
		運転手（一般）		人	230	
		運転手（特殊）		人	76	
		普通作業員		人	88	
		【機械経費】 運転手・燃料含まず (機械損料 15 欄)				
		バックホウ（クロー） [標準]	排ガス型（第1次） 山積0.45m ³	供用	76	
		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t 積級	供用	230	
		ダンプトラック	タイヤ(供用日当り) (損耗費及び補修費=普通)	供用	230	
		【運搬・処分費】				
		廃棄物運搬	4t ダンプ車 片道運搬距離概ね 25km	回	4	
		処分費 (m ³)	廃プラスチック類	m ³	68.29	

	【燃料費】				
	軽油	(ハトル給油)	L	24,307	

区分	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
借地復旧工 (応急処理) (2) 畑	【労務費】				
	土木一般世話役		人	2	
	運転手 (一般)		人	175	
	運転手 (特殊)		人	58	
	普通作業員		人	67	
	【機械経費】 運転手・燃料含まず (機械損料 15 欄)				
	バックホ (クロー) [標準]	排ガス型 (第1次) 山積0.45m ³	供用日	58	
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t 積級	供用日	175	
	ダンプトラック	タイヤ(供用日当り) (損耗費及び補修費=普通)	供用日	175	
	【運搬・処分費】				
	廃棄物運搬	4t ダンプ車 片道運搬距離概ね 25km	回	3	
	処分費 (m ³)	廃プラスチック類	m ³	52	
【燃料費】					
軽油	(ハトル給油)	L	18,511		

区分	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
借地復旧工 (応急処理) (3) その他	【労務費】				
	土木一般世話役		人	1	
	運転手 (一般)		人	8	
	運転手 (特殊)		人	2	
	普通作業員		人	3	
	【機械経費】 運転手・燃料含まず (機械損料 15 欄)				
	バックホ (クロー) [標準]	排ガス型 (第1次) 山積0.45m ³	供用日	2	

ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t 積級	供用日	8	
ダンプトラック	タイヤ(供用日当り) (損耗費及び補修費=普通)	供用日	8	
【運搬・処分費】				
廃棄物運搬	4t ダンプ車 片道運搬距離概ね 25km	回	1	
処分費 (m3)	廃プラスチック類	m3	2.64	
【燃料費】				
軽油	(ハートル給油)	L	939	

【高須賀地区】

区分	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
借地復旧工 (応急処理) (1) 田	【労務費】				
	土木一般世話役		人	3	
	運転手 (一般)		人	197	
	運転手 (特殊)		人	65	
	普通作業員		人	75	
	【機械経費】 運転手・燃料含まず (機械損料 15 欄)				
	バックホウ (クロー) [標準]	排ガス型 (第1次) 山積 0.45m ³	供用日	65	
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t 積級	供用日	197	
	ダンプトラック	タイヤ(供用日当り) (損耗費及び補修費=普通)	供用日	197	
	【運搬・処分費】				
	廃棄物運搬	4t ダンプ車 片道運搬距離概ね 25km	回	3	
	処分費 (m3)	廃プラスチック類	m3	58.54	
	【燃料費】				
軽油	(ハートル給油)	L	20,839		

区分	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
借地復旧工 (応急処理) (3) その他	【労務費】				
	土木一般世話役		人	1	
	運転手 (一般)		人	2	

運転手（特殊）		人	1	
普通作業員		人	1	
【機械経費】 運転手・燃料含まず (機械損料 15 欄)				
バックホウ（クロー） [標準]	排ガス型（第1次） 山積0.45m ³	供用日	1	
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t 積級	供用日	2	
ダンプトラック	タイヤ(供用日当り) (損耗費及び補修費= 普通)	供用日	2	
【運搬・処分費】				
廃棄物運搬	4t ダンプ車 片道運搬距離概ね 25km	回	1	
処分費 (m ³)	廃プラスチック類	m ³	0.88	
【燃料費】				
軽油	(パトロール給油)	L	313	

第6章 舗装

第96条 材料

加熱アスファルト混合物の示方アスファルト量及び骨材の最大粒径は、下記のとおりとする。

呼び名	混合物の種類	最大粒径	アスファルト量	摘要
RA②	再生密粒度アスコン	20 mm	5.5%	表層

ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第97条 加熱アスファルト混合物

受注者は、本工事に使用する加熱アスファルト混合物(以下「混合物」という。)で、アスファルト混合物事前審査の認定を受けた混合所の混合物を使用する場合は、「アスファルト混合物事前審査における土木工事仕様書」及び「アスファルト混合物事前審査における品質管理基準」によるものとする。

第7章 その他

第98条 震災対策

1. 地震発生等の天災に備えて、あらかじめその対応策を定めておくものとする。
2. 地震注意情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全措置等を講ずるものとする。

第99条 工事現場における説明性の向上

受注者は、事業名、事業の目的・内容・効果、工事名、工事内容、連絡先を記した工事説明書を作成し、近隣住民等から事業内容等の説明を求められた場合は、工事の安全確保に支障のない範囲において、当該工事説明書を配布する等、工事現場の説明性の向上を図るものとする。

とする。

また、受注者は工事現場作業員に対し、工事内容及び事業目的・効果を周知するものとする。

第100条 特定外来生物の対応

本工事施工にあたり、道路区域内で「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」による特定外来生物が確認された場合は、速やかに監督職員に報告するものとし、対応については監督職員の指示によるものとする。

明示項目及び明示事項

明示項目	明示事項	記載条項
工程関係	<ul style="list-style-type: none"> ■ 他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工事等に影響がある場合は、影響箇所及び他の工事の内容、開始又は完了の時期。 ■ 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法。 □ 当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合は、制約を受ける内容及びその協議内容、成立見込み時期。 □ 関係機関、自治体等との協議の結果、特定された条件が付され当該工事の工程に影響がある場合は、その項目及び影響範囲。 ■ 余裕工期を設定して発注する工事については、工事の着手時期。 □ 工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合は、その項目及び調査期間。又、地下埋設物等の移設が予定されている場合は、その移設期間。 ■ 設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第59条 ・第58条 ・第52条 ・第52条
用地関係	<ul style="list-style-type: none"> □ 工事用地等に未処理部分がある場合は、その場所、範囲及び処理の見込み時期。 ■ 工事用地等の使用終了後における復旧内容。 □ 工事用仮設道路・資機材置き場用の借地をさせる場合、その場所、範囲、時期、期間、使用条件、復旧方法等。 □ 施工者に、消波ブロック、桁製作等の仮設ヤードとして官有地等及び発注者が借り上げた土地を使用させる場合は、その場所、範囲、時期、期間、使用条件、復旧方法等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第8条
公害関係	<ul style="list-style-type: none"> □ 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等を指定する必要がある場合は、その内容。 □ 水替・流入防止施設が必要な場合は、その内容、期間。 □ 濁水、湧水等の処理で特別な対策を必要とする場合は、その内容（処理施設、処理条件等）。 □ 工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等、電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合は、事前・事後調査の区分とその調査時期、未然に防止するために必要な調査方法、範囲等。 	
安全対策関係	<ul style="list-style-type: none"> □ 交通安全施設等を指定する場合は、その内容、期間。 □ 鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事での施工方法、作業時間等に制限がある場合は、その内容。 □ 落石、雪崩、土砂崩落等に対する防護施設が必要な場合は、その内容。 ■ 交通誘導員、警戒船及び発破作業等の保全設備、保安要員の配置を指定する場合又は発破作業等に制限がある場合は、その内容。 □ 有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として、換気設備等が必要な場合は、その内容。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第39条 ・第42条
工事用道路関係	<p>一般道路を搬入路として使用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 工事用資機材等の搬入経路、使用期間、使用時間帯等に制限がある場合は、その経路、期間、時間帯等。 ■ 搬入路の使用後及び使用後の処置が必要である場合は、その処置内容。 <p>仮道路を設置する場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 仮道路に関する安全施設等が必要である場合は、その内容、期間。 ■ 仮道路の工事終了後の処置（存置又は撤去）。 □ 仮道路の維持補修が必要である場合は、その内容。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第91条 ・第93条
仮設備関係	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合は、その内容、期間、条件等。 □ 仮設備の構造及びその施工方法を指定する場合は、その構造及びその施工方法 □ 仮設備の設計条件を指定する場合は、その内容。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第94条

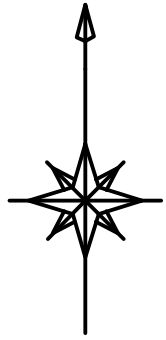
明示項目	明示事項	記載条項
建設副産物関係	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建設発生土が発生する場合は、残土の受入場所及び仮置き場所までの距離、時間等の処分及び保管条件。 □ 建設副産物の現場内での再利用及び減量化が必要な場合は、その内容。 ■ 建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合は、その処理方法、処理場等の処理条件。 なお、再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合は、その受入場所、距離、時間等の処分条件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第77条 ・第79条 ・第24条
工事支障物件等	<ul style="list-style-type: none"> □ 地上、地下等の占用物件の有無及び占用物件等で工事支障物が存在する場合は、支障物件名、管理者、位置、移設時期、工事方法、防護等。 □ 地上、地下等の占用物件工事と重複して施工する場合は、その工事内容及び期間等。 	
薬液注入関係	<ul style="list-style-type: none"> □ 薬液注入を行う場合は、設計条件、工法区分、材料種類、施工範囲、削孔数量、削孔延長及び注入量、注入圧等。 □ 周辺環境への調査が必要な場合は、その内容。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 工事用資機材の保管及び仮置きが必要である場合は、その保管及び仮置き場所、期間、保管方法等。 □ 工事現場発生品がある場合は、その品名、数量、現場内での再使用の有無、引き渡し場所等。 □ 支給材料及び貸与品がある場合は、その品名、数量、品質、規格又は性能、引渡場所、引渡期間等。 □ 関係機関・自治体等との近接協議に係る条件等その内容。 □ 架設工法を指定する場合は、その施工方法及び施工条件。 □ 工事用電力等を指定する場合は、その内容。 □ 新技術・新工法・特許工法を指定する場合は、その内容。 □ 部分使用を行う必要がある場合は、その箇所及び使用時期。 □ 給水の必要のある場合は、取水箇所・方法等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第44条

概略工事工程表
 工事名：R7圏央道環境整備他その5工事

工程	単位	数量	令和8年度																																		備考 (バナータイプ(pt)数等)				
			10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	210	220	230	240	250	260	270	280	290	300	310	320	330	334					
準備工	式	1	[Gantt bar from 10 to 40]																																						・40日間
花島地区	舗装工	式	[Gantt bar at 220]																																						・アスファルト舗装工(1pt)
	擁壁工	式	[Gantt bar from 100 to 110]																																						・作業土工(1pt) ・プレキャスト擁壁工(1pt)
	カルバート工	式	[Gantt bar from 100 to 110]																																						・作業土工(1pt) ・プレキャストカルバート工(1pt)
	排水構造物工	式	[Gantt bar from 100 to 180]																																						・作業土工(1pt) ・側溝工(1pt) ・管渠工(1pt) ・集水溝・マンホール工(1pt)
	防護柵工	式	[Gantt bar from 180 to 220]																																						・防止柵工(1pt)
	防草対策工	式	[Gantt bar at 220]																																						・防草対策工(1pt)
	構造物撤去工	式	[Gantt bar from 80 to 90]																																						・作業土工(2pt) ・構造物取壊し工(2pt) ・排水構造物撤去工(2pt)
	礫分別工	式	[Gantt bar from 260 to 270]																																						・礫分別工(2pt)
	借地復旧工 応急処理(1)田	式	[Gantt bar from 150 to 220]																																						・碎石・山砂・安定シート撤去(1pt) ・仮排水路撤去・排水路復旧(1pt) ・不足土投入(1pt)
	借地復旧工 応急処理(2)畑	式	[Gantt bar from 100 to 140]																																						・碎石・山砂・安定シート撤去(1pt) ・仮排水路撤去・排水路復旧(1pt) ・不足土投入(1pt)
	借地復旧工 応急処理(3)その他	式	[Gantt bar at 90]																																						・碎石・山砂・安定シート撤去(1pt)
	仮設工	式	[Gantt bar from 40 to 80]																																						・工用道路(撤去)工(1pt) ・仮橋・仮棧橋(撤去)工(1pt)
	高須賀地区	舗装工	式	[Gantt bar at 310]																																					
カルバート工		式	[Gantt bar from 220 to 230]																																						・作業土工(1pt) ・プレキャストカルバート工(1pt)
排水構造物工		式	[Gantt bar from 220 to 270]																																						・作業土工(1pt) ・側溝工(1pt) ・管渠工(1pt) ・集水溝・マンホール工(1pt)
防護柵工		式	[Gantt bar from 280 to 310]																																						・防止柵工(2pt)
防草対策工		式	[Gantt bar at 310]																																						・防草対策工(2pt)
構造物撤去工		式	[Gantt bar at 220]																																						・作業土工(2pt) ・切り直し道路撤去工(2pt)
礫分別工		式	[Gantt bar from 240 to 250]																																						・礫分別工(2pt)
借地復旧工 応急処理(1)田		式	[Gantt bar from 70 to 100]																																						・碎石・山砂・安定シート撤去(1pt) ・仮排水路撤去・排水路復旧(1pt) ・不足土投入(1pt)
借地復旧工 応急処理(3)その他		式	[Gantt bar at 70]																																						・碎石・山砂・安定シート撤去(1pt)
仮設工		式	[Gantt bar from 40 to 60]																																						・工用道路(撤去)工(2pt) ・作業ヤード撤去工(2pt)
後片付け工	式	[Gantt bar from 310 to 334]																																						・20日間	
制約条件	夏季	—																																							・8月中旬
	年末年始	—																																							・12月下旬～1月上旬
雨休率の適用			準備・後片付けを除く、雨休率(猛暑日補正あり)を適用																																						

工期：工事の始期から344日間(但し、令和8年4月1日(工事着手期限)までに工事を開始すること。)

位置図 S=1:50,000



今回施工箇所 (高須賀地区)
茨城県つくば市高須賀地先

今回施工箇所 (花島地区)
茨城県常総市花島町地先

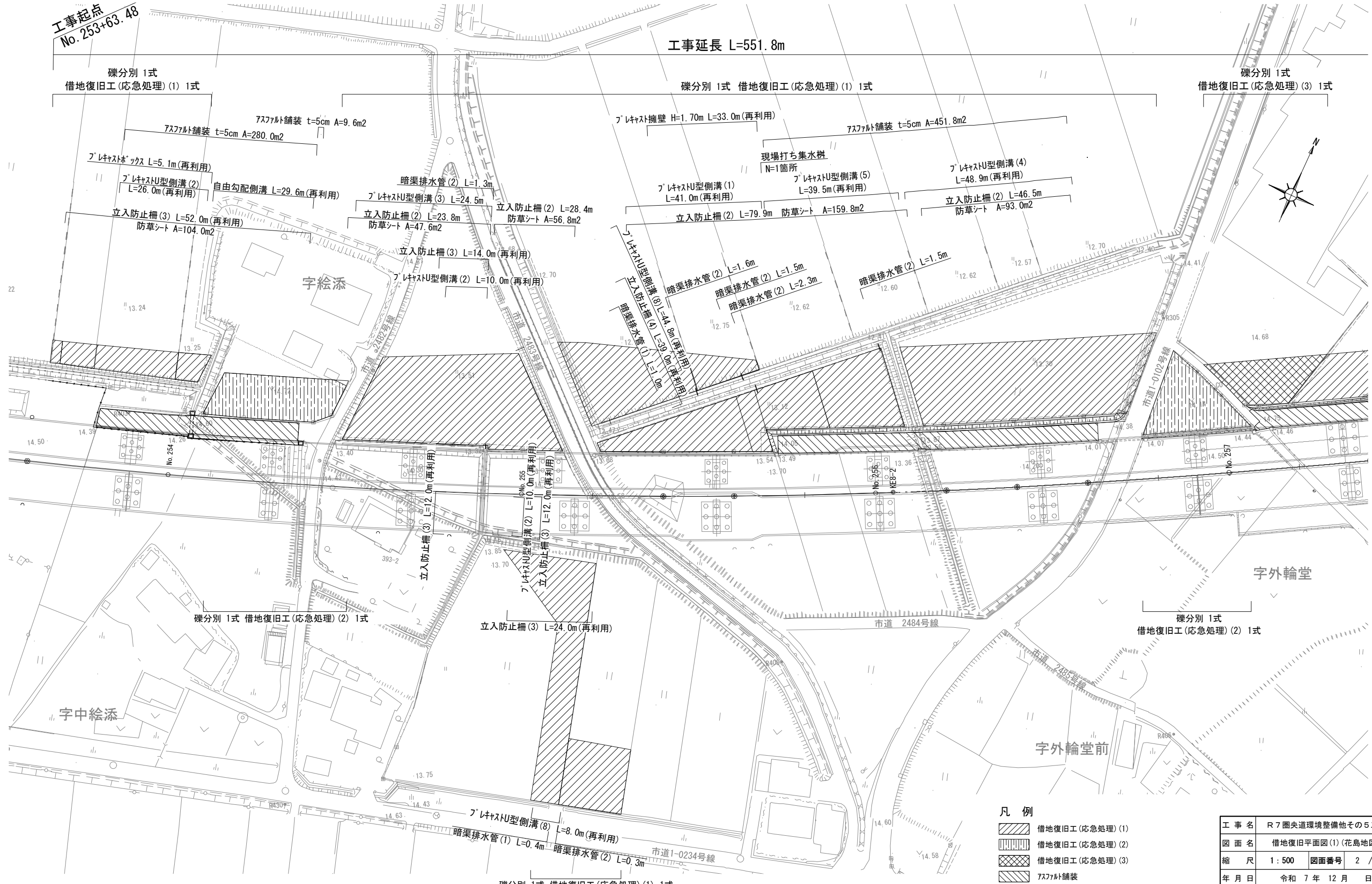
1:50,000



工事名	R7圏央道環境整備他その5工事				
図面名	位置図				
縮尺	1:50,000	図面番号	1 / 29		
年月日	令和7年12月 日				
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社				
所長	副所長	課長	専門官	係長	担当
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所				

借地復旧平面図(1) S=1:500

(花鳥地区)



工事起点
No. 253+63.48

磔分別 1式
借地復旧工(応急処理) (1) 1式

工事延長 L=551.8m

磔分別 1式 借地復旧工(応急処理) (1) 1式

磔分別 1式
借地復旧工(応急処理) (3) 1式

7スファルト舗装 t=5cm A=9.6m2
7スファルト舗装 t=5cm A=280.0m2

プラスチック擁壁 H=1.70m L=33.0m(再利用)

7スファルト舗装 t=5cm A=451.8m2

プラスチックボックス L=5.1m(再利用)
プラスチックU型側溝(2) L=26.0m(再利用)

自由勾配側溝 L=29.6m(再利用)
暗渠排水管(2) L=1.3m
プラスチックU型側溝(3) L=24.5m
立入防止柵(2) L=28.4m
防草シート A=56.8m2

現場打ち集水樹 N=1箇所
プラスチックU型側溝(1) L=41.0m(再利用)
プラスチックU型側溝(5) L=39.5m(再利用)
立入防止柵(2) L=79.9m 防草シート A=159.8m2

プラスチックU型側溝(4) L=48.9m(再利用)
立入防止柵(2) L=46.5m
防草シート A=93.0m2

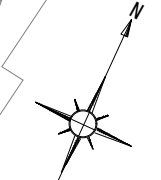
立入防止柵(3) L=52.0m(再利用)
防草シート A=104.0m2

立入防止柵(2) L=23.8m
防草シート A=47.6m2
立入防止柵(3) L=14.0m(再利用)

プラスチックU型側溝(4) L=44.8m(再利用)
立入防止柵(4) L=39.0m(再利用)
暗渠排水管(2) L=1.6m
暗渠排水管(2) L=1.5m
暗渠排水管(2) L=2.3m

暗渠排水管(2) L=1.5m

字絵添



磔分別 1式 借地復旧工(応急処理) (2) 1式

立入防止柵(3) L=24.0m(再利用)

磔分別 1式
借地復旧工(応急処理) (2) 1式

字中絵添

字外輪堂

字外輪堂前

プラスチックU型側溝(8) L=8.0m(再利用)
暗渠排水管(1) L=0.4m
暗渠排水管(2) L=0.3m

磔分別 1式 借地復旧工(応急処理) (1) 1式

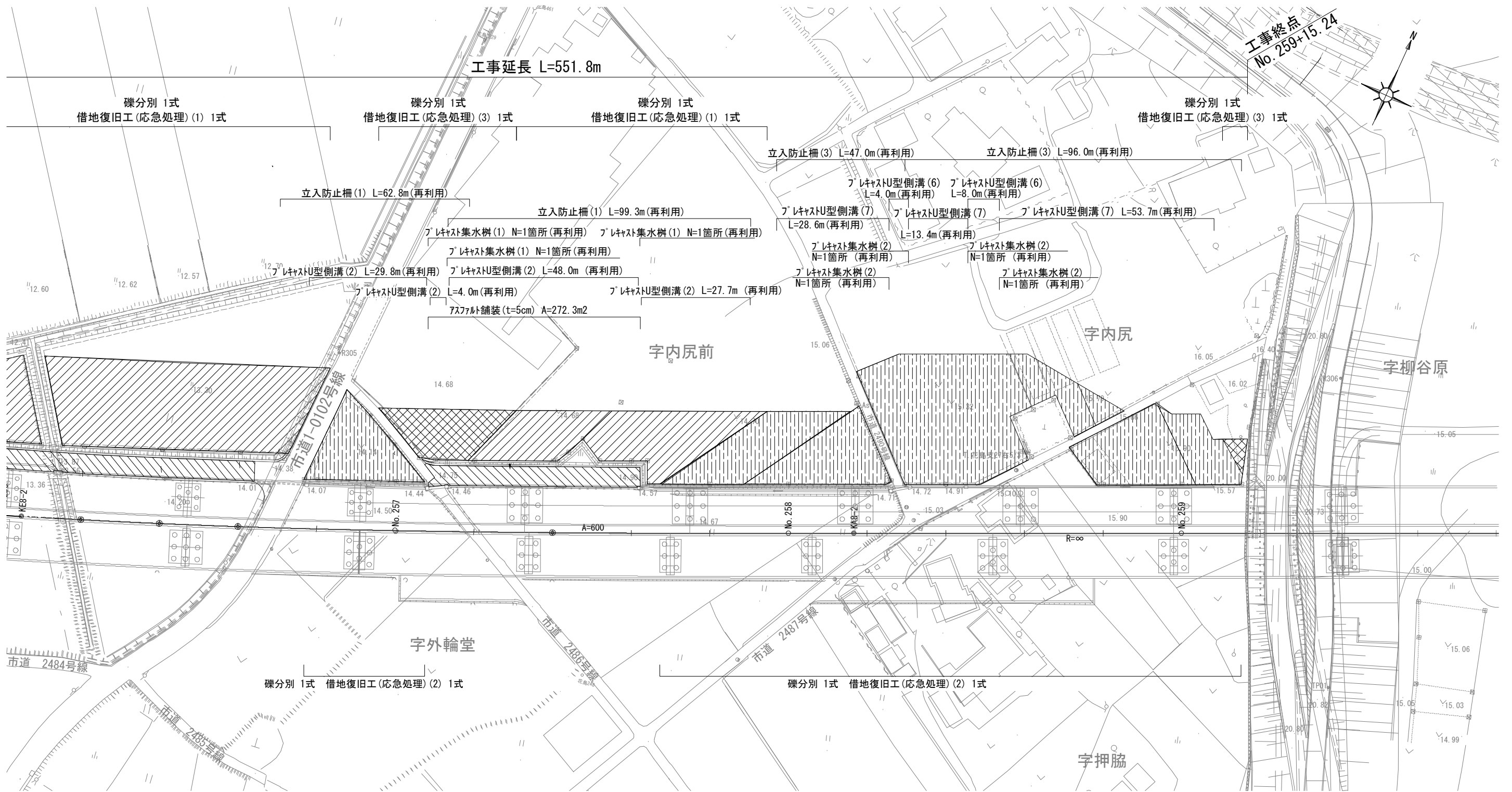
凡例

- 借地復旧工(応急処理) (1)
- 借地復旧工(応急処理) (2)
- 借地復旧工(応急処理) (3)
- 7スファルト舗装

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	借地復旧平面図(1)(花鳥地区)		
縮尺	1:500	図面番号	2 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

借地復旧平面図(2) S=1:500 (花鳥地区)



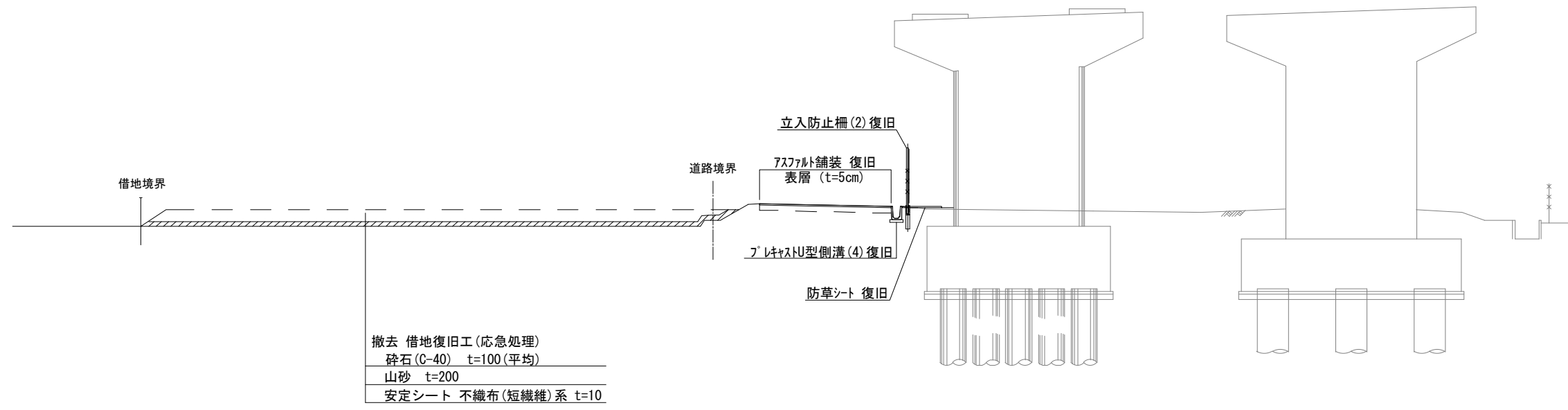
- 凡例
- 借地復旧工(応急処理) (1)
 - 借地復旧工(応急処理) (2)
 - 借地復旧工(応急処理) (3)
 - 7スファルト舗装

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	借地復旧平面図(2)(花鳥地区)		
縮尺	1:500	図面番号	3 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

借地復旧標準横断図 S=1:100

(花島地区)



撤去 借地復旧工 (応急処理)
 砕石 (C-40) t=100 (平均)
 山砂 t=200
 安定シート 不織布 (短繊維)系 t=10

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	借地復旧標準横断図 (花島地区)		
縮尺	1:100	図面番号	4 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

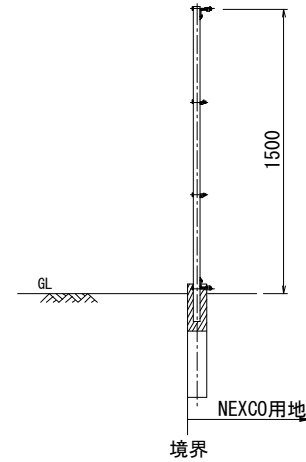
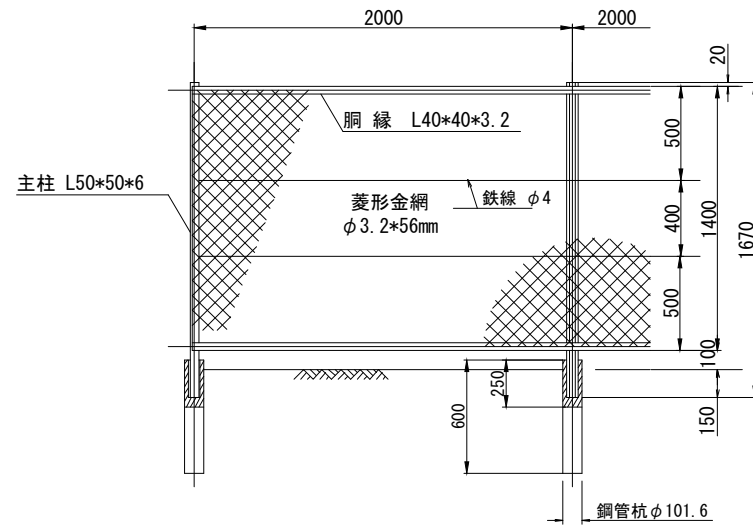
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

復旧構造図(1) S=1:20 (花島地区)

立入防止柵(1) NEXCO仕様 H=1.50m @2.00m

正面図

断面図



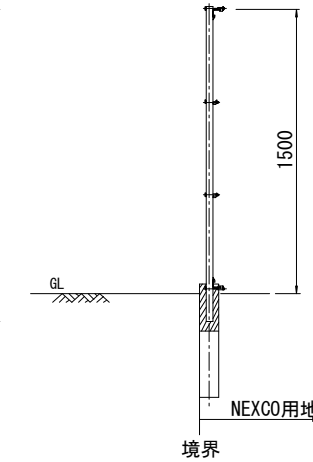
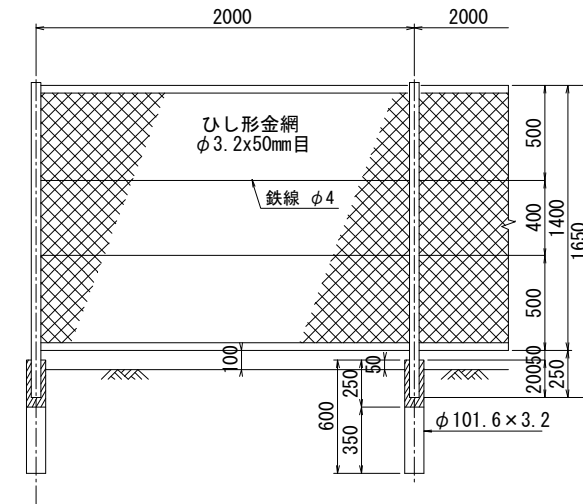
注)立入防止柵は基礎前面が境界とるように設置すること

項目	種別	単位	数量	摘要
立入防止柵(1)	NEXCO仕様 (H=1.5m)	m	10.0	再利用 (フェンス用鋼管基礎含む)

立入防止柵(2) NEXCO仕様 H=1.50m @2.00m

正面図

断面図



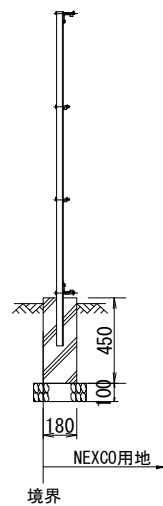
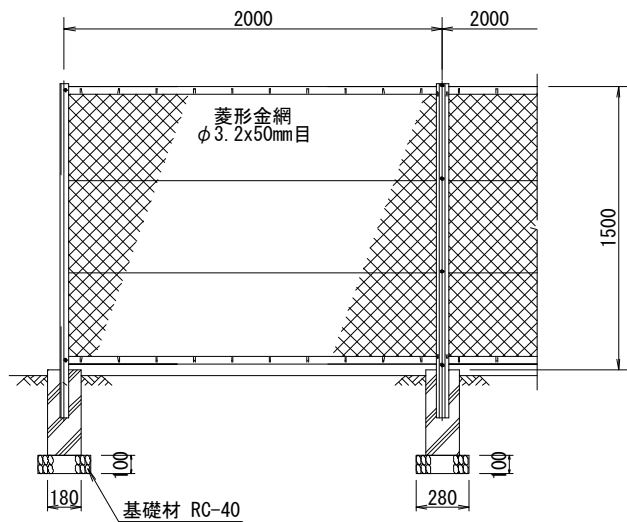
注)立入防止柵は基礎前面が境界とるように設置すること

品名	規格寸法	長さ	単位	数量	材質	表面処理
主柱	VB形鋼	1665	本	5	JIS G 3101 (SS400)	ポリエステル系樹脂塗料
爪付胴縁	R付L40×40×3	4000	本	5	"	"
鉄線	φ4.0		m	40	JIS G 3543 (SWME-GS2)	ポリエステル被膜亜鉛めっき
ひし形金網	φ3.2×50mm		m ²	14.5	JIS G 3552 (E-GS2)	"
鋼管杭	φ101.6×3.2	600	本	5	JIS G 3444 (STK400)	JIS H 8641 (HDZT77)
塗装	標準色					

立入防止柵(3) NEXCO仕様 H=1.50m @2.00m

正面図

断面図



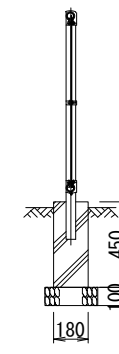
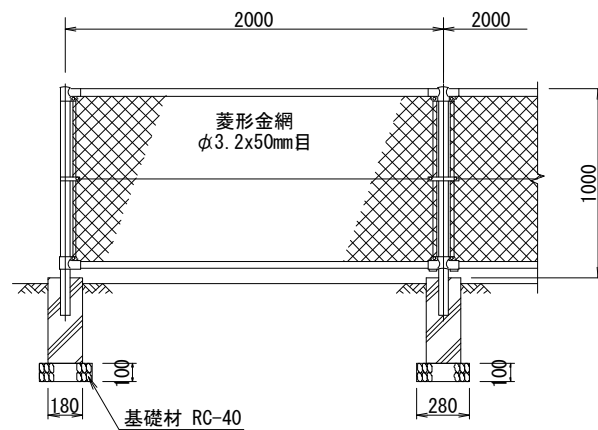
注)立入防止柵は基礎前面が境界とるように設置すること

項目	種別	単位	数量	摘要
立入防止柵(3)	NEXCO仕様 (H=1.5m)	m	10.0	再利用 (フェンス用基礎ブロック含む)
基礎材	RC-40	m ²	0.4	

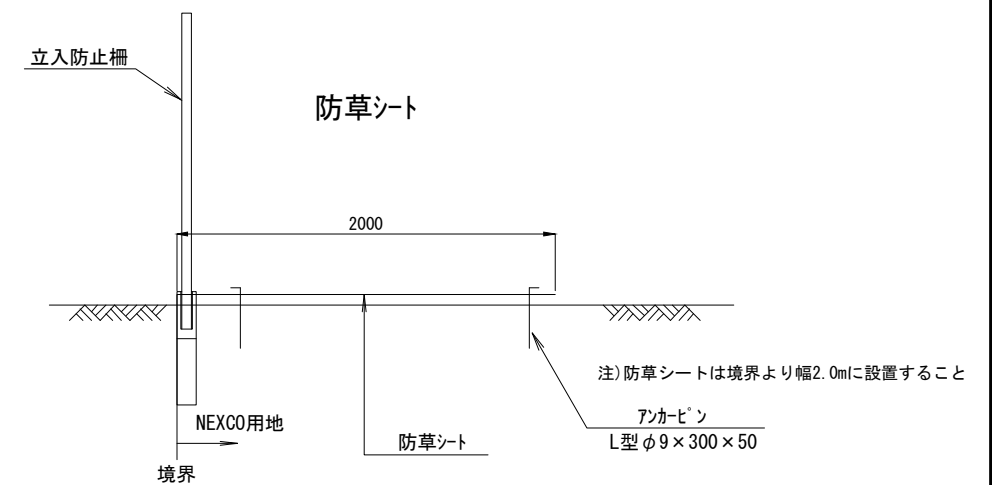
立入防止柵(4) メッシュフェンス H=1.00m @2.00m

正面図

断面図



項目	種別	単位	数量	摘要
立入防止柵(4)	メッシュフェンス (H=1.0m)	m	10.0	再利用 (フェンス用基礎ブロック含む)
基礎材	RC-40	m ²	0.4	



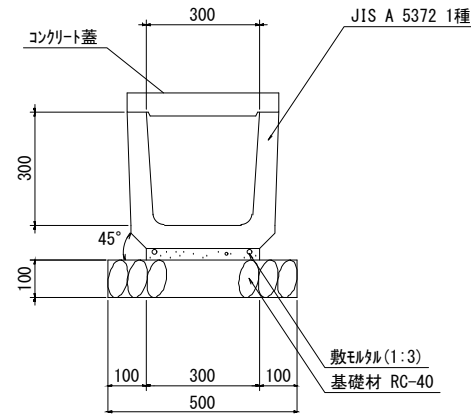
名称	規格	単位	数量	摘要
防草シート	改質アスファルト系 幅1.1m×長さ10m×厚さ3mm/巻 (仕上げ表 ミネラル 裏 PPフィルム)	m ²	10.0	
アンカーピン	L型 φ9×300×50	式	1.0	

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	復旧構造図(1)(花島地区)		
縮尺	1:20	図面番号	5 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

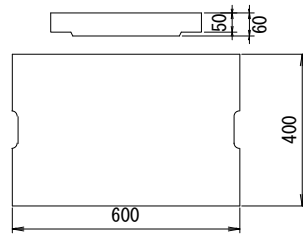
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

復旧構造図(2) S=1:10 (花島地区)

プラスチック型側溝(1)
PU1-300-300



Co上蓋式U形側溝蓋
300用
(U形用蓋1種)



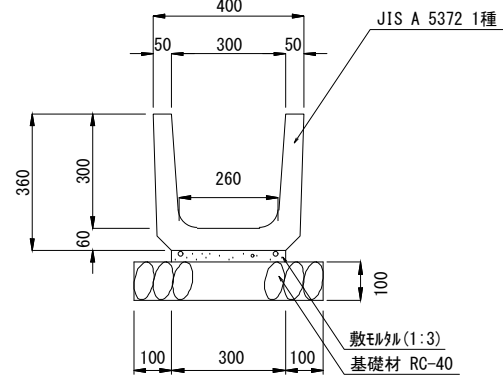
寸法表

名称	B	H	L
プラスチック型側溝(1)	300	300	2000

材料表

名称	基礎材 RC-40				側溝	コンクリート蓋	摘要
	敷モルタル 1:3	式	個	枚			
プラスチック型側溝(1)	5.0	1.0	5.0	16.5			(再利用)260kg/個 コンクリート蓋 参考重量 32.0kg/枚(再利用)

プラスチック型側溝(2)(3)
PU1-300-300
(輪荷重なし)



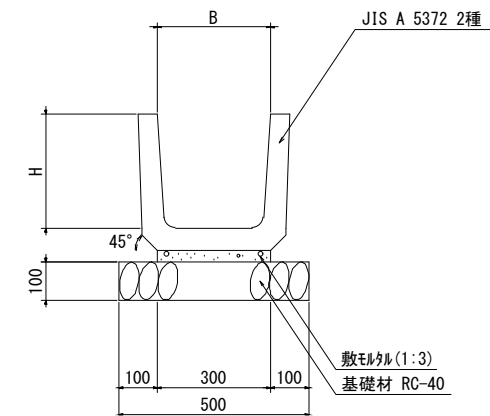
寸法表

名称	B	H	L
プラスチック型側溝(2)	300	300	2000
プラスチック型側溝(3)	300	300	2000

材料表

名称	基礎材 RC-40			側溝	摘要
	敷モルタル 1:3	式	個		
プラスチック型側溝(2)	5.0	1.0	5.0		(再利用)260kg/個
プラスチック型側溝(3)	5.0	1.0	5.0		

プラスチック型側溝(4)(5)
PU2-300-H
(輪荷重あり)



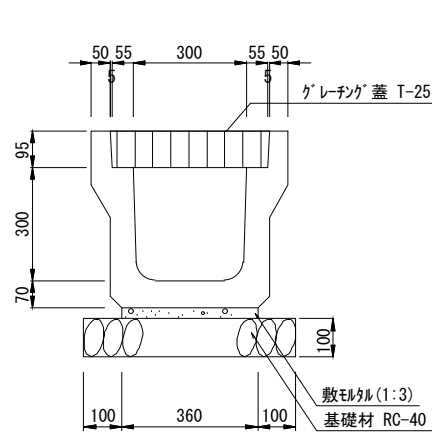
寸法表

名称	B	H	L
プラスチック型側溝(4)	300	300	2000
プラスチック型側溝(5)	300	500	2000

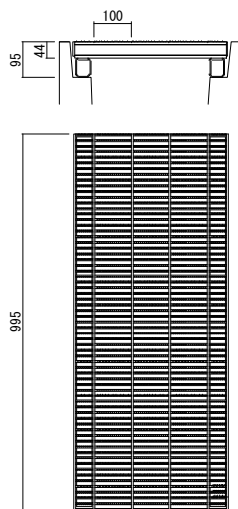
材料表

名称	基礎材 RC-40			側溝	摘要
	敷モルタル 1:3	式	個		
プラスチック型側溝(4)	5.0	1.0	5.0		(再利用)260kg/個
プラスチック型側溝(5)	5.0	1.0	5.0		(再利用)565kg/個

プラスチック型側溝(6)
KUR-300-300
(車道横断用)



グレーチング蓋



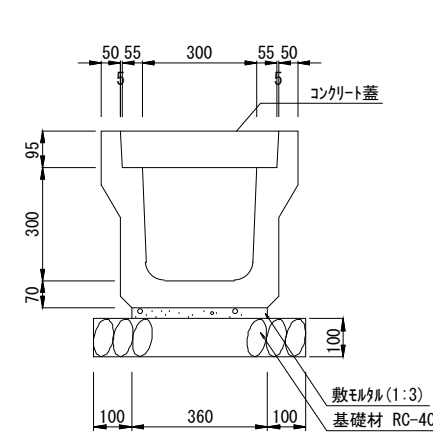
寸法表

名称	B	H	L
プラスチック型側溝(6)	300	300	2000

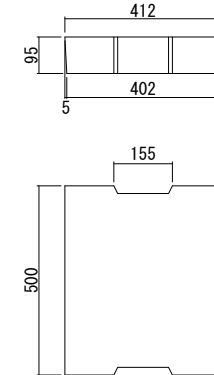
材料表

名称	基礎材 RC-40				側溝	グレーチング蓋	摘要
	敷モルタル 1:3	式	個	T-25 L=1.0m 枚			
プラスチック型側溝(6)	5.6	1.0	5.0	10.0			(再利用)260kg/個 グレーチング蓋 参考重量 29.6kg/枚(再利用)

プラスチック型側溝(7)
KUR-300-300



コンクリート蓋



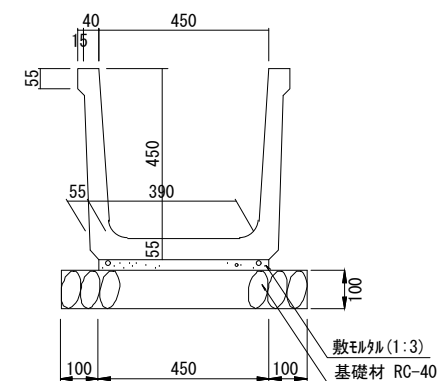
寸法表

名称	B	H	L
プラスチック型側溝(7)	300	300	2000

材料表

名称	基礎材 RC-40			側溝	コンクリート蓋	摘要
	敷モルタル 1:3	式	個			
プラスチック型側溝(7)	5.6	1.0	5.0		20.0	(再利用)260kg/個 コンクリート蓋 参考重量 45.0kg/枚(再利用)

プラスチック型側溝(8)
PU1-450-450



寸法表

名称	B	H	L
プラスチック型側溝(8)	450	450	600

材料表

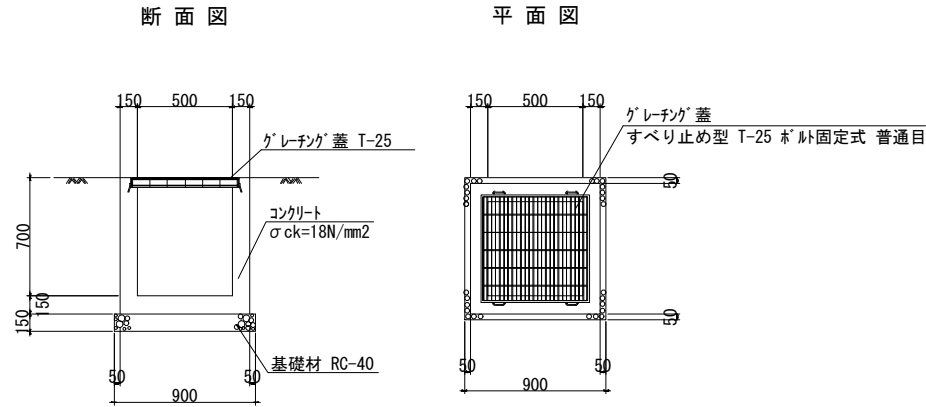
名称	基礎材 RC-40			側溝	摘要
	敷モルタル 1:3	式	個		
プラスチック型側溝(8)	6.5	1.0	16.5		(再利用)134kg/個

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	復旧構造図(2)(花島地区)		
縮尺	1:10	図面番号	6 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

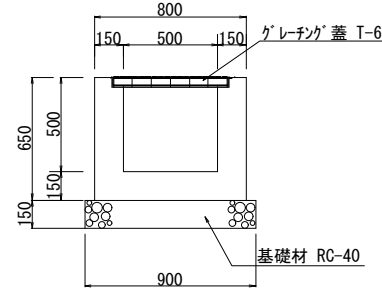
復旧構造図(3) S=1:20 (花鳥地区)

現場打ち集水樹 S=1:20
500×500×700
(グレーチング蓋)



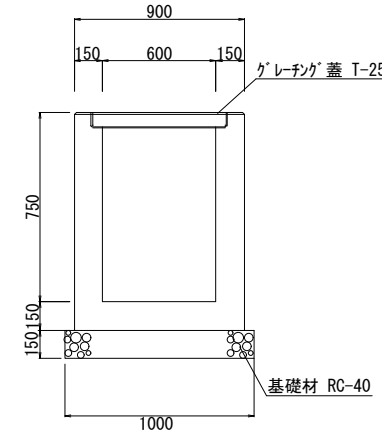
名称	コンクリート	型枠	基礎材	蓋	摘要
	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ m ³				
現場打ち集水樹	0.37	1.0	0.8	1.0	500×500×700

プレキャスト集水樹(1)
500×500×500
(グレーチング蓋)



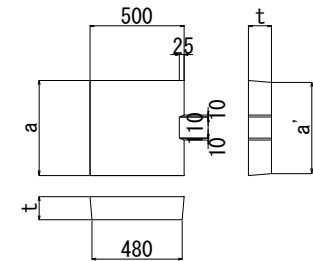
名称	基礎材	蓋	摘要
	RC-40 m ²	グレーチング 枚	
プレキャスト集水樹(1)	0.8	1.0	(再利用)684.0kg/基 グレーチング蓋参考重量: 39.4kg/枚(再利用)

プレキャスト集水樹(2)
600×600×750
(グレーチング蓋)

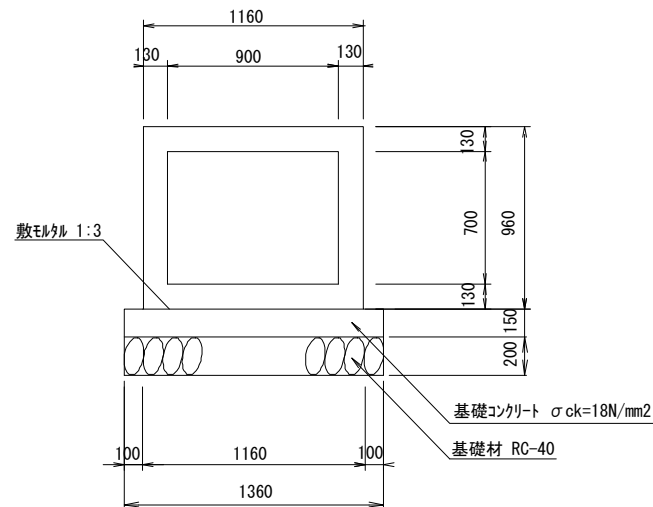


名称	基礎材	蓋	摘要
	RC-40 m ²	グレーチング 枚	
プレキャスト集水樹(2)	1.0	1.0	(再利用)908.3kg/基 グレーチング蓋参考重量: 69.2kg/枚(再利用)

コンクリート蓋
(自由勾配側溝)

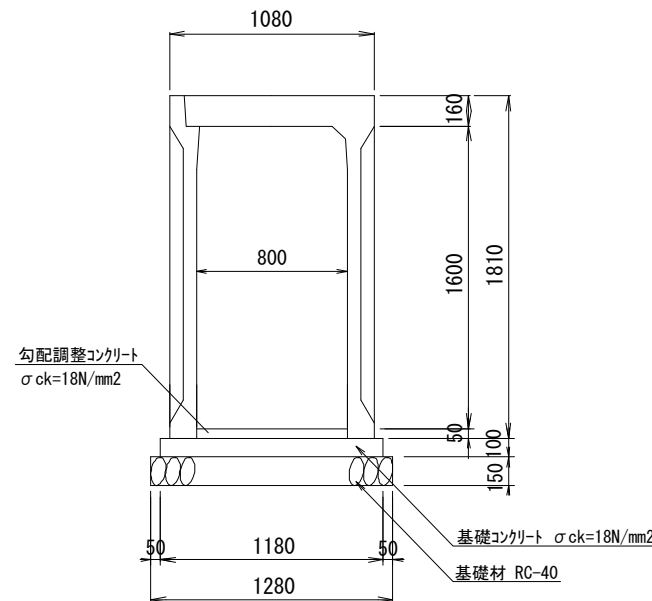


プレキャストボックス
900×700×2000



名称	基礎材	型枠	基礎コンクリート	敷モルタル	プレキャストボックス	摘要
	RC-40 m ²		$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ m ³		1:3 式	
プレキャストボックス	13.6	1.0	2.04	1.0	5.0	(再利用)2,520kg/個

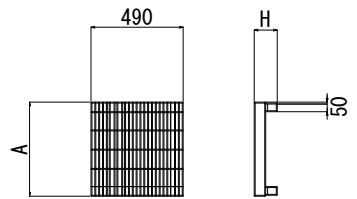
自由勾配側溝
800×1600



名称	基礎材	型枠	基礎コンクリート	勾配調整コンクリート	自由勾配側溝	蓋	蓋	摘要
	RC-40 m ²		$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ m ³	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ m ³	個	コンクリート 枚	グレーチング 枚	
自由勾配側溝	12.8	1.0	1.18	0.4	5.0	8.0	2.0	(再利用)1,942kg/個

名称	寸法(mm)			参考重量(kg)	数量	摘要
	a	a'	t			
800用	920	900	95	165.0/枚	8枚(4組)	(再利用)

グレーチング蓋
(自由勾配側溝)



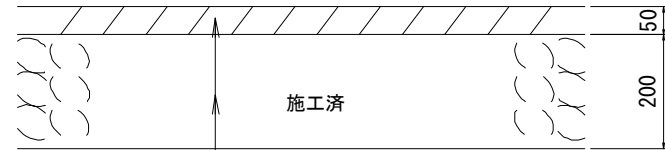
名称	寸法(mm)		参考重量(kg)	数量	備考	摘要
	A	H				
800用	920	95	63.0/枚	2枚(1組)	普通目	(再利用)

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	復旧構造図(3)(花鳥地区)		
縮尺	1:20	図面番号	7 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

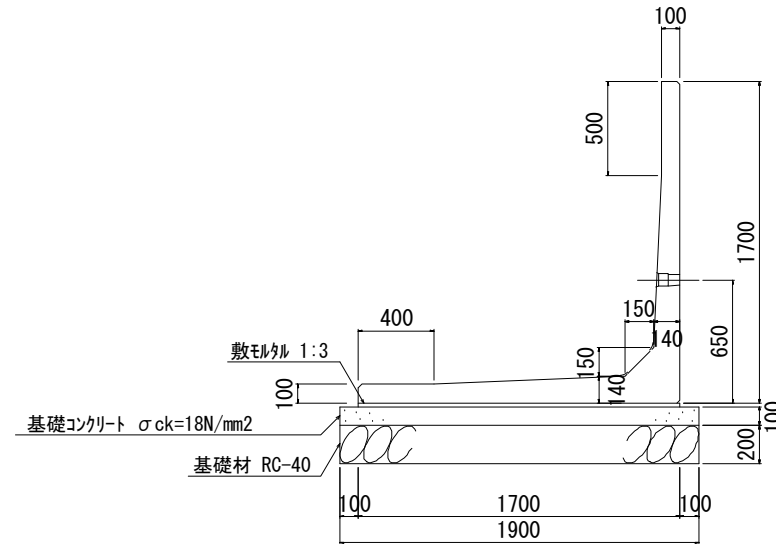
復旧構造図(4) (花島地区)

舗装構成図 S=1:10



表層	再生密粒度アスファルト混合物 (20) t=50mm
プライムコート	PK-3
不陸整正	
下層路盤	再生クラッシャーラン RC-40 t=200mm (施工済)

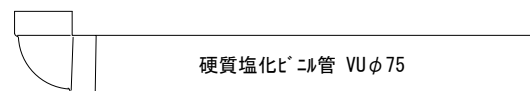
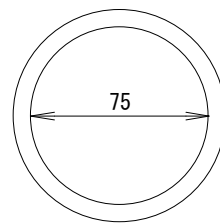
プレキャスト擁壁
H=1700 S=1:30



材料表 10m当り

名称	基礎材	型枠	基礎コンクリート	敷モルタル	プレキャスト型擁壁	摘要
	RC-40 m ²	式	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ m ³	1:3 式	個	
プレキャスト型擁壁	19.0	1.0	1.9	1.0	5.0	(再利用)

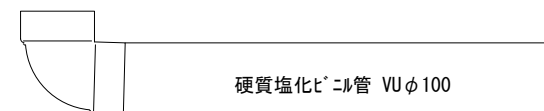
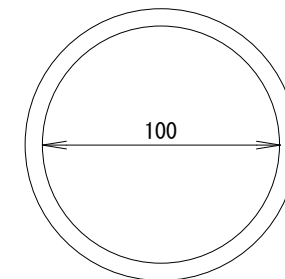
暗渠排水管(1) S=1:20
VUφ75



材料表 10m当り

項目	規格	単位	数量	摘要
暗渠排水管(1)	VU φ75	m	10.0	

暗渠排水管(2) S=1:20
VUφ100



材料表 10m当り

項目	規格	単位	数量	摘要
暗渠排水管(2)	VU φ100	m	10.0	

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

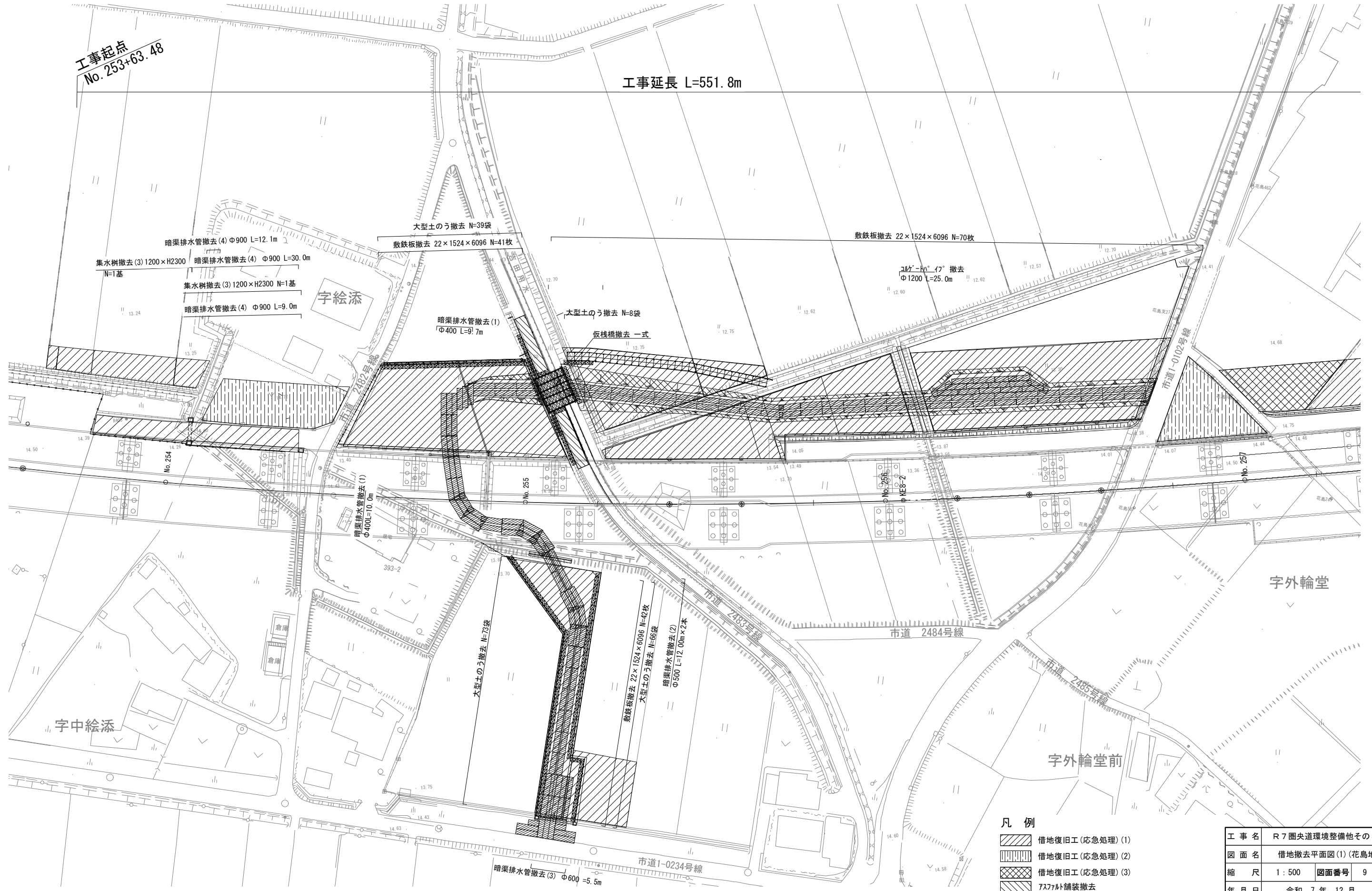
工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	復旧構造図(4)(花島地区)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

借地撤去平面図(1) S=1:500

(花鳥地区)

工事延長 L=551.8m

工事起点
No. 253+63.48



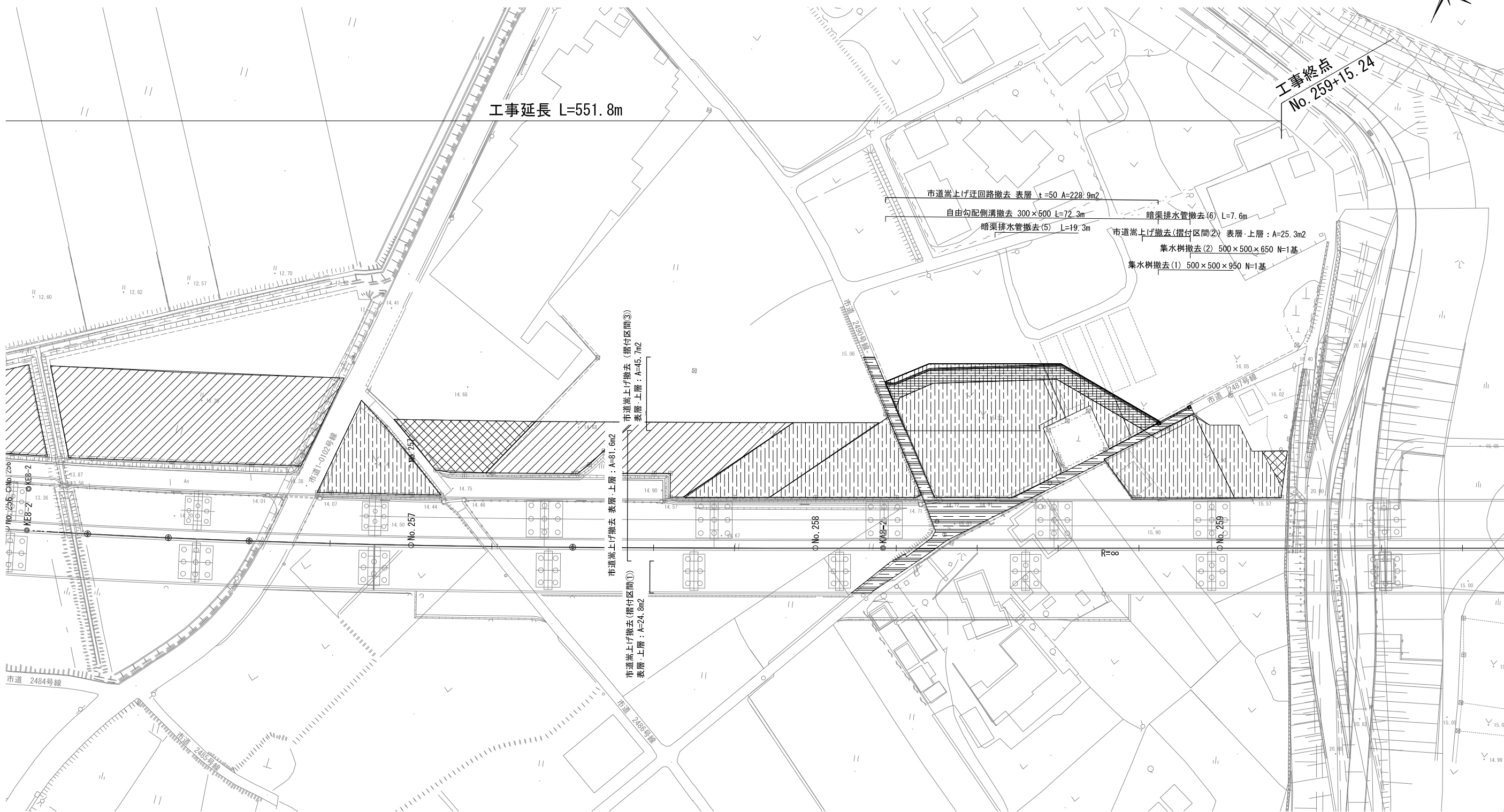
- 凡例
- 借地復旧工(応急処理) (1)
 - 借地復旧工(応急処理) (2)
 - 借地復旧工(応急処理) (3)
 - アスファルト舗装撤去

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	借地撤去平面図(1)(花鳥地区)		
縮尺	1:500	図面番号	9 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

借地撤去平面図(2) S=1:500

(花鳥地区)



- 凡例**
- 市道迂回路嵩上げ撤去
 - 市道嵩上げ撤去

- 凡例**
- 借地復旧工(応急処理)(1)
 - 借地復旧工(応急処理)(2)
 - 借地復旧工(応急処理)(3)

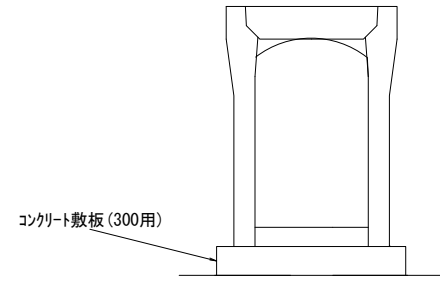
工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	借地撤去平面図(2)(花鳥地区)		
縮尺	1:500	図面番号	10 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

撤去構造図(1)

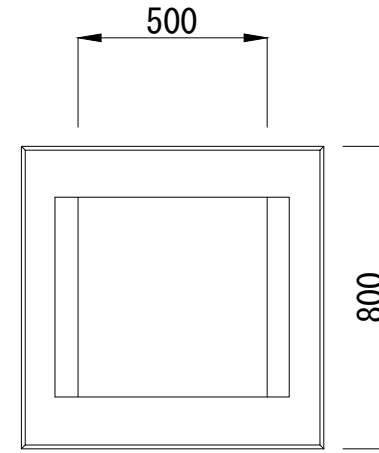
(花島地区)

自由勾配側溝撤去 300×500 S=NON

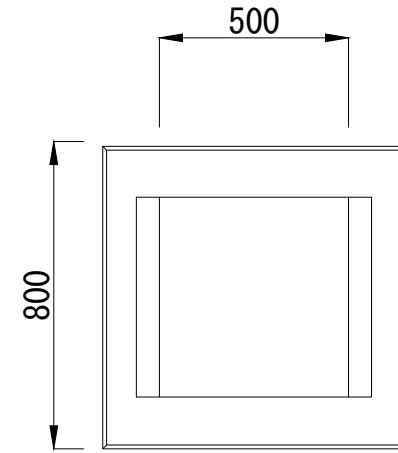


数量表			10m当り
名称	規格	数量	
コンクリート構造物取壊し	有筋	1.8	m ³

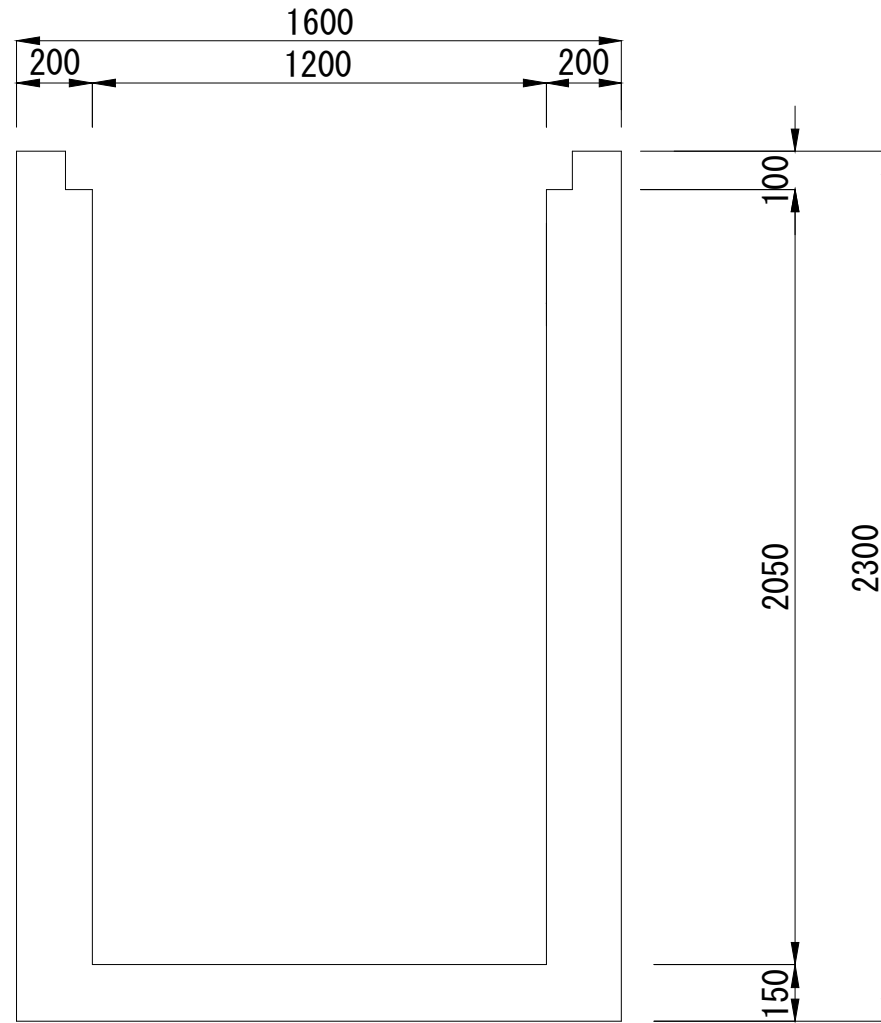
集水柵撤去(1) 500×500×650 S=1:20



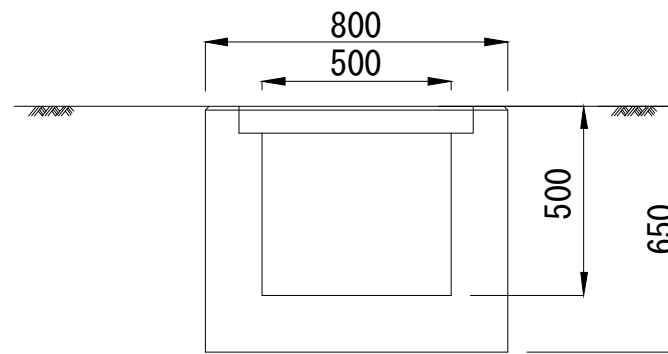
集水柵撤去(2) 500×500×950 S=1:20



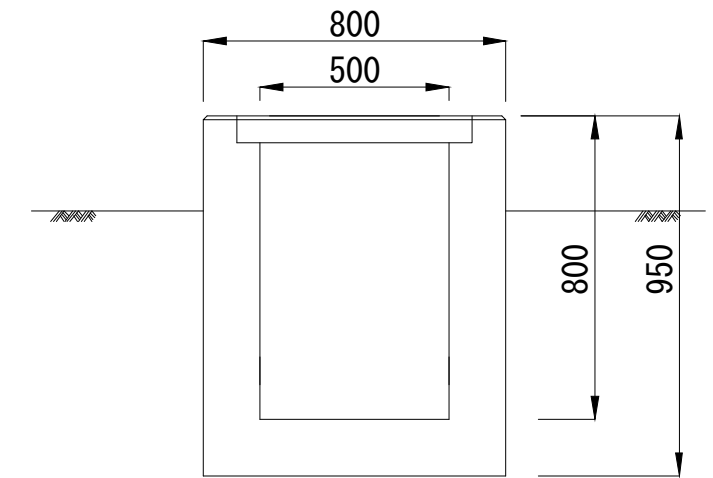
集水柵撤去(3) 1200×2300 S=1:20



数量表			1箇所当り
名称	規格	数量	
コンクリート構造物取壊し	有筋	2.8	m ³



数量表			1箇所当り
名称	規格	数量	
コンクリート構造物取壊し	無筋	0.3	m ³



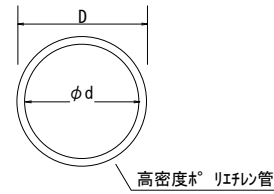
数量表			1箇所当り
名称	規格	数量	
コンクリート構造物取壊し	無筋	0.4	m ³

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	撤去構造図(1)(花島地区)		
縮尺	図示	図面番号	11 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

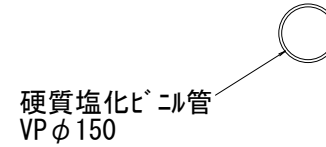
撤去構造図(2) S=1:20 (花島地区)

暗渠排水管撤去(1)~(4) S=1:10
高密度ポリエチレン管



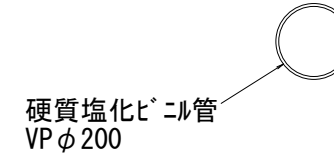
数量表		10m当り	
名称	規格	数量	摘要
高密度ポリエチレン管(1)	φ400	10.0	
高密度ポリエチレン管(2)	φ500	10.0	
高密度ポリエチレン管(3)	φ600	10.0	
高密度ポリエチレン管(4)	φ900	10.0	

暗渠排水管撤去(5) S=1:20
硬質塩化ビニル管 VP φ150



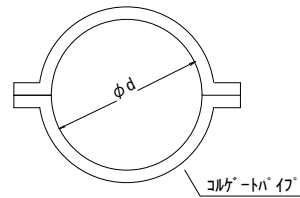
数量表		10m当り	
名称	規格	数量	摘要
硬質塩化ビニル管	VP φ150	10.0	

暗渠排水管撤去(6) S=1:20
硬質塩化ビニル管 VP φ200



数量表		10m当り	
名称	規格	数量	摘要
硬質塩化ビニル管	VP φ200	10.0	

コレクターパイプ撤去 S=1:10
φ1200



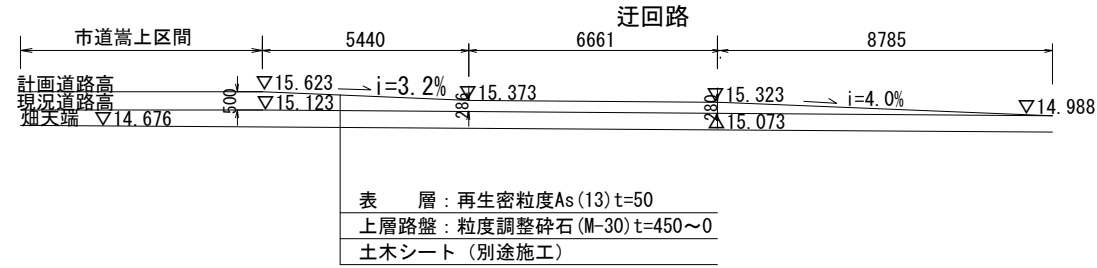
数量表		10m当り	
名称	規格	数量	摘要
コレクターパイプ	φ1200	10.0	

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

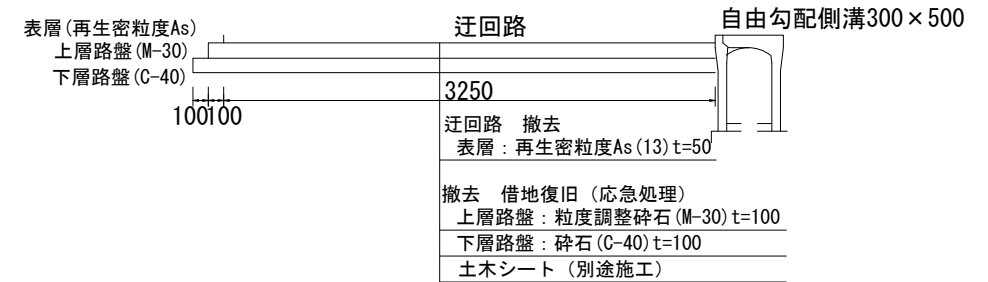
工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	撤去構造図(2)(花島地区)		
縮尺	図示	図面番号	12 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

撤去構造図(3) S=1:100 (花島地区)

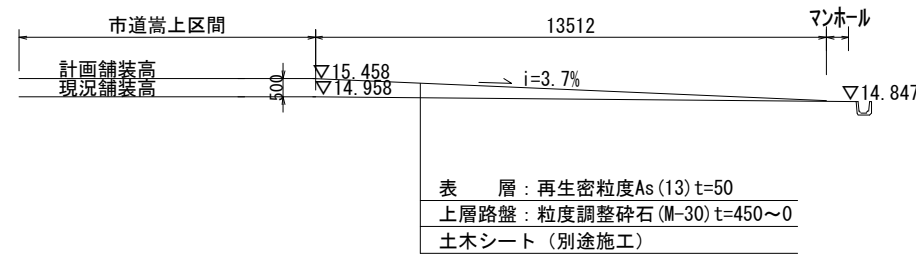
市道摺付区間①撤去



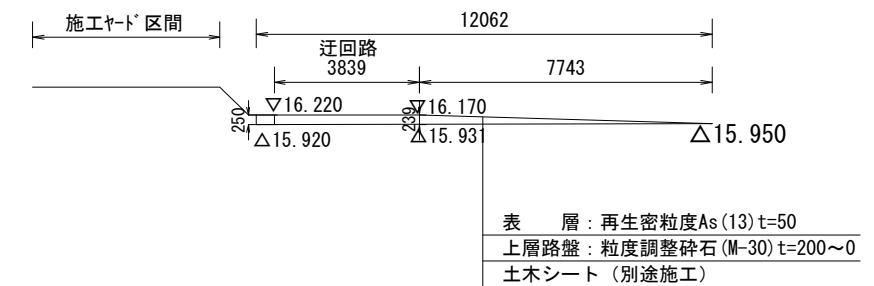
市道迂回路撤去



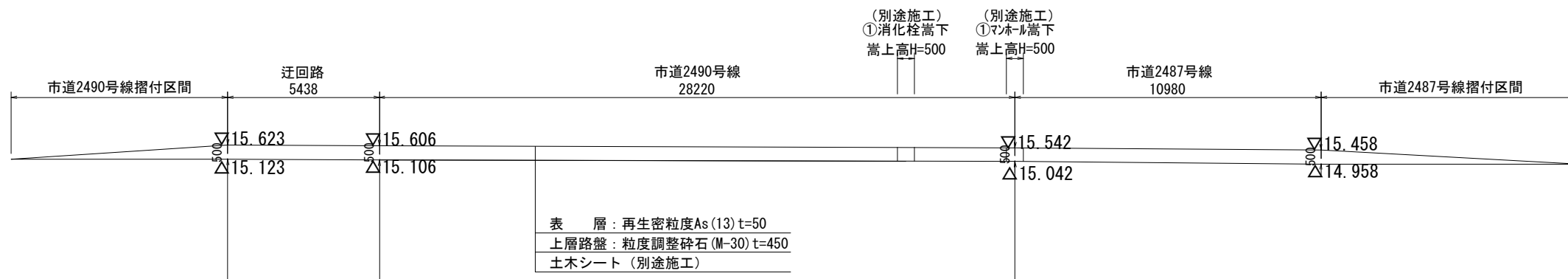
市道摺付区間②撤去



市道摺付区間③撤去



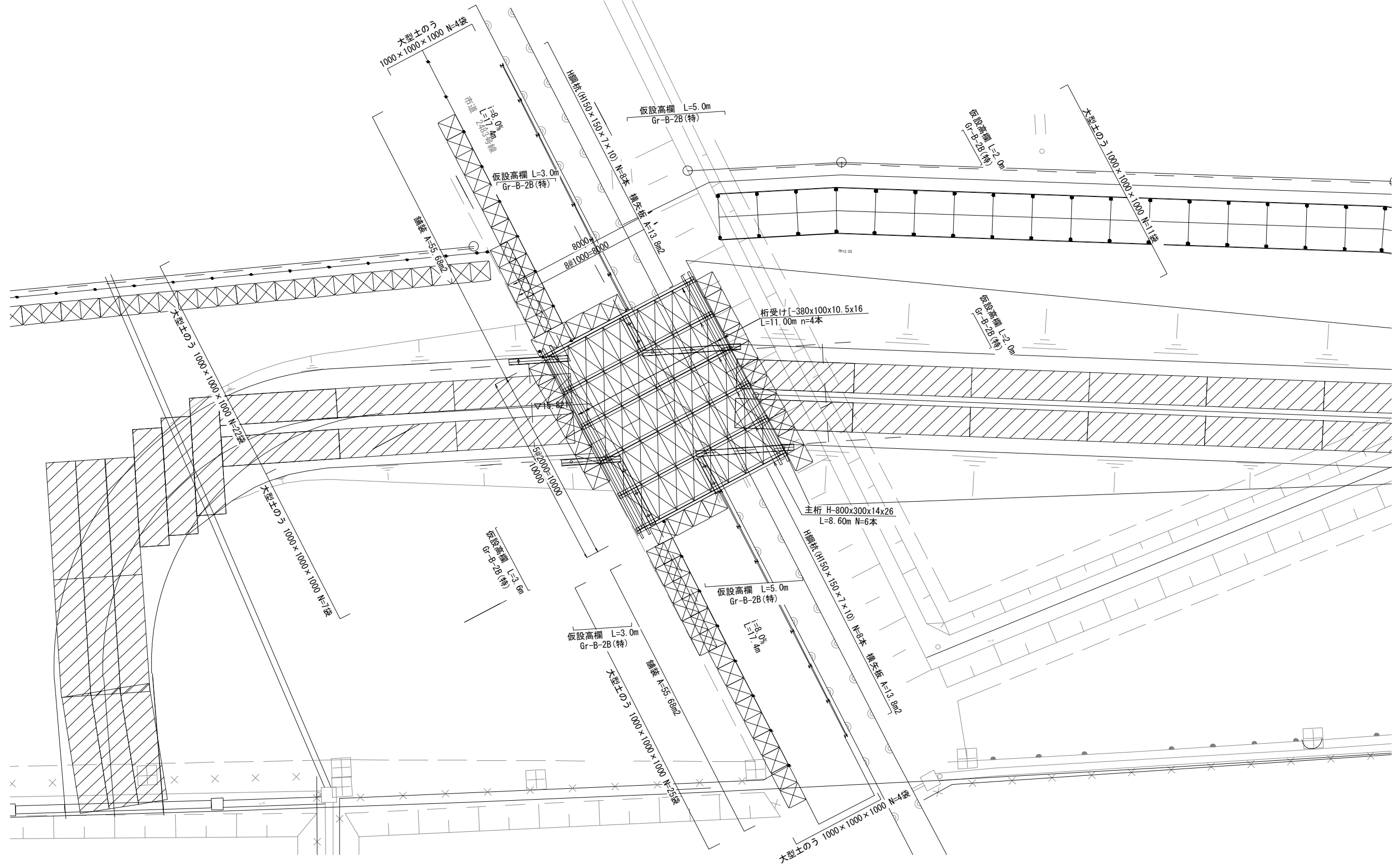
市道嵩上 撤去



工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	撤去構造図(3)(花島地区)		
縮尺	1:100	図面番号	13 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工所用仮栈橋撤去一般図(1) S=1:100 (花島地区)



工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	工所用仮栈橋撤去一般図(1)(花島地区)		
縮尺	1:100	図面番号	14 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

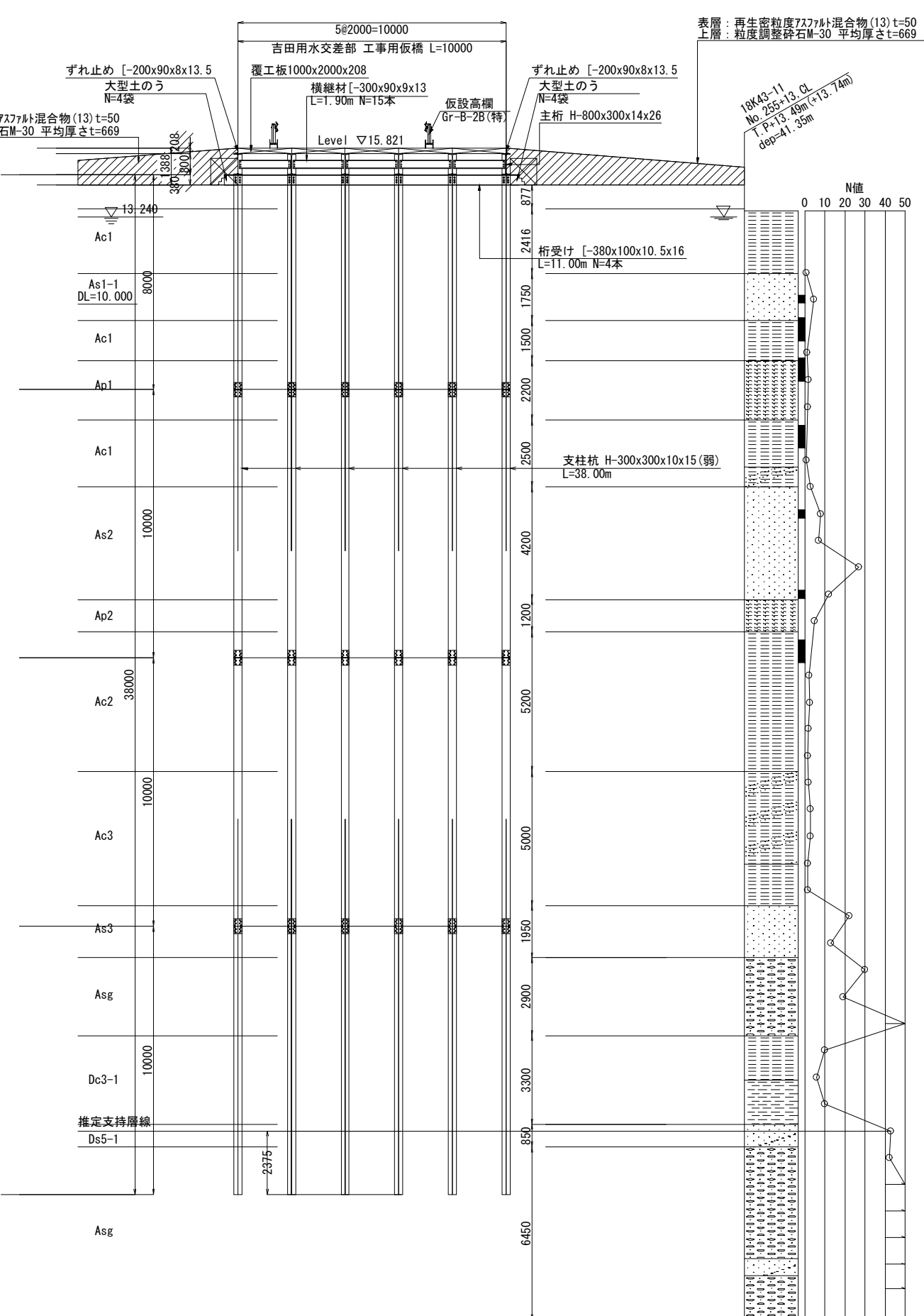
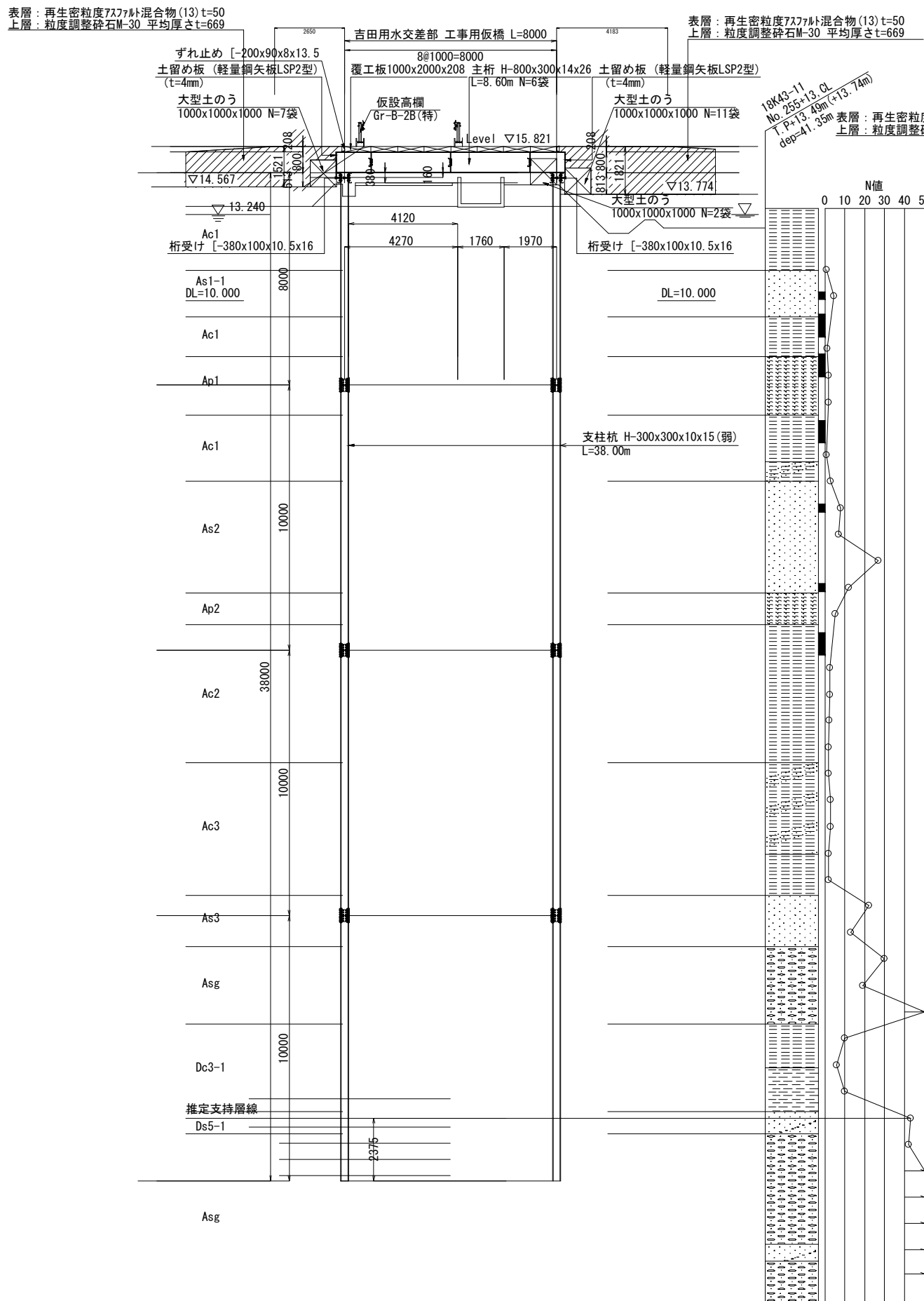
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工所用仮橋撤去一般図(2) S=1:100

(花鳥地区)

側面図

断断図



本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

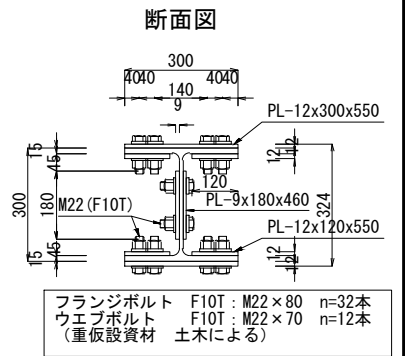
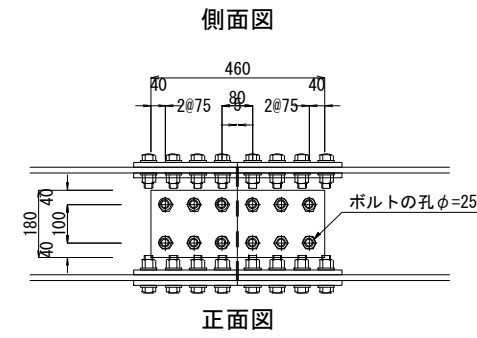
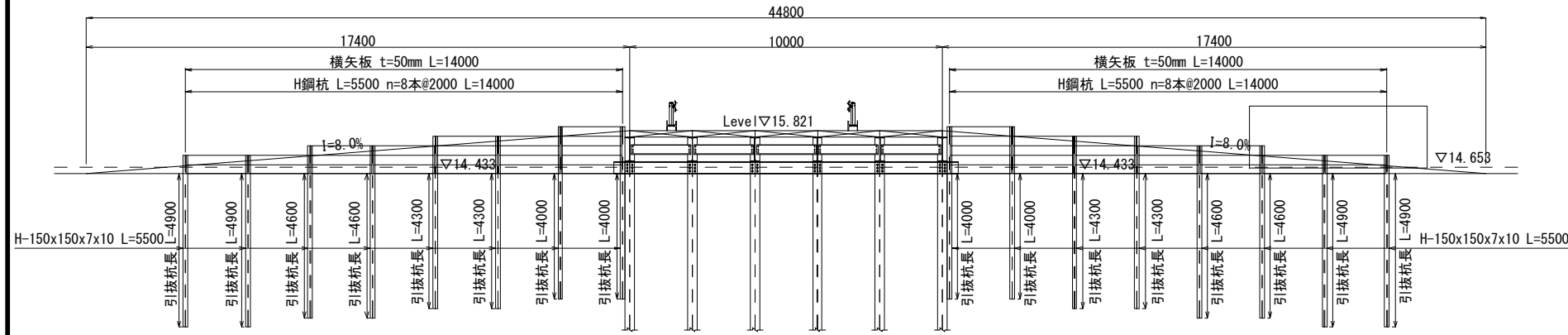
工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	工所用仮橋撤去一般図(2)(花鳥地区)		
縮尺	1:100	図面番号	15 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

工所用仮橋撤去一般図(3)

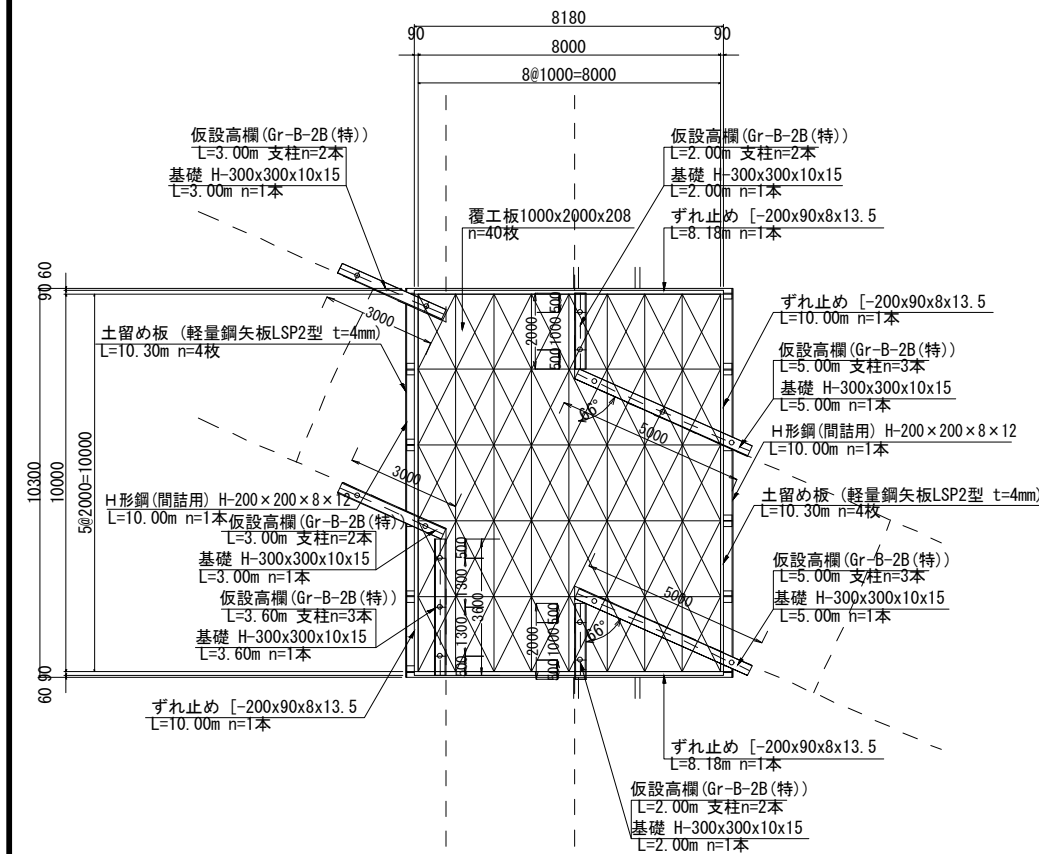
支持杭継手詳細図 S=1:10
H-300x300x10x15

市道縦断図 S=1:100

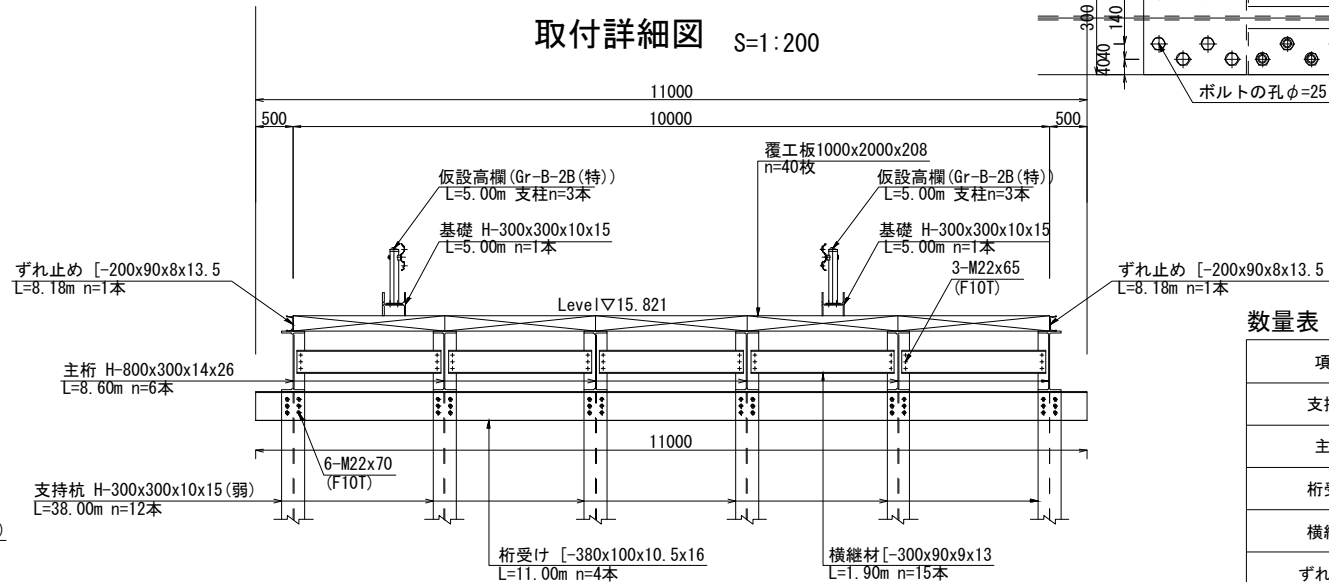
(花島地区)



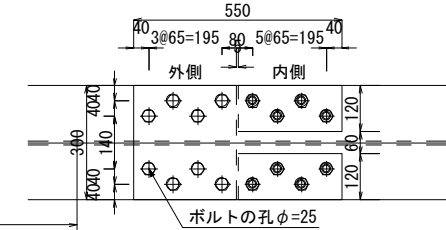
覆工板・地覆配置図 S=1:100



取付詳細図 S=1:200



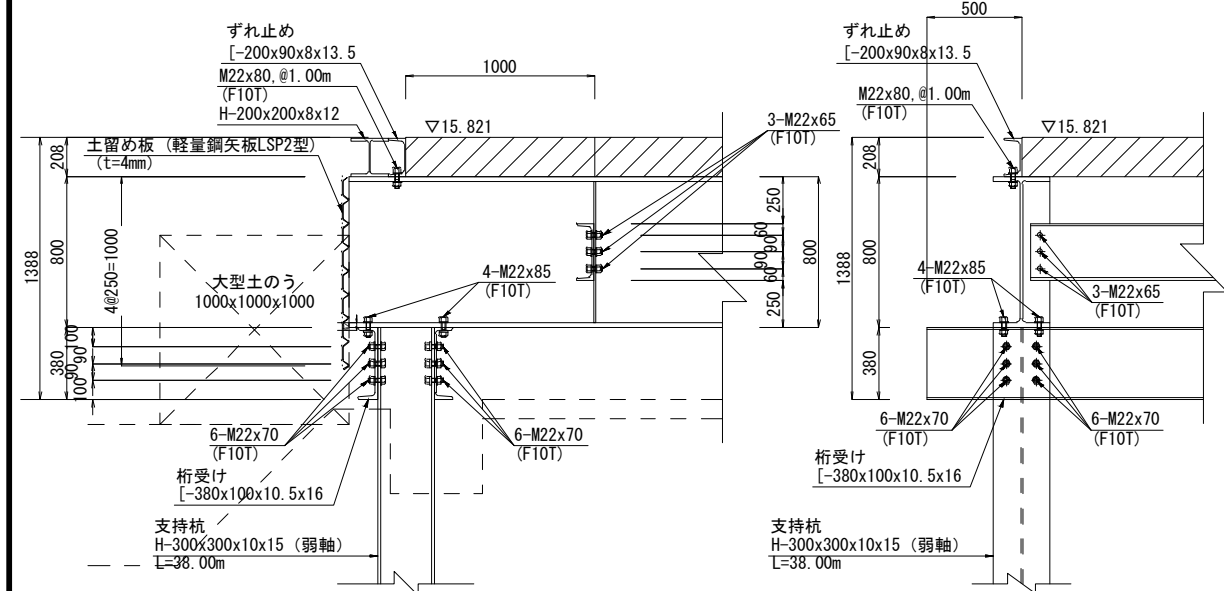
スチフナー詳細図 S=1:20 (H-800用)



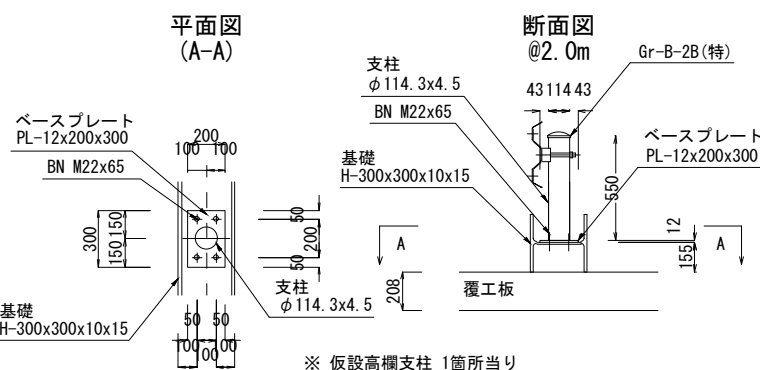
数量表

項目	規格	単位	数量	備考
支持杭	H300×300×10×15 L=38.0m 12本	t	42.40	3箇所継杭 3,534kg/本
主桁	H800×300×14×26 L=8.6m 6本	t	10.68	
桁受け	[-380×100×10.5×16 L=11.0m 4本	t	2.39	
横継材	[-300×90×9×13 L=1.9m 15本	t	1.08	
ずれ止め	[-200×90×8×13.5 L=10.0m 2本 L=8.18m 2本	t	1.10	
土留め板	軽量鋼矢板 LSP-2 L=10.3m 8本	t	1.18	
H形鋼 (間詰用)	H200×200×8×12 L=6.0m 4本 L=4.0m 4本	t	0.99	
スチフナー-PL	10.07kg/枚 30枚	t	0.30	
横継材* 1本	F10T M22×65	組	90	
桁受け* 1本	F10T M22×70	組	144	
主桁* 1本	F10T M22×85	組	48	
覆工板	1000×2000×208 40枚	m ²	80	212kg/m ²
覆工板 セフィキャップ		個	160	
仮設高欄	Gr-B-2B(特)	m	23.6	
仮設高欄基礎	H300×300×10×15	m	23.6	
H鋼杭	H-150x150x7x10 L=5500	本	16	171kg/本
横矢板 (木材)	2000×300×50	枚	46	27.6m ²

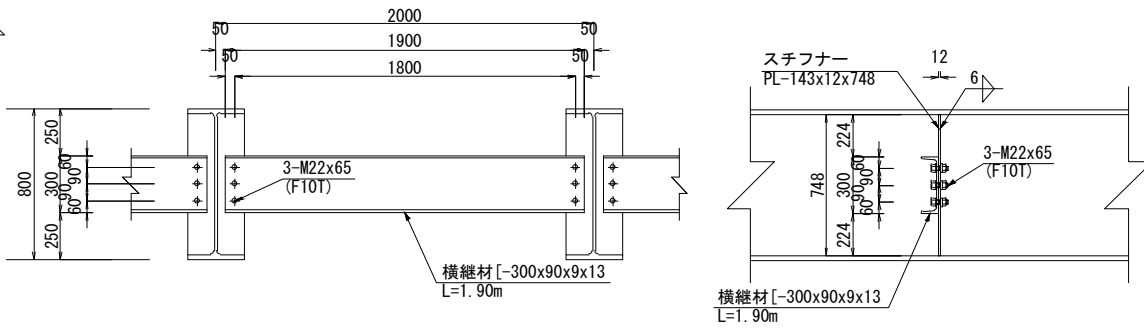
杭頭詳細図 S=1:20



仮設高欄詳細図 S=1:20



横継材詳細図 S=1:20



本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	工所用仮橋撤去一般図(3)(花島地区)		
縮尺	図示	図面番号	16 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都圏事務所		

数量総括表(1)

(花鳥地区)

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	摘要
道路改良(花鳥地区)		式	1	
舗装工		式	1	
舗装準備工		式	1	
不陸整正	補足材無し	m2	1,010	
アスファルト舗装工		式	1	
表層(車道・路肩部)	再生密粒度7スコン(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2	1,010	
擁壁工		式	1	
作業土工		式	1	
床掘り	土砂 標準	式	1	施工数量 240m3
埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	式	1	施工数量 160m3
基面整正		式	1	施工数量 62m2
プレキャスト擁壁工		式	1	
プレキャスト擁壁	幅1.7m H=1.7m 再利用	m	33	
カーポート工		式	1	
作業土工		式	1	
床掘り	土砂 標準	式	1	施工数量 10m3
埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	式	1	施工数量 10m3
基面整正		式	1	施工数量 6m2
プレキャストカーポート工		式	1	
プレキャストボックス	内幅 0.9m 内高 0.7m 再利用	m	5	
排水構造物工		式	1	
作業土工		式	1	
床掘り(1)	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	式	1	施工数量 400m3
床掘り(2)	土砂 標準	式	1	施工数量 180m3
埋戻し(1)	土砂 最大埋戻幅1m未満	式	1	施工数量 260m3
埋戻し(2)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	式	1	施工数量 140m3
基面整正		式	1	施工数量 290m2
土砂等運搬(現場～大輪SY)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式	1	施工数量 70m3
整地	残土受け入れ地での処理	式	1	施工数量 70m3
側溝工		式	1	
プレキャストU型側溝(1)	PU1-300×300×2000 コンクリート蓋 再利用	m	41	
プレキャストU型側溝(2)	PU1-300×300×2000 再利用	m	155	
プレキャストU型側溝(3)	PU1-300×300×2000	m	24	
プレキャストU型側溝(4)	PU2-300×300×2000 再利用	m	48	
プレキャストU型側溝(5)	PU2-300×500×2000 再利用	m	39	

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	摘要
プレキャストU型側溝(6)	KUR-300×300×2000 グレチング蓋 車道横断用 再利用	m	12	
プレキャストU型側溝(7)	KUR-300×300×2000 コンクリート蓋 再利用	m	95	
プレキャストU型側溝(8)	PU1-450×450×600 再利用	m	52	
自由勾配側溝	800×1600×2000 コンクリート蓋 グレチング蓋 再利用	m	29	
管渠工		式	1	
暗渠排水管(1)	据付 直管 VUφ75	m	1	
暗渠排水管(2)	据付 直管 VUφ100	m	8	
集水樹・マンホール工		式	1	
現場打ち集水樹	500×500×700 グレチング蓋 現場打材 18-8-25(20) 高炉(W/C指定なし) 法面作業補正無	箇所	1	
プレキャスト集水樹(1)	500×500×500 グレチング蓋 再利用	箇所	3	
プレキャスト集水樹(2)	600×600×750 グレチング蓋 再利用	箇所	4	
防護柵工		式	1	
防止柵工		式	1	
立入防止柵(1)	H=1.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO仕様 再利用	m	162	
立入防止柵(2)	H=1.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO仕様	m	178	
立入防止柵(3)	H=1.5m 支柱間隔2m 基礎ブロック NEXCO仕様 再利用	m	257	
立入防止柵(4)	H=1.0m 支柱間隔2m 基礎ブロック マッシュフェンス 再利用	m	39	
防草対策工		式	1	
防草対策工		式	1	
防草シート	改質アスファルト系 W=2.0m	m2	461	
構造物撤去工		式	1	
作業土工		式	1	
床掘り(1)	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	式	1	施工数量 20m3
床掘り(2)	土砂 標準	式	1	施工数量 200m3
床掘り(3)	土砂	式	1	施工数量 30m3
埋戻し(1)	土砂 最大埋戻幅1m未満	式	1	施工数量 20m3
埋戻し(2)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	式	1	施工数量 320m3
構造物取壊し工		式	1	
コンクリート構造物取壊し(1)	無筋構造物 機械施工	m3	0.7	
コンクリート構造物取壊し(2)	鉄筋構造物 機械施工	m3	18	

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	数量総括表(1)(花鳥地区)		
縮尺	—	図面番号	17 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	—		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

数量総括表(2) (花島地区)

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	摘要
排水構造物撤去工		式	1	
暗渠排水管撤去(1)	撤去 高密度ポリエチレン管φ400	m	19	
暗渠排水管撤去(2)	撤去 高密度ポリエチレン管φ500	m	24	
暗渠排水管撤去(3)	撤去 高密度ポリエチレン管φ600	m	5	
暗渠排水管撤去(4)	撤去 高密度ポリエチレン管φ900	m	51	
暗渠排水管撤去(5)	撤去 VPφ150	m	19	
暗渠排水管撤去(6)	撤去 VPφ200	m	7	
コルク・トハ・イフ 撤去	撤去 φ1200	m	25	
市道嵩上げ撤去工		式	1	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m ²	400	
掘削	M-30	m ³	70	
土砂等運搬(現場～大輪SY)	M-30	m ³	70	
整地	残土受け入れ地での処理	m ³	70	
運搬処理工		式	1	
殻運搬(1)	コンクリート殻(無筋)	m ³	0.7	
殻運搬(2)	コンクリート殻(鉄筋)	m ³	18	
殻運搬(3)	アスファルト殻(掘削材)	m ³	20	
殻処分(1)	コンクリート殻(無筋)	m ³	0.7	
殻処分(2)	コンクリート殻(鉄筋)	m ³	18	
殻処分(3)	アスファルト殻(掘削材)	m ³	20	
礫分別工		式	1	
礫分別		m ³	3,100	
積込(ルース)	C-40、ふるい分け土	m ³	3,100	
土砂等運搬(1)(現場～大輪SY)	C-40	m ³	1,030	
土砂等運搬(2)(場内運搬)	ふるい分け土	m ³	2,070	
整地(1)	残土受け入れ地での処理 C-40	m ³	1,000	
整地(2)	敷均し(ルース) ふるい分け土	m ³	2,000	
借地復旧工		式	1	
借地復旧工(応急処理)(1)	田	式	1	
借地復旧(応急処理)	労務合計 397人等	式	1	
借地復旧工(応急処理)(2)	畑	式	1	
借地復旧(応急処理)	労務合計 302人等	式	1	
借地復旧工(応急処理)(3)	その他	式	1	
借地復旧(応急処理)	労務合計 14人等	式	1	

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	摘要
仮設工		式	1	
工事用道路工		式	1	
敷鉄板	22×1,524×6,096(mm) 撤去	m ²	1,421	
土のう	大型土のう撤去	袋	186	
積込(ルース)	大型土のう中詰め材	m ³	150	
土砂等運搬(現場～大輪SY)	大型土のう中詰め材	m ³	150	
整地	残土受け入れ地での処理	m ³	150	
仮橋・仮棧橋工		式	1	
橋脚	H300×300×10×15 撤去	t	42	
仮橋上部	撤去	t	17.7	
覆工板設置・撤去[仮橋・仮棧橋]	1000×2000×208 撤去	m ²	80	
仮設高欄	ガードレール型 撤去	m	23	
H鋼杭	H150×150×7×10 撤去	本	16	
横矢板	木材 横矢板厚さ 50mm 撤去	m ²	27	
土のう	大型土のう撤去	袋	73	
積込(ルース)	大型土のう中詰め材	m ³	60	
土砂等運搬(現場～大輪SY)	M-30、大型土のう中詰め材	m ³	130	
整地	残土受け入れ地での処理	m ³	130	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m ²	110	
掘削	M-30	m ³	70	
殻運搬	アスファルト殻(掘削材)	m ³	5	
木材運搬	横矢板	m ³	1	
殻処分	アスファルト殻(掘削材)	m ³	5	
木材処分	横矢板	m ³	1	
交通管理工		式	1	
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	式	1	173人日

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	数量総括表(2)(花島地区)		
縮尺	—	図面番号	18 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	—		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

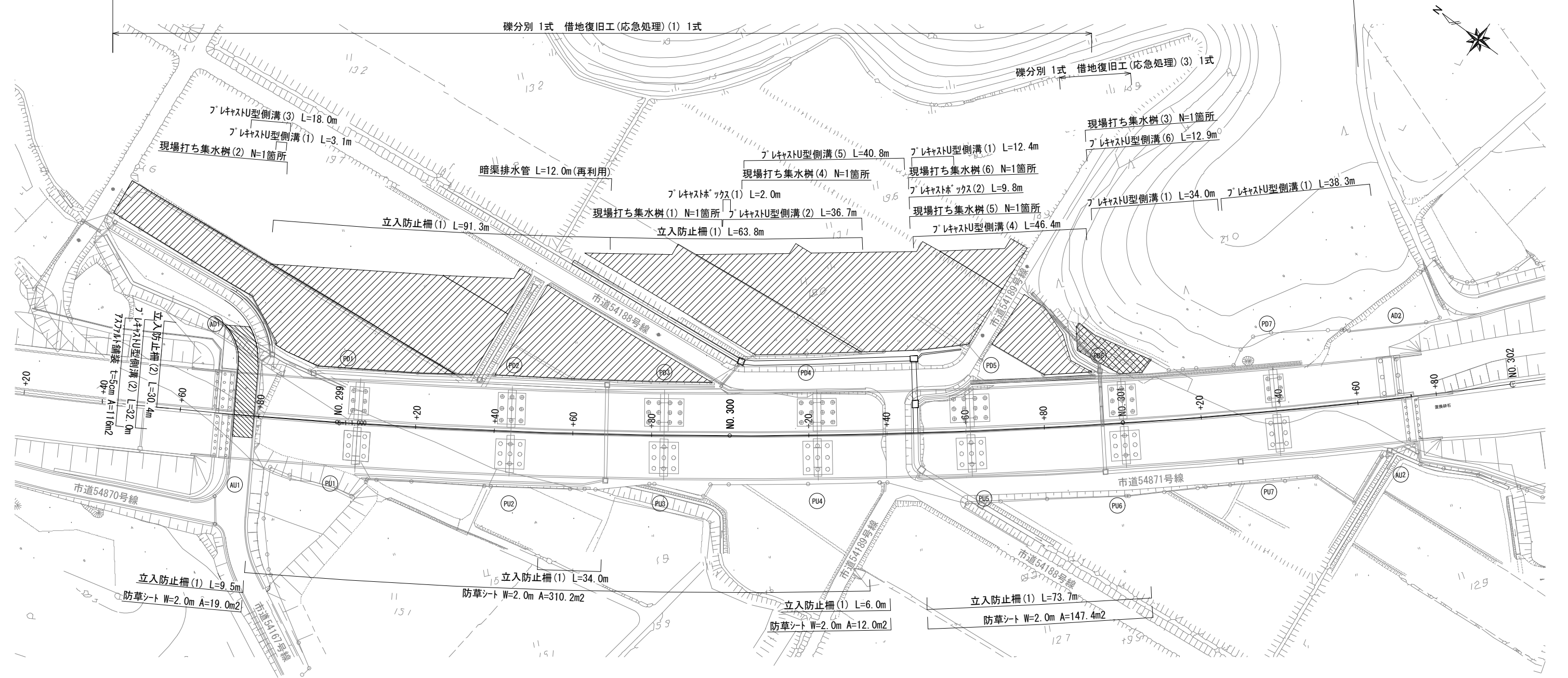
借地復旧平面図

(高須賀地区) S=1:500

工事起点
No. 298+38.0

工事延長 L=331.6m

工事終点
No. 301+69.6



凡例

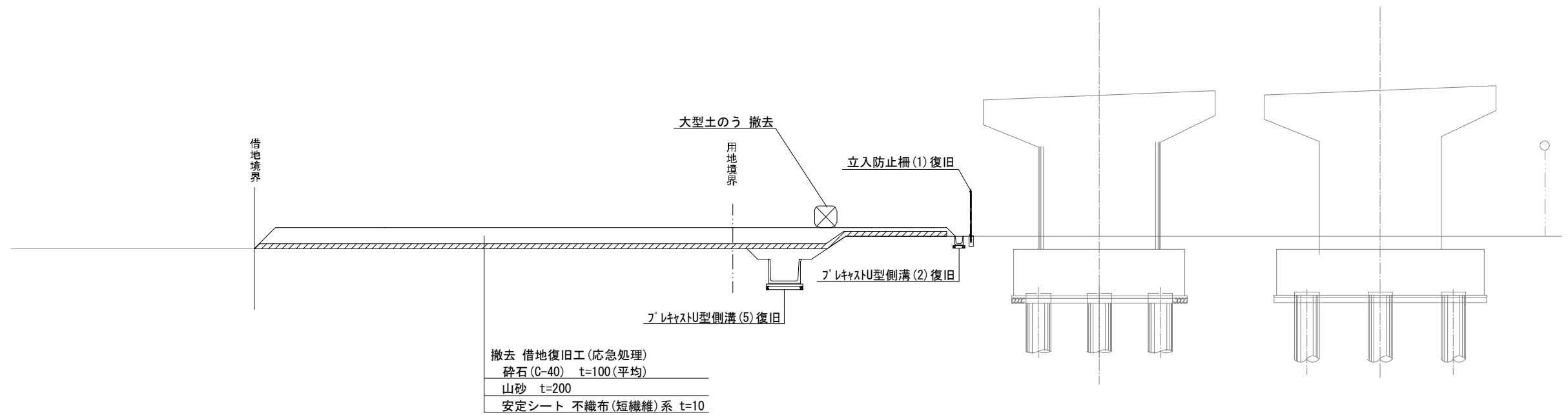
- 借地復旧工 (応急処理) (1)
- 借地復旧工 (応急処理) (3)
- 757mm舗装

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	借地復旧平面図(高須賀地区)		
縮尺	1:500	図面番号	19 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

借地復旧標準横断図 S=1:100

(高須賀地区)



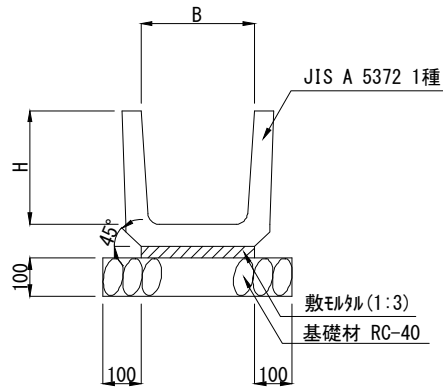
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R7 圏央道環境整備他その5 工事		
図面名	借地復旧標準横断図 (高須賀地区)		
縮尺	1:100	図面番号	20 / 29
年月日	令和 7 年 12 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

復旧構造物(1)

(高須賀地区)

プラスチックU型側溝(1) S=1:10
300×300×2000
(輪荷重なし)



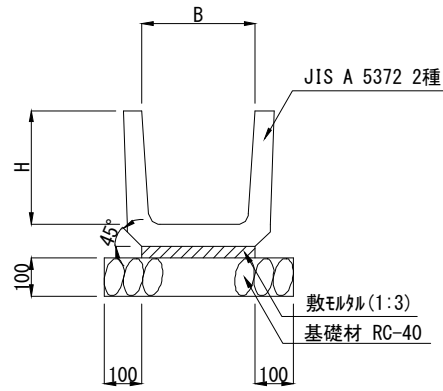
寸法表

名称	B	H	L
プラスチックU型側溝(1)	300	300	2000

材料表 (10m当り)

名称	基礎材	敷モルタル	側溝	摘要
	RC-40	1:3	側溝	
	m ²	式	個	
プラスチックU型側溝(1)	5.0	1.0	5.0	

プラスチックU型側溝(2) S=1:10
300×300×2000
(輪荷重あり)



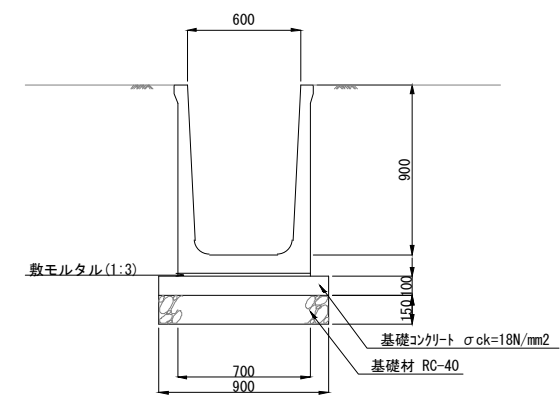
寸法表

名称	B	H	L
プラスチックU型側溝(2)	300	300	2000

材料表 (10m当り)

名称	基礎材	敷モルタル	側溝	摘要
	RC-40	1:3	側溝	
	m ²	式	個	
プラスチックU型側溝(2)	5.0	1.0	5.0	

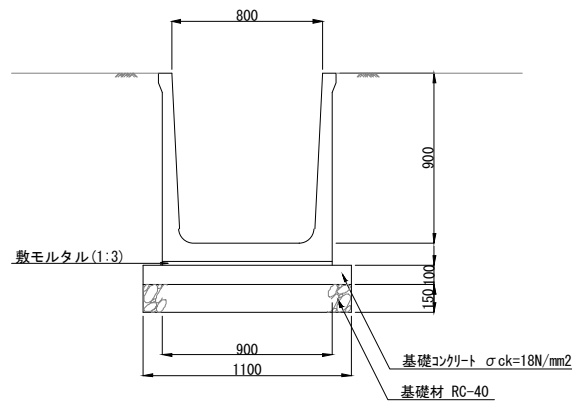
プラスチックU型側溝(3) S=1:20
600×900×2000



材料表

名称	基礎コンクリート	型枠	基礎材	敷モルタル	側溝	摘要
	σ _{ck} =18N/mm ²	式	RC-40	1:3	B600×H900	
	m ³	式	m ²	式	本	
プラスチックU型側溝(3)	0.90	1.0	9.0	1.0	5.0	

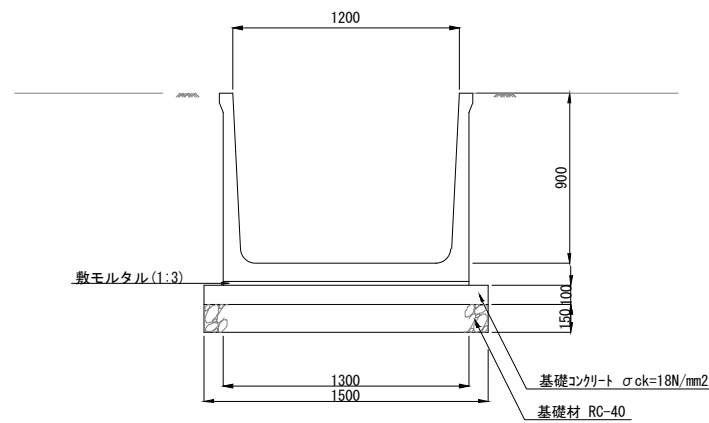
プラスチックU型側溝(4) S=1:20
800×900×2000



材料表 (10m当り)

名称	基礎コンクリート	型枠	基礎材	敷モルタル	側溝	摘要
	σ _{ck} =18N/mm ²	式	RC-40	1:3	B800×H900	
	m ³	式	m ²	式	本	
プラスチックU型側溝(4)	1.10	1.0	11.0	1.0	5.0	

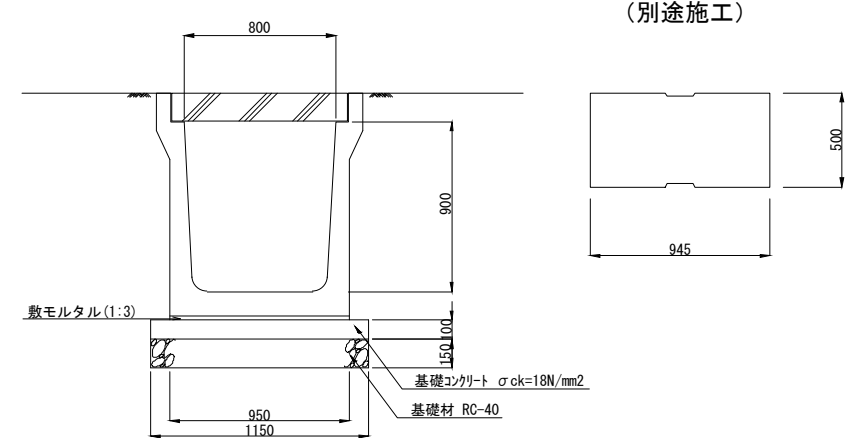
プラスチックU型側溝(5) S=1:20
1200×900×2000



材料表 (10m当り)

名称	基礎コンクリート	型枠	基礎材	敷モルタル	側溝	摘要
	σ _{ck} =18N/mm ²	式	RC-40	1:3	B1200×H900	
	m ³	式	m ²	式	本	
プラスチックU型側溝(5)	1.50	1.0	15.0	1.0	5.0	

プラスチックU型側溝(6) S=1:20
800×900×2000
車道用



材料表 (10m当り)

名称	基礎コンクリート	型枠	基礎材	敷モルタル	側溝	蓋	摘要
	σ _{ck} =18N/mm ²	式	RC-40	1:3	B800×H900	コンクリート蓋	
	m ³	式	m ²	式	本	枚	
プラスチックU型側溝(6)	1.15	1.0	11.5	1.0	5.0	20.0	

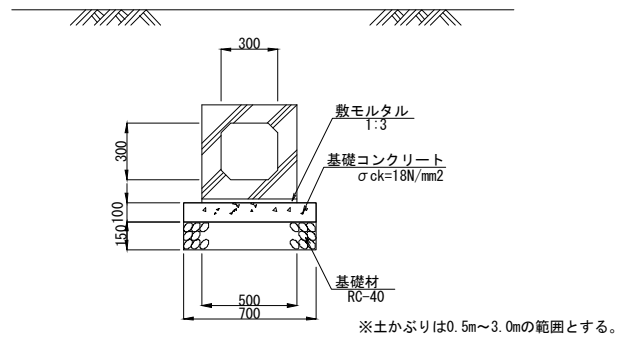
工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	復旧構造物(1) (高須賀地区)		
縮尺	図示	図面番号	21 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

復旧構造図(2) S=1:20

(高須賀地区)

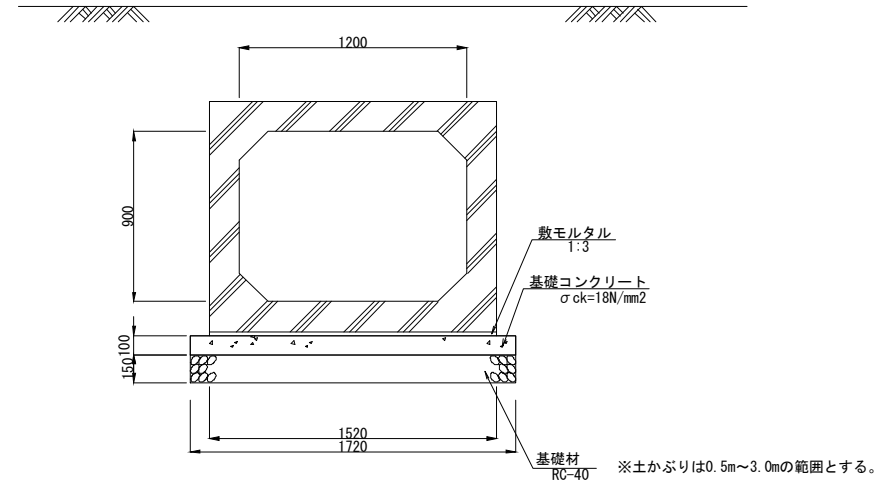
プレキャストボックス(1)
300×300(RC)



材料表 (10m当り)

名称	基礎コンクリート	型枠	基礎材	敷モルタル	側溝	摘要
	σck=18N/mm² m³	式	m²	1:3 式	B300×H300 本	
プレキャストボックス(1)	0.70	1.0	7.0	1.0	5.0	T-25

プレキャストボックス(2)
1200×900(RC)



材料表 (10m当り)

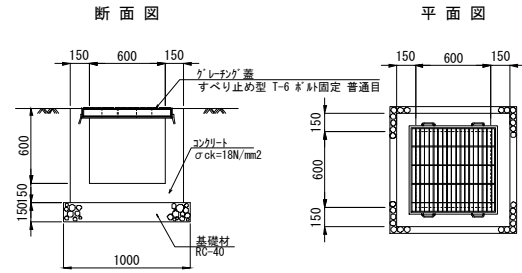
名称	基礎コンクリート	型枠	基礎材	敷モルタル	側溝	摘要
	σck=18N/mm² m³	式	m²	1:3 式	B1200×H900 本	
プレキャストボックス(2)	1.72	1.0	17.2	1.0	5.0	T-25

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	復旧構造図(2)(高須賀地区)		
縮尺	1:20	図面番号	22 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

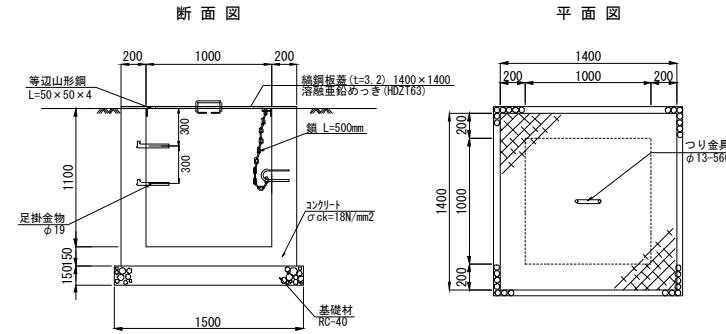
復旧構造図(3) (高須賀地区)

現場打ち集水樹(1) S=1:30
600×600×600
(ケレチンゲ蓋)



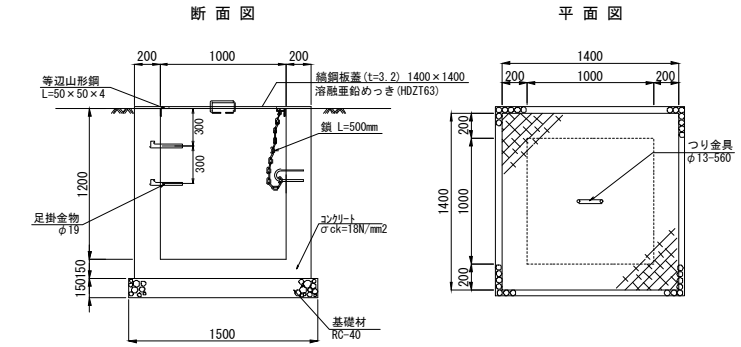
名称	コンクリート σ _{ck} =18N/mm ² m ³	型枠 式 m ²	基礎材 RC-40 m ²	蓋 ケレチンゲ 枚	摘要
現場打ち集水樹(1)	0.33	1.0	1.0	1.0	600×600×600

現場打ち集水樹(2) S=1:30
1000×1000×1100
(縞鋼板蓋)



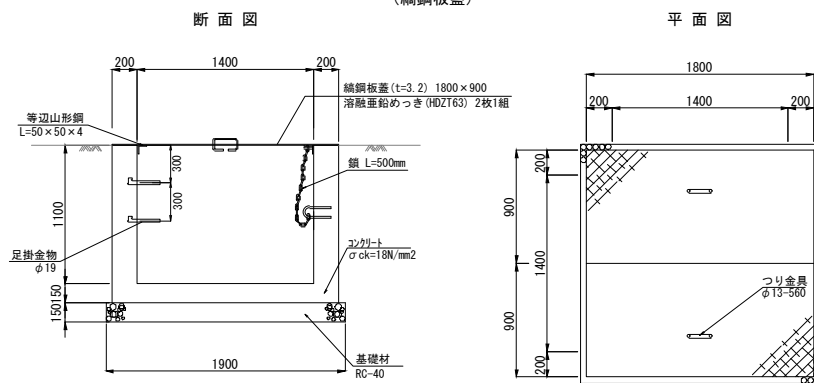
名称	コンクリート σ _{ck} =18N/mm ² m ³	型枠 式 m ²	足掛金物 W=300 L=200 φ19 本	基礎材 RC-40 m ²	蓋 縞鋼板 枚	つり金具 φ13-560 個	摘要
現場打ち集水樹(2)	1.09	1.0	2.0	2.3	1.0	1.0	1000×1000×1100

現場打ち集水樹(3) S=1:30
1000×1000×1200
(縞鋼板蓋)



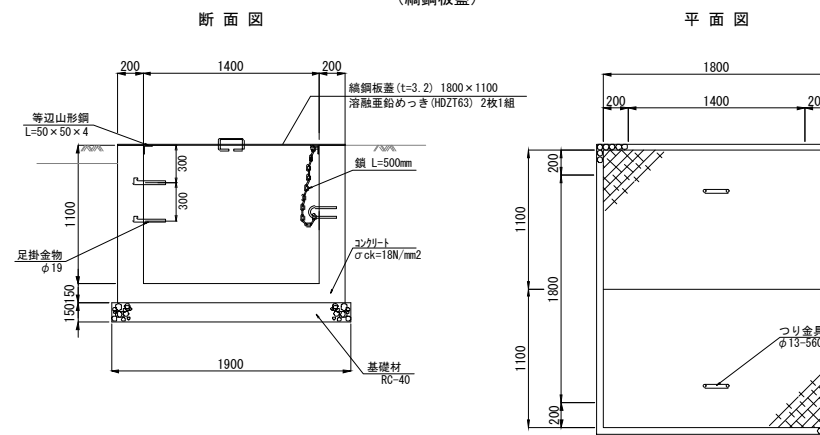
名称	コンクリート σ _{ck} =18N/mm ² m ³	型枠 式 m ²	足掛金物 W=300 L=250 φ19 本	基礎砕石 RC-40 m ²	蓋 縞鋼板 枚	つり金具 φ13-560 個	摘要
現場打ち集水樹(3)	1.10	1.0	2.0	2.3	1.0	1.0	1000×1000×1200

現場打ち集水樹(4)(5) S=1:30
1400×1400×1100
(縞鋼板蓋)



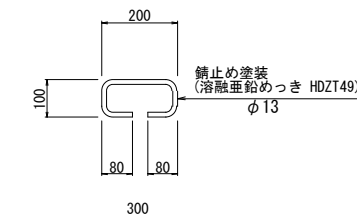
名称	コンクリート σ _{ck} =18N/mm ² m ³	型枠 式 m ²	足掛金物 W=300 L=250 φ19 本	基礎材 RC-40 m ²	蓋 縞鋼板 枚	つり金具 φ13-560 個	摘要
現場打ち集水樹(4)	1.31	1.0	2.0	3.6	2.0	2.0	1400×1400×1100
現場打ち集水樹(5)	1.08	1.0	2.0	3.6	2.0	2.0	1400×1400×1100

現場打ち集水樹(6) S=1:30
1400×1800×1100
(縞鋼板蓋)

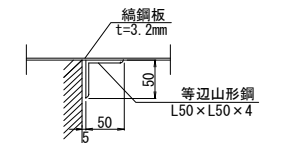


名称	コンクリート σ _{ck} =18N/mm ² m ³	型枠 式 m ²	足掛金物 W=300 L=250 φ19 本	基礎材 RC-40 m ²	蓋 縞鋼板 枚	つり金具 φ13-560 個	摘要
現場打ち集水樹(6)	1.52	1.0	2.0	4.4	2.0	2.0	1400×1800×1100

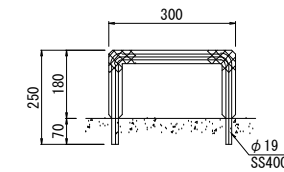
つり金具詳細図 S=1:10



コーナー補強アングル詳細図 S=1:5



足掛金物詳細図 S=1:10



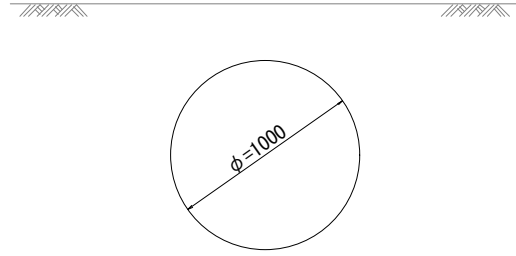
工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	復旧構造図(3)(高須賀地区)		
縮尺	図示	図面番号	23 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

復旧構造図(4)

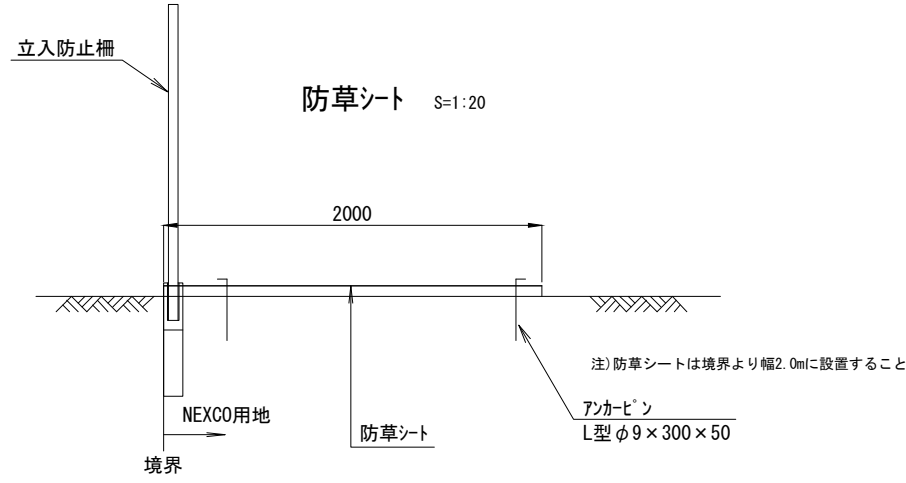
(高須賀地区)

暗渠排水管 S=1:20



材料表 (10m当り)

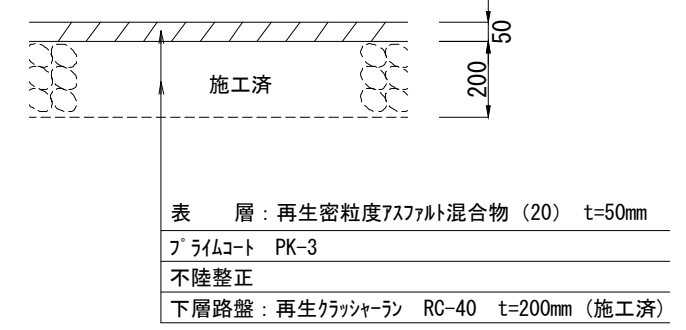
名称	規格	単位	数量	摘要
耐圧ホリエチレンリブ管(ハウエル管)	$\phi 1000$ R30形	m	10.0	(再利用)



材料表 (10m2当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
防草シート	改質アスファルト系 幅1.1m×長さ10m×厚さ3mm/巻 (仕上げ表 ミネラル 裏 PPフィルム)	m ²	10.0	
アンカーピン	L型 $\phi 9 \times 300 \times 50$	式	1.0	

舗装構成図 S=1:10



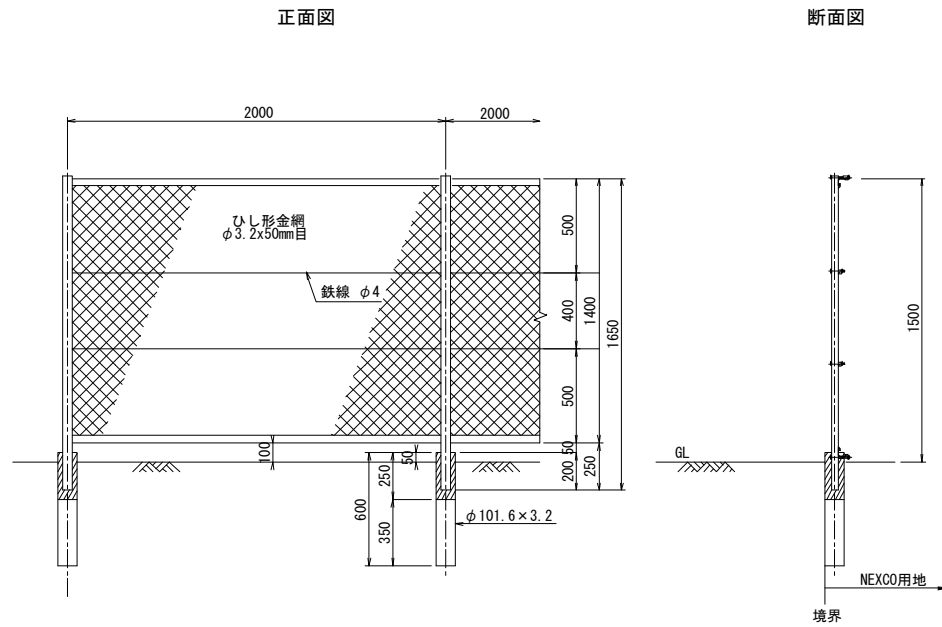
表層	再生密粒度アスファルト混合物 (20)	t=50mm
プライムコート	PK-3	
不陸整正		
下層路盤	再生クラッシャーラン RC-40	t=200mm (施工済)

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	復旧構造図(4) (高須賀地区)		
縮尺	図示	図面番号	24 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

復旧構造図(5) S=1:20 (高須賀地区)

立入防止柵(1)
NEXCO仕様 H=1.50m @2.00m

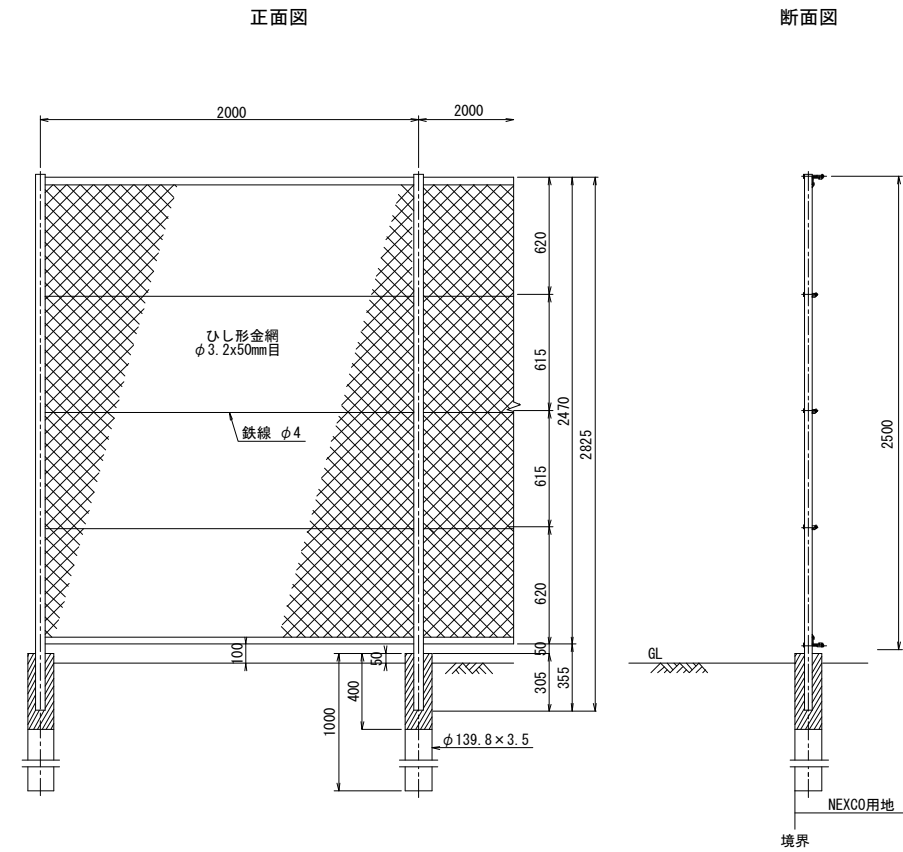


注) 立入防止柵は基礎前面が境界とるように設置すること

材料表 (10m当り)

品名	規格寸法	長さ	単位	数量	材質	表面処理
主柱	VB形鋼	1665	本	5	JIS G 3101 (SS400)	* リエフィル系樹脂塗料
爪付鋼線	R付L40×40×3	4000	本	5	"	"
鉄線	φ4.0		m	40	JIS G 3543 (SWME-GS2)	* リエフィル被膜亜鉛めっき
ひし形金網	φ3.2×50mm		m ²	14.5	JIS G 3552 (E-GS2)	"
鋼管杭	φ101.6×3.2	600	本	5	JIS G 3444 (STK400)	JIS H 8641 (HDZT77)
塗装	基準色					

立入防止柵(2)
NEXCO仕様 H=2.50m @2.00m



注) 立入防止柵は基礎前面が境界とるように設置すること

材料表 (10m当り)

品名	規格寸法	長さ	単位	数量	材質	表面処理
主柱	VB形鋼	2460	本	5	JIS G 3101 (SS400)	* リエフィル系樹脂塗料
爪付鋼線	R付L40×40×3	4000	本	5	"	"
鉄線	φ4.0		m	40	JIS G 3543 (SWME-GS2)	* リエフィル被膜亜鉛めっき
ひし形金網	φ3.2×50mm		m ²	24.6	JIS G 3552 (E-GS2)	"
鋼管杭	φ139.8×3.5	1000	本	5	JIS G 3444 (STK400)	JIS H 8641 (HDZT77)
塗装	基準色					

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	復旧構造図(5) (高須賀地区)		
縮尺	1:20	図面番号	25 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

借地撤去平面図

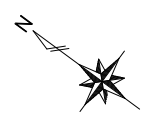
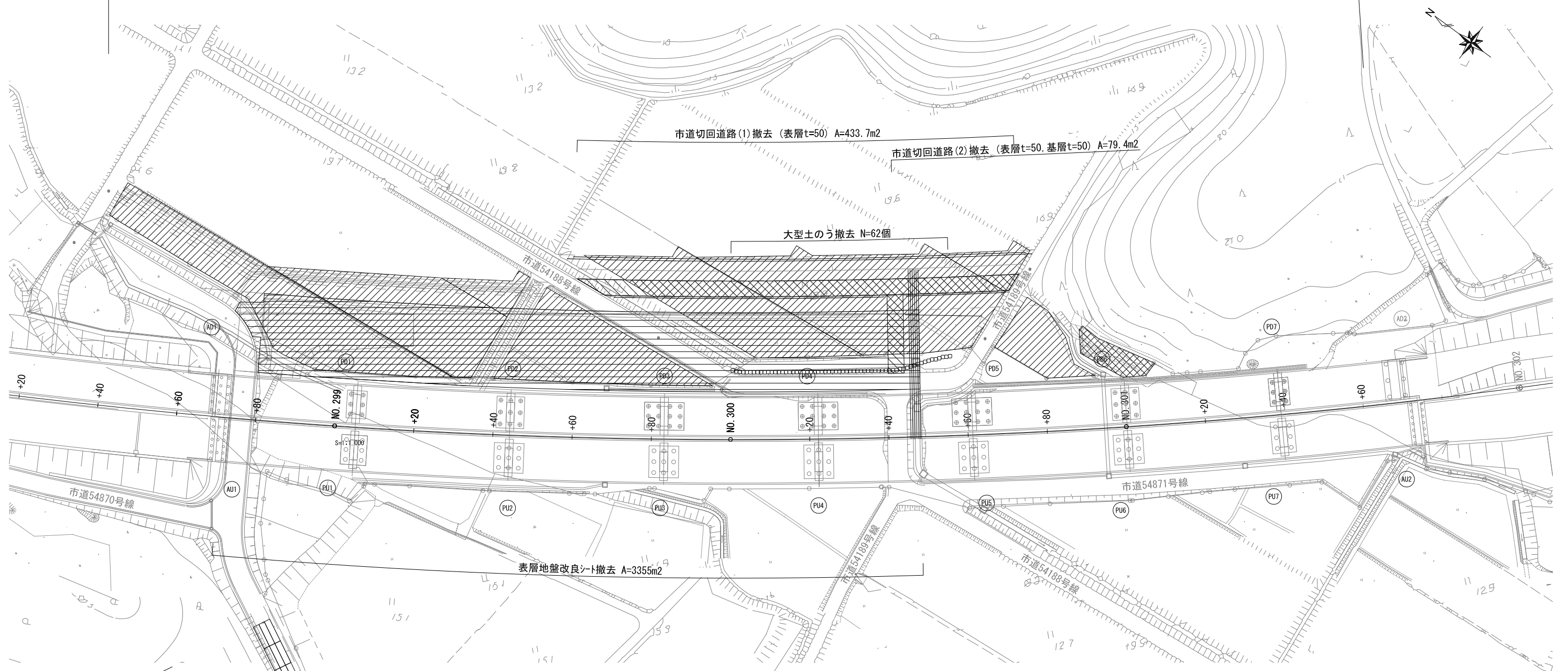
(高須賀地区)

S=1:500

工事起点
No. 298+38.0

工事延長 331.6m

工事終点
No. 301+69.6



凡例

- 市道切回し道路撤去
- 表層地盤改良シート撤去

凡例

- 借地復旧工(応急処理) (1)
- 借地復旧工(応急処理) (3)

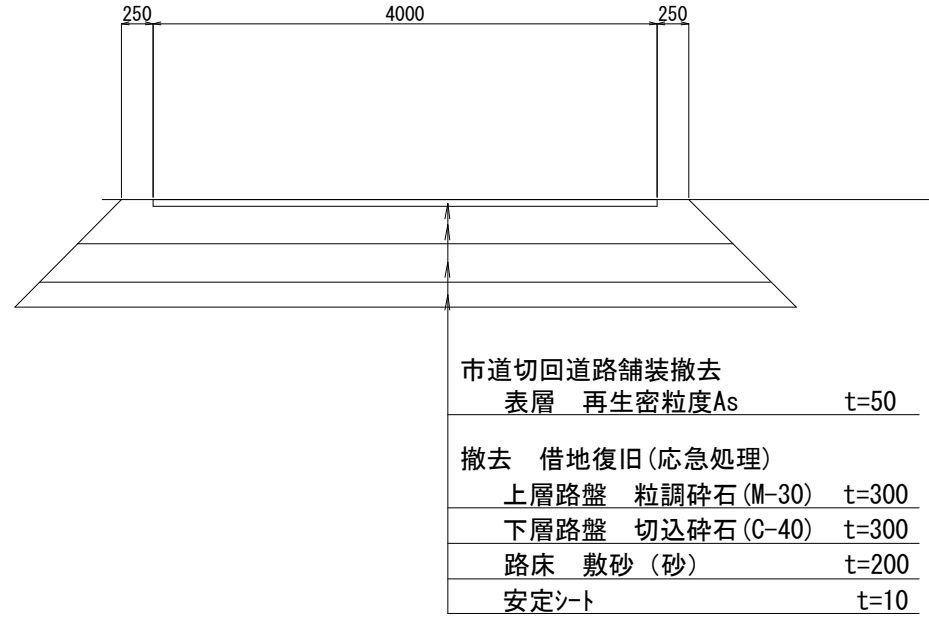
敷設板撤去 N=21枚 A=250.8m2

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	借地撤去平面図(高須賀地区)		
縮尺	1:500	図面番号	26 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

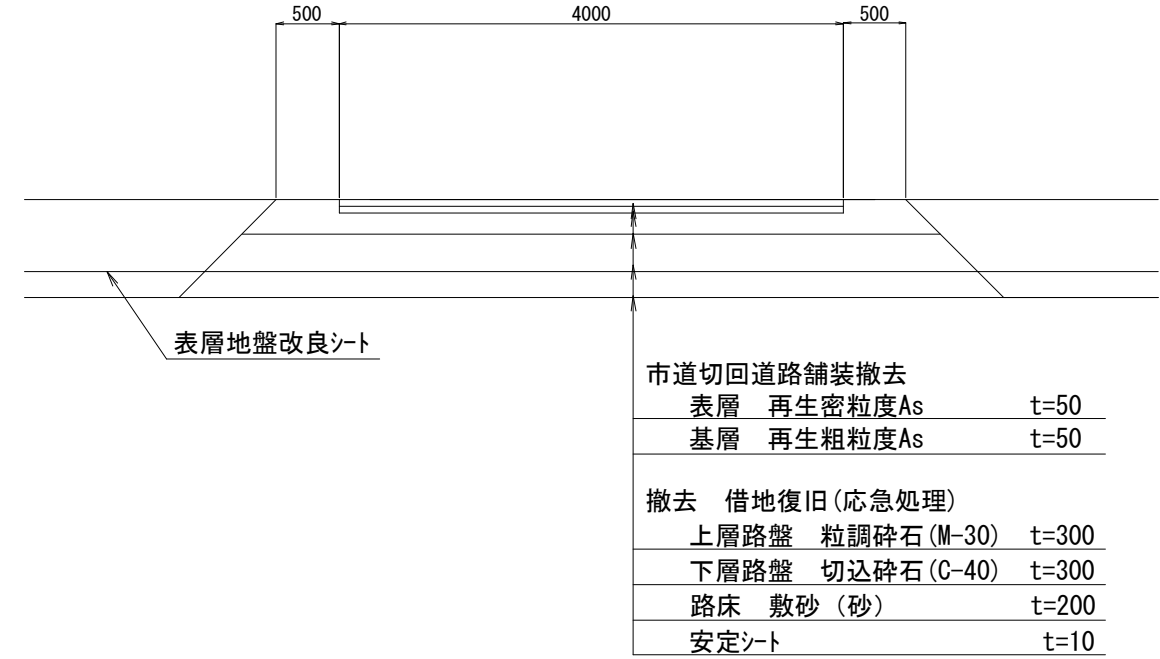
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

撤去構造図 (高須賀地区)

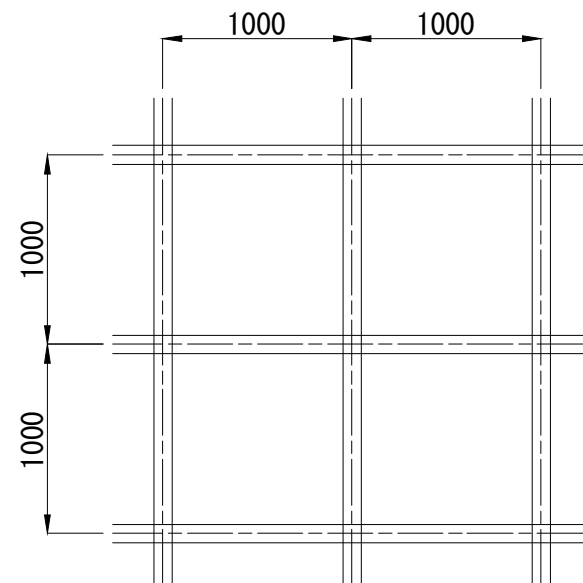
市道切回道路(1)舗装撤去 S=1:30



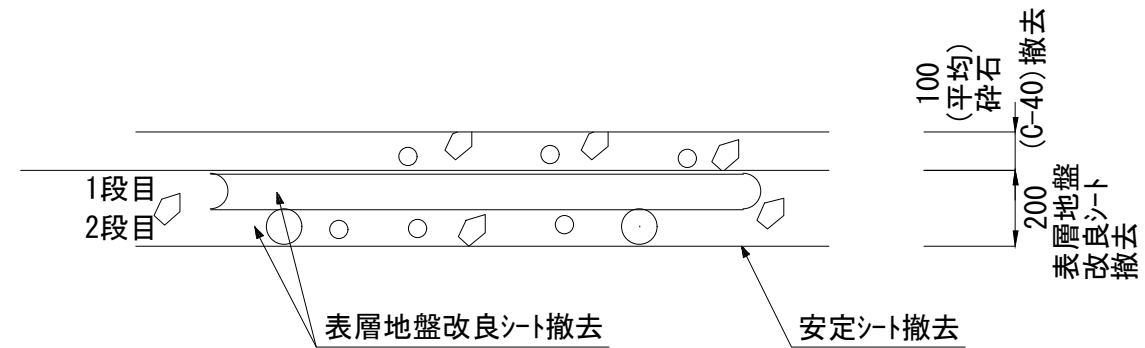
市道切回道路(2)舗装撤去 S=1:30



表層地盤改良シート撤去配置図 S=1:20



撤去断面図 S=1:20



本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	撤去構造図(高須賀地区)		
縮尺	図示	図面番号	27 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

数量総括表(1)

(高須賀地区)

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	摘要
道路改良(高須賀地区)		式	1	
舗装工		式	1	
舗装準備工		式	1	
不陸整正	補足材無し	m2	116	
アスファルト舗装工		式	1	
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2	116	
カルバート工		式	1	
作業土工		式	1	
床掘り	土砂 標準	式	1	施工数量 70m3
埋戻し(1)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	式	1	施工数量 4m3
埋戻し(2)	土砂 最大埋戻幅4m以上	式	1	施工数量 40m3
基面整正		式	1	施工数量 18m2
土砂等運搬(現場～大輪SY)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式	1	施工数量 10m3
整地	残土受け入れ地での処理	式	1	施工数量 10m3
プレキャストカルバート工		式	1	
プレキャストボックス(1)	内幅 0.3m 内高 0.3m	m	2	
プレキャストボックス(2)	内幅 1.2m 内高 0.9m	m	9	
排水構造物工		式	1	
作業土工		式	1	
床掘り(1)	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	式	1	施工数量 100m3
床掘り(2)	土砂 標準	式	1	施工数量 520m3
埋戻し(1)	土砂 最大埋戻幅1m未満	式	1	施工数量 70m3
埋戻し(2)	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	式	1	施工数量 300m3
埋戻し(3)	土砂 最大埋戻幅4m以上	式	1	施工数量 40m3
基面整正		式	1	施工数量 230m2
土砂等運搬(現場～大輪SY)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式	1	施工数量 160m3
整地	残土受け入れ地での処理	式	1	施工数量 160m3
側溝工		式	1	
プレキャストU型側溝(1)	300×300×2000	m	87	
プレキャストU型側溝(2)	300×300×2000	m	68	
プレキャストU型側溝(3)	600×900×2000	m	18	
プレキャストU型側溝(4)	800×900×2000	m	46	

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	摘要
プレキャストU型側溝(5)	1200×900×2000	m	40	
プレキャストU型側溝(6)	800×900×2000 車道用	m	12	
管渠工		式	1	
暗渠排水管	据付 φ1000 再利用	m	12	
集水樹・マンホール工		式	1	
現場打ち集水樹(1)	600×600×600 グレチング蓋 現場打材 18-8-25(20) 高炉(W/C指定なし) 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水樹(2)	1000×1000×1100 縞鋼板蓋 現場打材 18-8-25(20) 高炉(W/C60%以下) 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水樹(3)	1000×1000×1200 縞鋼板蓋 現場打材 18-8-25(20) 高炉(W/C60%以下) 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水樹(4)	1400×1400×1100 縞鋼板蓋 現場打材 18-8-25(20) 高炉(W/C60%以下) 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水樹(5)	1400×1400×1100 縞鋼板蓋 現場打材 18-8-25(20) 高炉(W/C60%以下) 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水樹(6)	1400×1800×1100 縞鋼板蓋 現場打材 18-8-25(20) 高炉(W/C60%以下) 法面作業補正無	箇所	1	
防護柵工		式	1	
防止柵工		式	1	
立入防止柵(1)	H=1.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO仕様	m	278	
立入防止柵(2)	H=2.5m 支柱間隔2m 鋼管基礎 NEXCO仕様	m	30	
防草対策工		式	1	
防草対策工		式	1	
防草シート	改質アスファルト系 W=2.0m	m2	488	
構造物撤去工		式	1	
切回し道路撤去工		式	1	
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m2	510	
運搬処理工		式	1	
殻運搬	アスファルト殻(掘削材)	m3	29	
殻処分	アスファルト殻(掘削材)	m3	29	
礫分別工		式	1	
礫分別工		式	1	
礫分別		m3	1,400	
積込(ルース)	C-40.ふるい分け土	m3	1,400	

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	数量総括表(1)(高須賀地区)		
縮尺	—	図面番号	28 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	—		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		

数量総括表(2)

(高須賀地区)

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	摘要
土砂等運搬(1)(現場～大輪SY)	C-40	m3	490	
土砂等運搬(2)(場内運搬)	ふるい分け土	m3	990	
整地(1)	残土受入れ地での処理 C-40	m3	490	
整地(2)	敷均し(ル-ズ) ふるい分け土	m3	990	
借地復旧工		式	1	
借地復旧工(応急処理)(1)	田	式	1	
借地復旧(応急処理)	労務合計 339人等	式	1	
借地復旧工(応急処理)(3)	その他	式	1	
借地復旧(応急処理)	労務合計 5人等	式	1	
仮設工		式	1	
工事用道路工		式	1	
敷鉄板	22×1,524×6,096(mm) 撤去	m2	250	
土のう	大型土のう撤去	袋	62	
積込(ル-ズ)	大型土のう中詰め材	m3	50	
土砂等運搬(現場～大輪SY)	大型土のう中詰め材	m3	50	
整地	残土受入れ地での処理	m3	50	
作業ヤ-ト撤去工		式	1	
表層地盤改良シート撤去		m2	3,355	
廃棄物運搬処分	がれき類	t	110	
交通管理工		式	1	
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	式	1	140人日

工事名	R7圏央道環境整備他その5工事		
図面名	数量総括表(2)(高須賀地区)		
縮尺	—	図面番号	29 / 29
年月日	令和7年12月 日		
設計会社名	—		
事務所名	国土交通省 北首都国道事務所		